



# 八戸市民とともに さらに前へ

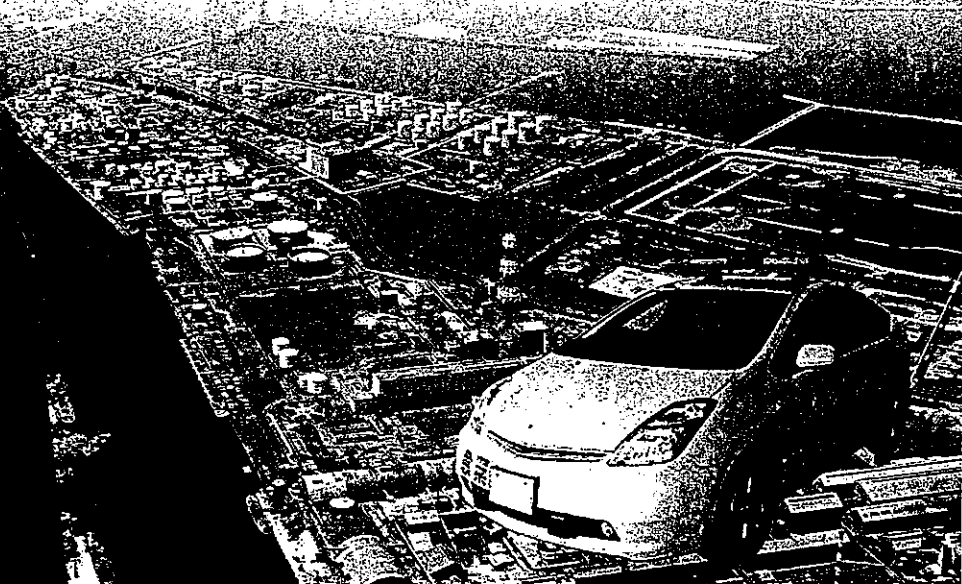


～ 今後4年間で重点的に取り組む100の施策 ～

2009年10月 マニフェスト(政策公約)

●  
小林まこと

Kobayashi Makoto



# マニフェスト『八戸市民とともに、さらに前へ』

この4年間、八戸市政に特段のご理解と大きなご支援をたまり、まずもって厚く御礼申し上げます。

4年前、私はふるさと・八戸を停滞から抜け出させ、一歩でも前進させるため、マニフェスト『八戸前進プラン』を公約に掲げ、市長に当選をさせていただきました。プランでは24項目・92事業を掲げてその実現に全力を尽くしてまいり、今年度、市政評価委員会においてマニフェストの達成状況について外部評価をしていただいた結果、概ね高い評価をいただいたところでもあります。

もとより、「大きく前進していないではないか」「中心市街地が活性化されていないではないか」といったお叱りがあるのも事実であります。国際的・全国的な経済情勢の悪化や国からの地方交付税の激減などによって、必ずしも4年前に思い描いた通りの姿になっていないことは、率直に認めなければなりません。

しかし、この4年間の取組みは、いわば前進の土台に相当するものであります。「活力の創出」にしましても、「安心の確立」にしましても、「行革と参画」にしましても、今後の基礎を成すものであります。私はまずは基礎を磐石にしなければならないとの強い思いで、厳しい財政状況の中ではありましたが、いくつもの事業を決断しつつ、八戸の「人間力」と「地域力」を高めることを目指してまいりました。

そしてこれからの4年間は、土台部分の足らざるところは補い、また改善しつつ、この4年間で育みました「前進の芽」「成長の芽」を立派に開花させていくことこそ、私に課せられた厳粛な使命と責任であると思っております。とりわけ平成23・24年度には、手がけてまいりましたいくつもの事業が完成し、前進・成長の大きな起爆剤になると確信しております。

以下の100項目がこれからの4年間で重点的、かつ主として新たに取り組むことをお約束する主な施策であります。市民各界各層のお知恵をお借りしながら、またご理解とご協力を得ながら、これまでの経験を活かし、市勢発展と市民生活向上のため、日々の日常業務に加え、これらのお約束に迅速かつ果敢に挑戦しながら、必ず実現することを固くお誓い申し上げます。

なお、今回のマニフェストに掲げました施策の多くは、今後2年間に集中して行うことにしており、2年後の平成23年の11月を目処に、みずから総括を行いたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成21年10月6日

八戸市長 **小林 真**

# 【マニフェストの概要】

## 1. 安心・安全社会の実現 …………… 3

- (1) 子育て支援を充実させます — 子ども(小・中学生)医療費の一部無料化 —
- (2) 健康・医療ネットワークを完備します—「総合保健センター」の整備 —
- (3) 安心できる福祉を実現します — 介護学生奨学金制度の創設 —
- (4) 共生社会を推進します —「八戸市人権条例」の早期制定 —
- (5) 防災社会の構築を進めます — 小・中学校の集中的な耐震化 —
- (6) 防犯体制を強化します — 巡回パトロールの強化 —
- (7) 青少年教育の質を高めます — 地域密着型教育の拡充 —
- (8) 循環型都市の水準を高めます — 太陽光発電およびLEDの普及 —

## 2. さらなる活力創出 …………… 8

- (1) 地域経済を活性化します — 4年間でさらに10社以上の企業誘致 —
- (2) 雇用の維持・創出を目指します —「雇用支援対策室」の設置 —
- (3) 発信型農業を支援します —「農業経営振興センター」の設置 —
- (4) 水産業の振興を図ります —「はちのへ水産振興会議」の設置 —
- (5) 観光資源を最大限活用します — 八戸ゆかりの人々による観光企画 —
- (6) 中心市街地のにぎわいを回復します —「はっち」を核とした街の演出 —
- (7) 地元大学・学生との連携を強化します — 市民大学講座の多様化 —
- (8) 文化・スポーツを一層振興します —「市民練習場」の整備 —

## 3. 新たな行財政改革と住民参画 ……… 14

- (1) 協働のまちづくりを進めます —町内会加入率の引上げと連合組織の設立—
- (2) 多様な意見を市政に反映させます —「元気アップ青年会議」の設置 —
- (3) 新しい行財政改革を推進します — 第5次行財政改革大綱の策定 —
- (4) 増税なき歳入増を目指します — ふるさと納税5倍増 —
- (5) 市政窓口の改革に取り組みます —「窓口サービス向上運動」の実践 —
- (6) 行政の危機管理体制を強化します —BCP(市役所業務継続計画)の策定 —
- (7) 合併効果の最大化を追求します —「南の郷 手づくり未来計画」の促進 —
- (8) 広域連携・自立の促進を図ります — 定住自立圏の形成促進 —

# 【マニフェストの具体的な内容】

## 1. 安心・安全社会の実現

市民の皆さまにとって最も心配なことは、日々の生活が脅かされることです。すでにこの4年間で、ドクターヘリの導入やAED(自動体外式除細動器)の設置、健康と福祉のまちづくり条例の制定、休日夜間保育支援事業など、マニフェストの公約に着実に取り組んでまいりました。これからの4年間は、これまでの政策を踏まえ、子どもからお年寄りまで誰もがこの八戸市でさらに安全・安心な生活を営めるよう、以下の政策に重点的に取り組みます。

### (1) 子育て支援を充実させます — 子ども(小・中学生)医療費の一部無料化 —

#### 【過去4年間の主な実績】

- ◎休日夜間保育／病児・病後児保育支援事業の拡充
- ◎ファミリーサポートセンターの開設
- ◎中間・低所得層の保育料軽減 など

#### 【今後の目標】

市民の皆さま、とりわけ子育て世代の皆さまからの強いご要望と必要性を踏まえ、また子供たちを「八戸市の宝」と位置づけ、県下の市として初めて子ども(小・中学生)医療費の一部無料化を実施します。また、中心市街地地域観光交流施設「はっち」内に子育て支援施設「子育てつどいの広場」を設置するとともに、八戸公園こどもの国に「子ども交流館」を整備し、親子のふれあい交流の場として活用してもらいます。さらには、乳幼児期や学童期における子育て支援を充実・強化します。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度より、入院費など、子ども(小・中学生)医療費の一部無料化を実施します。
- ②現在、各1ヶ所の病後児・病児保育の施設を、4年以内に各3ヶ所に増やします。
- ③平成22年度より、乳幼児期のヒブワクチン接種に対する公的助成を導入します。
- ④平成22年度より、「はっち」内に「子育てつどいの広場」を開設するとともに、平成23年度に、八戸公園こどもの国に「子ども交流館」を開館します。
- ⑤今後4年間で、放課後児童クラブの数を、現在の32から50まで増やします。

### (2) 健康・医療ネットワークを完備します — 「総合保健センター」の整備 —

#### 【過去4年間の主な実績】

- ◎医師確保対策事業の拡充・青森県南地域産科医療体制強化推進事業
- ◎ドクターヘリの導入
- ◎AED(自動体外式除細動器)の市内300施設での設置 など

### 【今後の目標】

これまでの4年間も医師不足の解消に努め、一定の成果を上げましたが、市長としての当然の責務として、これからも引き続き取り組んでまいらなければなりません。同様に必要なことは、救急医療や防疫措置など、市としての医療・健康対策を総合的に担う機関と機能であると考え、このため、「総合保健センター」の整備に早急に着手するとともに、ドクターヘリを補完するドクターカーの早期導入を図ります。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度より、田向地区に、医療・健康対策を総合的に担う「総合保健センター」の整備を進め、平成25年度までの完成を目指します。
- ②新たな疫病の蔓延を防ぐため、国および県と連携しながら、市行動計画を早急に策定し、効果的な施策を積極的に講じます。
- ③平成22年度より、空飛ぶ「ドクターヘリ」に加え、陸路を駆けつける「ラピッド・レスポンス・ドクターカー」を導入します。
- ④平成22年度より、小学校や公民館などにおいて、AED(自動体外式除細動器)の講習会を開催し、その普及・活用を促進します。

## (3) 安心できる福祉を実現します — 介護学生奨学金制度の創設 —

### 【過去4年間の主な実績】

- ◎市民健康維持連携システム事業
- ◎低所得者の介護保険料の引き下げ
- ◎高齢者・障がい者バス特別乗車証支給事業
- ◎介護予防のための「八戸せんべい汁体操」の開発・普及 など

### 【今後の目標】

わが国の高齢化はますます進展しており、この八戸市も例外ではありません。お年寄りや障がい者の方々が安心して、また生きがいをもって毎日を過ごしていただけるよう、介護士やホームヘルパーの拡充を進めます。また、できるだけ要介護者にならないよう、市としても全力で予防対策を実施していくとともに、企業・団体のご理解を得ながら障がい者の就業機会の確保を促進します。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度より、介護学生奨学金制度を創設します。
- ②平成22年度より、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への公的助成を導入します。
- ③平成22年度より、高齢者・障がい者世帯の家具転倒防止器具の設置を進めます。
- ④平成22年度より、4年以内に認知症サポーターの数を現在の4倍にするための支援を行います。
- ⑤平成22年度より、「貯筋教室」や「回想法」などの効果を検討・研究の上、新たな介護予防策や認知症対策を講じ、参加を呼びかけます。
- ⑥平成22年度より、「雇用コーディネーター」を配置し、障がい者雇用を一層支援します。

#### **(4) 共生社会を推進します —「八戸市人権条例」の早期制定—**

##### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎健康と福祉のまちづくり条例の制定
- ◎歩道の拡幅およびバリアフリー化
- ◎シニア地域回帰事業
- ◎三世代交流事業 など

##### **【今後の目標】**

私たちの八戸市は平成19年3月に「健康と福祉のまちづくり条例」を制定し、総合的に福祉のまちづくりを推進してきましたが、これからますます重要になります共生社会をより豊かなものにするためには、さらなる事業や支援が必要になります。また、虐待やDV(ドメスティック・バイオレンス)などから高齢者や女性、子どもたちを守るための「八戸市人権条例」の制定も、共生社会を推進するために必要であると考え、その実現を目指します。

##### **【主な具体策・数値目標】**

- ①平成22年度中に、「八戸市人権条例」を制定し、高齢者や女性、子どもを守る政策に反映させます。
- ②平成23年度より、高齢者や団塊の世代などのさらなる社会参加を促すため、鷗盟大学に大学院を開設し、生涯学習を充実させます。
- ③平成23年度より、ボランティアポイント制度を導入し、市民のボランティア活動を一層促進します。
- ④利用者の意見・要望を踏まえた上で、平成22年度より、公共施設や歩行空間のバリアフリー化を一層推進します。
- ⑤平成22年度より、高齢者や障がい者に対し、ほっとスルメールの登録支援や緊急情報体制の周知徹底を速やかに実施するとともに、地域ケア体制の整備を図ります。

#### **(5) 防災社会の構築を進めます —小・中学校の集中的な耐震化—**

##### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎木造住宅の耐震診断に対する助成
- ◎避難路・避難施設の整備・確保 など

##### **【今後の目標】**

自然災害はいつ起こるかわからず、また集中豪雨などによる新たな災害も多発しています。すでに八戸市では総合防災訓練や地区防災訓練を実施していますが、平成22年度以降は訓練の充実・強化を図るとともに、防災体制の検証も進めます。また、家庭や地域における防災支援などを通じ、防災・減災のための施策を確実に実施し、行政の重要な責務として、災害に強いまちづくりを推し進めていきます。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成23年度までに、小・中学校の耐震化を集中的に進めます。
- ②平成22年度より、災害時要援護者の避難支援など、被災者へのきめ細かな対応を想定した総合防災訓練を実施します。
- ③今後4年間で、リーダーの育成や啓発活動などを通じ、自主防災組織の組織化率を80%以上に引き上げます。
- ④地域コミュニティの機能強化を踏まえ、被災地派遣・支援受入れのための「災害ボランティアネットワーク」の形成を速やかに支援します。

## (6) 防犯体制を強化します — 巡回パトロールの強化 —

### 【過去4年間の主な実績】

- ◎八戸市安全・安心まちづくり推進協議会の設置・開催
- ◎ほっとスルメールの配信
- ◎小学生による地域における安全・安心マップづくり
- ◎公用車による安全安心パトロール など

### 【今後の目標】

かつて八戸市は安全な地域でしたが、最近では凶悪犯罪が起きるなど、市民生活の安全が脅かされています。また、お年寄りへの詐欺行為や子どもたちが犠牲になる犯罪も発生しています。防犯率の向上は警察に依存せざるを得ない面もありますが、自治体や市民の取組みによっても犯罪を減らすことができることから、防犯協会をはじめ、市民や地域と総ぐるみで犯罪のないまちづくりを推進します。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①他地域の先進的な事例を調査の上、市民パトロールや青色回転灯パトロールカーの巡回回数を速やかに増やします。
- ②市民のニーズを調査の上、駅などに通報装置や監視カメラを速やかに設置します。
- ③引き続き、警察と連携した防犯啓発活動を推進するとともに、八戸地区連合防犯協会を中心に、地域の防犯体制の充実を図ります。
- ④子どもたちの安全教育の観点からも、平成23年度までに、市内全小学校における安全・安心マップづくりを進めます。

## (7) 青少年教育の質を高めます — 地域密着型教育の拡充 —

### 【過去4年間の主な実績】

- ◎地域密着型教育のモデル校指定
- ◎地域の伝統文化を活かした特色ある学校づくり支援事業の展開
- ◎小・中学校における八戸大使ふるさとセミナーの開催 など

### 【今後の目標】

青少年は将来の八戸を担っていく人材であり、彼ら彼女らの健全な育成はわれわれの重要な責務であります。このため、幅と深みのある教育を実施していかなければなりません。平成21年度現在、地域密着型教育のモデル校に小・中学校11校を指定していますが、今後、この成果と課題を検証しながらさらに増やすとともに、青少年が安心できる環境の中で質の高い教育を受けられるよう、施策の充実・強化を図ります。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①今後4年以内に、地域密着型教育の実施校を、平成21年度の11校から全72小・中学校に拡大します。
- ②経済・雇用情勢の悪化にもかんがみ、平成22年度より、八戸市奨学金制度を拡充し、貸与金額および対象を増やします。
- ③平成22年度より、ふるさと納税の一部を「人材育成ふるさと納税」とし、生活困窮者の進学支援のための給付奨学金制度を創設します。
- ④平成23年度より、青少年の英語・IT・コミュニケーション能力を高めるため、姉妹都市における小・中学校との交流促進を図ります。

## **(8) 循環型都市の水準を高めます ー太陽光発電およびLEDの普及ー**

### 【過去4年間の主な実績】

- ◎循環型都市宣言の実施
- ◎一人1日ごみ排出量1,000グラム以内の「プロジェクトアンダー1000」の全市展開
- ◎八戸市みどりの環づくり基本条例の制定
- ◎住宅用太陽光発電システムの設置助成 など

### 【今後の目標】

環境保全に対する意識は、かつてないほど高まっています。私たちの八戸市においても、平成18年に「循環型都市宣言」を実施するとともに、同19年には八戸市みどりの環づくり基本条例を制定しました。また、ごみの減量に市を挙げて取り組んでまいりました。今後とも、良好な環境を次世代に引き継ぐため、引き続きごみの減量化を推進するとともに、住宅や公共施設などにおける太陽光発電やLED(発光ダイオード)の普及促進、バスの利便性向上など、環境にやさしいまちづくりを推進します。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度より、太陽光発電の公共施設における設置を促進するとともに、町内会のLED街路灯の設置に対する助成制度を拡充します。
- ②平成22年度より、路線バスの利便性を向上させるため、情報案内システムや路線ナンバリング、バスマップなどの整備を進めます。



## 2.さらなる活力創出

私たちのふるさと・八戸には、無限の潜在力があります。これを信じ、この4年間、私は観光産業の振興、ブランドの育成やトップセールスによる企業誘致、人材育成、地場産業の強化、「攻めの農林水産業」支援などに取り組んでまいりました。地域観光交流施設や魚市場機能統合整備事業も、八戸市に活力を取り戻すための政策であり、これらを礎に、さらなる活力を創出するため、これからの4年間、以下の政策に重点的に取り組みます。

### (1) 地域経済を活性化します —4年間でさらに10社以上の企業誘致—

#### 【過去4年間の主な実績】

- ◎4年間で11社の企業誘致
- ◎中小企業が行う新事業活動に対する支援
- ◎平成20年八戸港コンテナ貨物取扱量過去最高の36,241TEU
- ◎八戸市経営健全化対策資金制度の拡充
- ◎郷土特産物の販売ルート拡充 など

#### 【今後の目標】

世界経済・国内経済の悪化に伴い、八戸経済も深刻化しています。しかし、オーダーメイドの誘致策を提示すれば、企業誘致の増加を図ることは不可能ではありません。また、八戸の財産ともいべき八戸港のさらなる整備を進めることにより、コンテナ貨物取扱量を増やすことができますし、産学官共同で新たな製品や販売ルートを開発することによっても、地域経済を上向かせることができます。今後、引き続き自ら先頭に立ってトップセールスを展開し、さらなる企業誘致や八戸港の機能強化、中小企業への支援強化などを進め、地域経済の活性化に全力で取り組みます。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①今後4年間で、トップセールスによってさらに10社以上の企業を誘致します。
- ②八戸港の機能をさらに充実させ、今後4年間で、コンテナ貨物取扱量を5万TEUまで増やします。
- ③平成22年度より、中小企業の資金需要に対応して、融資制度枠を一層拡充します。
- ④首都圏における地場産品販売拠点の整備を促進し、全国への販売ルートの拡充を目指します。
- ⑤八戸港の港湾計画改訂をふまえ、平成22年度より、大規模エネルギー基地構想を推進します。

### (2) 雇用の維持・創出を目指します —「雇用支援対策室」の設置—

#### 【過去4年間の主な実績】

- ◎八戸市緊急経済・雇用対策本部の設置
- ◎ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用対策事業

- ・八戸市緊急雇用奨励金制度
- ・フロンティア八戸職業訓練助成金の拡充 など

### 【今後の目標】

経済情勢の悪化は雇用の悪化をもたらしており、失業率の上昇と求人倍率の低下が深刻になっています。雇用の悪化は全国的な傾向であり、必ずしも一つの市だけの努力や取組みで改善することはできませんが、それでもセーフティネットの整備などに、最善を尽くすことこそ、行政の責任に他なりません。経済団体や労働団体の知恵もお借りしながら、また一定の財政支出を惜しむことなく、雇用の維持・創出を積極的に図ってまいります。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度までに、雇用を専門とする部署として「雇用支援対策室」を市役所内に設置します。
- ②経済団体および労働団体、ハローワークなどとの定期協議機関を速やかに設置します。
- ③平成22年度中に、健康長寿分野や環境分野、農業分野における新たな雇用創出戦略ビジョンを策定します。
- ④平成22年度より、ふるさと雇用再生特別交付金事業や緊急雇用対策事業のほか、国や県との連携を図りながら、さらなる雇用創出の施策に取り組みます。

## (3) 発信型農業を支援します —「農業経営振興センター」の設置—

### 【過去4年間の主な実績】

- ◎環境保全型農業普及促進事業
- ◎畜産関連産業集積促進事業
- ◎観光農業の振興
- ◎市民農園の整備 など

### 【今後の目標】

他の産業と同様、八戸市の農業も大きな潜在力があるにもかかわらず、まだまだ全国的な認知度は高いとはいえ、時代に見合った、あるいは地域に見合った農産物を提供することによって、八戸市の農業を力強く前進させる必要があります。このため、地産地消のさらなる徹底を図るとともに、既存の農業交流研修センターに情報分析・提供機能などを加え、発信型農業の支援や耕作放棄地の解消に取り組みます。

### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成23年度までに、現在の農業交流研修センターを「農業経営振興センター」に発展的に改組し、その機能を強化します。
- ②平成23年度より、農家が県や市、広域農協からの支援情報を一元的に得られるようにするためのワンストップ体制を構築します。
- ③平成22年度中に、八戸の農産物を全国および世界に売り込むための「農産物ブランド戦略

会議」を設置します。

④畜産の国内一大基地化を実現するため、平成22年度以降、各種障害の除去に引き続き全力で取り組みます。

#### **(4) 水産業の振興を図ります —「はちのへ水産振興会議」の設置—**

##### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎八戸漁港グランドデザインの策定
- ◎ハサップ対応型魚市場の整備
- ◎大中型まき網漁業の老朽化漁船代船対策事業
- ◎ICT活用地域産業支援実証実験事業 など

##### **【今後の目標】**

八戸の主力産業は水産業に他なりません。水揚げ量の低下にはさまざまな原因がありますが、その一つは衛生面や効率面、さらにマナー面での魚市場の体制にもありました。このため、水産庁の承認を得て、現在、八戸地区広域漁港整備計画を進め、ハサップ対応施設の建設に着手いたしました。今後はこの施設の早期完成を目指すとともに、イカやサバのブランド化、さらに生産・加工・流通の各関係者による「はちのへ水産振興会議」を設置し、八戸の水産業グランドデザインの策定・実行を図ります。

##### **【主な具体策・数値目標】**

- ①平成22年度中に、関係者による「はちのへ水産振興会議」を設置し、八戸の水産業グランドデザインを策定します。
- ②平成22年度までにハサップ対応型魚市場を整備するとともに、魚市場機能の集約・強化を進めます。
- ③平成22年度より、イカ・サバのブランド化をさらに推進するための支援を行います。
- ④平成22年度より、老朽化漁船代船対策事業を大中型まき網漁業以外の漁業にも拡充し、「八戸地域プロジェクト」を拡充します。

#### **(5) 観光資源を最大限活用します —八戸ゆかりの人々による観光企画—**

##### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎八戸市観光推進本部の設置
- ◎フィールドミュージアム八戸構想の策定
- ◎種差海岸観光ビジョンの策定
- ◎三陸・八戸キャンペーンの推進
- ◎是川縄文館の建設着工 など

##### **【今後の目標】**

すでに八戸への来訪者は年間500万人を超えましたが、私たちの観光資源をさらに活用し、

また他地域との連携を強化することにより、この数をさらに増やすことができます。4年間で1割から2割の増加を図ることも不可能ではありません。このため、とりわけ新幹線の八戸以北開業を見据え、フィールドミュージアム八戸構想の着実な実現や種差海岸などの整備を進めてまいります。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度より、八戸ゆかりの人々による四季折々の観光企画に対する助成を行います。
- ②平成22年度に、はちのへ観光誘客推進委員会とともに、東北新幹線青森延伸キャンペーン事業を実施します。
- ③八戸の「横丁」や「朝市」などを全面的に押し出すフィールドミュージアム八戸構想を着実に推進します。
- ④平成22年度より、名勝・種差海岸や燕島の誘客施設・休憩施設などの整備を集中的に行います。
- ⑤平成22年度に、アジア諸国などからの来訪者増加やコンベンション誘致のための検討会を設置します。

### **(6) 中心市街地ににぎわいを回復します —「はっち」を核とした街の演出—**

#### 【過去4年間の主な実績】

- ◎「にぎわいストリートフェスティバル」の開催
- ◎中心市街地活性化基本計画の策定・認定
- ◎地域観光交流施設の建設着工
- ◎商店街ビジョン策定の支援
- ◎オフィスの立地促進やまちなか居住の推進 など

#### 【今後の目標】

郊外大型ショッピングセンターの進出や景気の低迷により、残念ながら八戸市の中心市街地の活性化は道半ばであります。市民交流の場、観光の拠点として地域観光交流施設「はっち」の建設を決めましたのも、中心市街地ににぎわいを取り戻すためです。できるだけ早くこの施設の完成・開館を目指すとともに、これまで取り組んできた本八戸駅通りの整備やオフィスビルの誘致、はちのへホコテンなどの商店街イベント支援のほか、新たに中心商店街の環境整備や空き店舗対策を支援します。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度までのできるだけ早期に地域観光交流施設「はっち」を完成させ、市街地再生の起爆剤にします。
- ②平成22年度より、中心商店街の魅力づくりのための環境整備に対する助成制度を創設するとともに、市民型ビジネスやNPO支援による空き店舗対策を拡充します。
- ③平成22年度より、中心市街地の玄関口となる本八戸駅通りの整備を計画的に促進します。
- ④中心市街地に地元大学のサテライト機能を置いてもらえるよう、意見交換の場としての

懇談会を速やかに設置します。

⑤平成22年度より、まちなか居住を促進するため、中心市街地における賃貸住宅の建設を支援します。

## **(7) 地元大学・学生との連携を強化します —市民大学講座の多様化—**

### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎産学官共同開発支援事業
- ◎八戸市都市研究検討会の設置 など

### **【今後の目標】**

八戸市には八戸工業大学や八戸大学、八戸工業高等専門学校があり、多くの研究者・学生が在籍しています。これらはいわば八戸の「知」であり、行政や市民生活への積極的な支援・協力をお願いしていくべきだと考えています。このため、現在の八戸市民大学講座などに地元大学の教員をより多く招くとともに、八戸市都市研究検討会をさらに発展させ、地域のシンクタンクとして、研究者・学生たちの発想やアイデアを活用してまいります。

### **【主な具体策・数値目標】**

- ①平成22年度より、現在の八戸市民大学講座を多様化させ、地元大学の教員による地域色豊かな講座を開講します。
- ②平成22年度より、「学生地域貢献表彰制度」を創設し、地域での積極的な活動や貢献、提案を奨励します。
- ③平成22年度以降、現在の八戸市都市研究検討会を発展させ、産学官連携のシンクタンクとして「知」の結集を推進します。
- ④地域や介護施設などでの学生のボランティア活動を単位として認定してもらえよう、関係機関に対し速やかに働きかけます。

## **(8) 文化・スポーツを一層振興します —「市民練習場」の整備—**

### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎多文化都市八戸推進会議の設置・開催
- ◎市民の多様で特色ある文化活動の支援
- ◎文化活動ワークショップの開催
- ◎ニュースポーツ体験コーナー事業 など

### **【今後の目標】**

文化鑑賞やスポーツを通じ、市民生活はより豊かに、また潤うものです。八戸市には公会堂や南郷文化ホール、美術館などがあり、多くの市民の方々に利用されてきました。今後、市民の皆さまの活力、そして憩いと安らぎのためにも、活動の場となる「市民練習場」の整備などにより、多様で特色ある市民の文化活動を支援するとともに、伝統ある地域文化の保存・伝

承を促進します。また、新たに設置される八戸スポーツ振興協議会の活動を促進するとともに、健康とダイエットを組み合わせたフォーラムを開催するなど、地域スポーツのさらなる振興を進めます。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①関係者の意見をふまえ、多様な文化活動のための「市民練習場」の整備を早急に検討し、実現を目指します。
- ②平成22年度より、新たなまちづくりの一環として、「アートのみちづくり」を推進します。
- ③平成22年度より、郷土芸能などの地域文化の保存や伝承を促進するための支援を拡充します。
- ④県との協議を積極的に行い、県立屋内スケート場の早期完成を目指します。
- ⑤平成22年度より、八戸スポーツ振興協議会などを通じて、アイスホッケーをはじめとする地域スポーツの一層の振興を図ります。
- ⑥平成22年度より、市民の健康増進のための「スポーツ・健康・ダイエットフォーラム」を定期開催します。



八戸市民とともに  
さらに前へ  
市政進

### 3. 新たなる行政改革と住民参画

この4年間の市政で最も力を入れたことの一つは、行財政改革の推進でありました。新たな行財政改革大綱を策定し、できるだけ経費を節減し、また補助金の削減などにより、各方面に痛みも求めてきました。これからの4年間は、新たな視点からの行財政改革と住民の皆さまの参画をさらに推し進めていくため、以下の政策に重点的に取り組みます。

#### (1) 協働のまちづくりを進めます — 町内会加入率の引上げと連合組織の設立 —

##### 【過去4年間の主な実績】

- ◎住民自治推進懇談会の開催
- ◎協働のまちづくり推進基金の設置
- ◎元気な八戸づくり市民奨励金制度・市民提案制度の創設
- ◎地域担当職員制度の導入 など

##### 【今後の目標】

地域住民の意向をふまえ、きめ細かな政策を実施するには、市民とNPO、行政の連携が不可欠です。また、地域コミュニティは、最も身近なセーフティネットでもあります。すでにこの4年間で協働のまちづくりは徐々に形づくられ、多くの市民提案もいただけてきましたが、今後は町内会・自治会との連携を一層図ることにより、この流れを加速させます。

##### 【主な具体策・数値目標】

- ①先進事例の調査などをふまえ、速やかに町内会・自治会加入率の引上げのための施策を実施します。
- ②平成23年度までに、町内会・自治会の連合組織を立ち上げ、町内会・自治会共通の課題解決を促進します。
- ③地域の活動を支援するため、平成23年度に、「おらほの地域自慢奨励制度」を創設します。
- ④平成23年度より、地区公民館のコミュニティセンター機能を拡充します。

#### (2) 多様な意見を市政に反映させます — 「元気アップ青年会議」の設置 —

##### 【過去4年間の主な実績】

- ◎各種審議会・懇談会委員の公募制と少数意見・提案の明示
- ◎出前市役所の開催
- ◎市政モニター制度の導入 など

##### 【今後の目標】

市民の方々の貴重なご意見は議会を通じても得られますし、審議会などを通じても市政に伝わります。また、ホームページをご覧になり、メールでご意見を寄せてくださる方も少なくありません。今後は、「元気アップ青年会議」の設置や「女性まちづくり塾」の拡充などによ

り、公聴や意見・要望・提案表明の機会をさらに増やし、市政に反映させていきます。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度に、「元気アップ青年会議」を設置し、若者同士の交流やまちを元気にする活動を促進するとともに、市政に対する多様な意見・要望を表明する場を設けます。
- ②平成22年度中に、現在の「女性まちづくり塾」を拡充し、女性の発想をさらに市政に反映していきます。
- ③平成22年度より、議会が議決した意見書や採択した請願についての市長の見解や対応を市民に報告します。
- ④平成22年度より、各界各層の意見を市政に反映するため、定期的に「市長との公開トーク」を開催します。

### (3) 新しい行財政改革を推進します — 第5次行財政改革大綱の策定 —

#### 【過去4年間の主な実績】

- ◎第4次行財政改革大綱の策定と推進
- ◎経常経費の削減
- ◎予算配分方法の見直し
- ◎指定管理者制度の導入
- ◎特別職給与・退職手当の引下げ など

#### 【今後の目標】

平成18年2月に八戸市集中改革プランを策定し、必要な行財政改革を断行してきました。その効果額は80億円にも及びます。もちろん市の行政経費の財源は市民の方々の貴重な税金でありますので、今後も無駄の排除や節約、効率化を進めてまいります。しかし、その一方で、一部に改革による弊害も懸念されていることから、今後は、これまでの行財政改革の正負両面の効果を十分に検証しつつ、第5次八戸市行財政改革大綱を速やかに策定し、コンパクトかつより一層オープンな市政の運営体制を構築してまいります。

#### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成21年度中に、これまでの行財政改革を十分に検証・公開した上で、新たな視点から第5次行財政改革大綱を策定します。
- ②平成22年度より、民間手法を多分に取り入れた市庁「カイゼン」運動に全力で取り組み、行政のさらなる効率化を図ります。
- ③平成22年度中に類似自治体とのさらなる比較分析を行い、事業の効率化などを速やかに実施します。また、行政のさらなる情報公開を進めるための方策にも活用します。



#### (4) 増税なき歳入増を目指します — ふるさと納税5倍増 —

##### 【過去4年間の主な実績】

- ◎ホームページ・各種印刷物への民間企業広告の掲載
- ◎協働のまちづくり推進基金へのマッチングファンドの導入
- ◎ふるさと納税の促進 など

##### 【今後の目標】

新たな事業を展開していくためには、既存の予算をさらに削減するか、あるいは市の収入を増やすしか方法はありません。これまでの4年間は主として支出の削減に力点を置いてまいりましたが、これからは増税に頼らない方法で収入を増やしていくことを重点的に検討してまいります。また、せっかく創設されながら、ふるさと納税制度が十分には活かされていないことから、八戸市を応援してくださる方々のさらなるご協力を求めてまいります。

##### 【主な具体策・数値目標】

- ①市内外の方々に、ふるさと納税を積極的に要請し、今後4年間で、納税額を現在の5倍にすることを目指します。
- ②市広報媒体などにおける民間企業広告の収入を、今後4年間で、現在の3倍にすることを目指します。
- ③平成23年度より市の各種施設の命名権活用による収入増を図ります。
- ④今後4年間で、市税徴収率を現在の93.1%から95%以上に引き上げることを目指します。

#### (5) 市政窓口の改革に取り組みます — 「窓口サービス向上運動」の実践 —

##### 【過去4年間の主な実績】

- ◎休日・夜間開庁の実施
- ◎市民相談アドバイザーの配置
- ◎市主要情報の公民館における掲示 など

##### 【今後の目標】

市政の主人公は言うまでもなく市民の皆さまであり、市役所は何よりも市民の皆さまにとって使い勝手がいいものでなければなりません。しかし、中には「どこの課に行けばいいのか分からない」「時間がかかりすぎる」といった声が聞こえるのも事実です。このため、全職員・全部署が一丸となって取り組む「窓口サービス向上運動」を推進するとともに、民間企業や団体への派遣など職員研修の充実などにより、市民サービスの一層の向上を図ります。

##### 【主な具体策・数値目標】

- ①平成22年度より、「窓口サービス向上運動」に全庁あげて取り組みます。
- ②平成22年度より必要に応じ、民間企業・団体での研修を実施し、市職員のサービス精神を高めます。

③平成22年度より、市政の出来事や課題、市長のメッセージなどを載せたメールマガジンの定期配信を始めます。

## **(6) 行政の危機管理体制を強化します —BCP(市役所業務継続計画)の策定—**

### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎防災安全推進室・危機管理担当者の新設
- ◎総合防災訓練・地区防災訓練の実施
- ◎災害時応援協定の締結 など

### **【今後の目標】**

防災体制の強化を進めることに加え、災害などに際しての危機管理は、行政にとって最重要課題の一つであります。このため、すでに防災安全推進室を設け、部長級の職員を危機管理担当者として配置しておりますが、さらに万全には万全を期し、突発的に発生するいかなる危機にも機敏に対応していかなければなりません。今後は危機管理体制の強化および意識改革の徹底を図り、危機に対応できる行政体制を早急に確立します。

### **【主な具体策・数値目標】**

- ①平成22年度中に、災害時におけるBCP(市役所業務継続計画)を策定します。
- ②平成22年度より、多様な災害のシミュレーション(図上演習)を半年に1回程度実施し、その結果を市民に報告します。

## **(7) 合併効果の最大化を追求します —「南の郷 手づくり未来計画」の促進—**

### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎「南の郷 手づくり未来計画」の策定
- ◎南郷ジャズフェスティバルの開催
- ◎南郷区におけるグリーンツーリズムの推進
- ◎市道西母袋子線の整備 など

### **【今後の目標】**

八戸市と南郷村との合併以来、一体性の醸成や相乗効果の発揮、不便・不都合の除去に取り組んでまいりました。市民の皆さまの多大な努力により、市としての一体感は格段に強くなりましたが、南郷区にとっても、また八戸市全体にとっても、合併効果をさらに大きくしていかなければなりません。4年後には「完全に一体化した」「合併は成功だった」と思っていただけよう全力で取り組みます。

### **【主な具体策・数値目標】**

- ①平成22年度以降、新市建設計画に掲載された事業を引き続き推進するとともに、「南の郷 手づくり未来計画」を促進します。

- ②南郷区との交流の利便性を高めるため、市道西母袋子線を早期に完成させます。
- ③平成21年度中に、首都圏の小・中学生などのための農業体験学校の検討を開始し、同22年度以降、速やかな実現を目指すなど、そばや果樹をはじめとする南郷区における農業とグリーンツーリズムの一層の振興を図ります。
- ④平成22年度より、南郷ジャズフェスティバルのさらなる充実を図るとともに、南郷文化ホールを活用した定期的な映画の上映「南郷名画座」を実施します。
- ⑤平成22年度より、二地域居住の可能性や方法を検討します。

## **(8) 広域連携・自立の促進を図ります — 定住自立圏の形成促進 —**

### **【過去4年間の主な実績】**

- ◎岩手県北との三圏域連携懇談会の設置・開催
- ◎三圏域連携音楽会の開催
- ◎全国県境地域シンポジウムの開催
- ◎定住自立圏構想の先行実施団体選定・協定締結 など

### **【今後の目標】**

八戸がまさに「北東北の雄」になるには、広域連携を推し進めるとともに、自立を促進していかなければなりません。平成18年7月に三圏域連携懇談会を設置し、連携の強化を進めており、また同20年には総務省の定住自立圏構想の先行実施団体として選定され、周辺町村と定住自立圏形成協定を締結しました。今後は定住自立圏共生ビジョンを策定するとともに、この流れをさらに推し進め、北東北の中核都市を目指してまいります。

### **【主な具体策・数値目標】**

- ①平成21年度末までに、近隣町村との定住自立圏共生ビジョンを策定し、連携施策を推進します。
- ②平成22年度以降、三圏域連携推進事業を引き続き積極的に実施し、一体性の醸成を目指します。
- ③引き続き中核市構想を推進します。
- ④平成22年度より、遠隔地を含めた他の自治体との多様な連携方法を模索しながら、相互補強のためのさまざまな「自治体コンソーシアム構想」を推進します。

八戸市民とともに  
さらに前へ



～ 今後4年間で重点的に取り組む100の施策 ～

2009年10月 マニフェスト(政策公約)

**小林まこと後援会事務所**

〒031-0071 八戸市沼館1丁目7-29

**TEL.73-1080(代) FAX.73-1083**

第5次八戸市総合計画

# 市民アンケート調査

報告書

平成19年3月

エックス  
**(株)E X 都市研究所**



# — 目 次 —

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査対象	1
(4) 調査方法	1
(5) 調査期間	1
(6) 回収状況	1
2. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 家族構成	2
(4) 居住年数	3
(5) 職業	3
3. アンケート結果	4
(1) 雇用を取り巻く状況	4
(2) 農産物の地産地消の普及	4
(3) 水産業の活力の維持・回復	6
(4) 市民参画による観光振興	7
(5) 産学官民の連携促進	8
(6) 中心街の再生	8
(7) 市民の自主的な文化活動、スポーツ活動の促進	10
(8) 市民の環境意識	10
(9) 地域における世代間交流	11
(10) 高齢者・障害者の生活環境	12
(11) 健康な生活や暮らしの安全の確保	13
(12) 市民と行政による協働の仕組み	14
(13) 市民福祉の向上や効率的な行政運営	14
(14) 窓口サービスの向上や市民への情報提供	15
4. 自由意見	17
参考. アンケート票	29





# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

この調査は、前期推進計画の5年間で重点的に取り組む施策や事業（戦略プロジェクト）について、現在と比較して5年後にどの程度成果が現れているかを把握し、総合計画の進捗管理に役立てることを目的として実施しました。

## (2) 調査項目

戦略プロジェクトの内容を基本に、市民の行動・意識に関わる設問を設定し、現在の状況を評価していただきました。

## (3) 調査対象

この調査は、当市にお住まいの18歳以上の方から、無作為に抽出した1,000名を対象としました。

## (4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼・督促状を配布しました。

## (5) 調査期間

平成19年1月9日に発送し、1月26日を投函締め切りとしました。

## (6) 回収状況

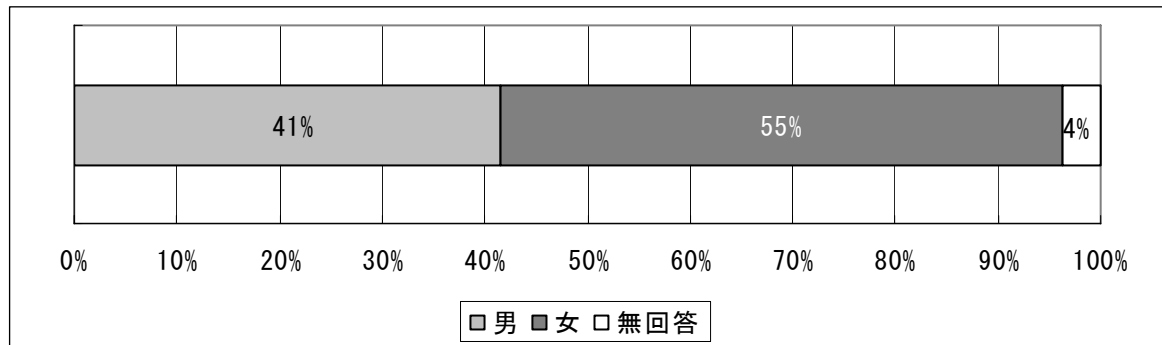
配布数1,000票に対して、有効回収数は627票、有効回収率は62.7%でした。

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別

回答者の性別は、「男性」41%、「女性」55%となっており、女性の割合が高くなっています。

図 回答者の性別

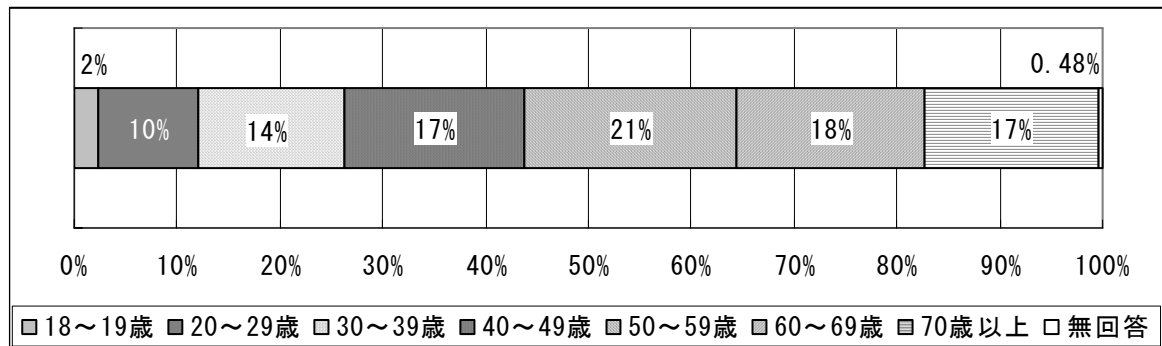


N=627

### (2) 年齢

回答者の年齢は、「50歳代」が21%で最も高い割合を占め、次いで「60歳代」が18%、「40歳代」と「70歳以上」が17%となっています。

図 回答者の年齢

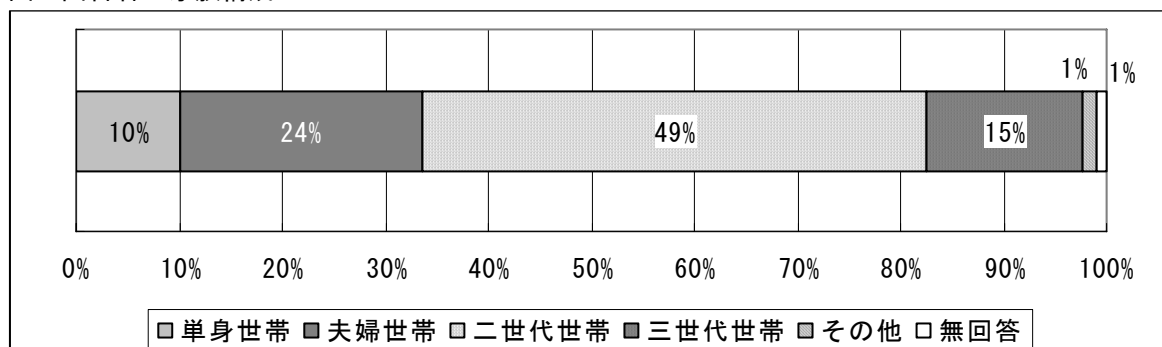


N=627

### (3) 家族構成

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が49%で最も高い割合を占め、次いで「夫婦世代」が24%、「三世世代世帯」が15%となっています。

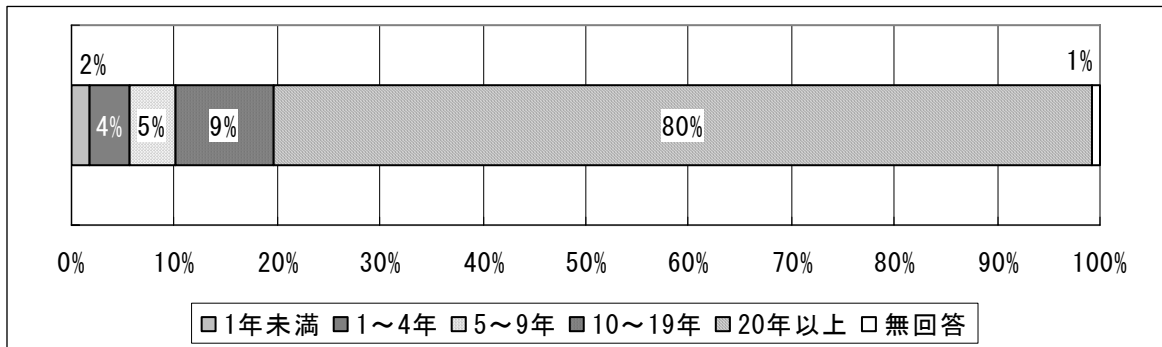
図 回答者の家族構成



**(4) 居住年数**

回答者の居住年数は、「20年以上」が80%を占めています。

図 回答者の居住年数

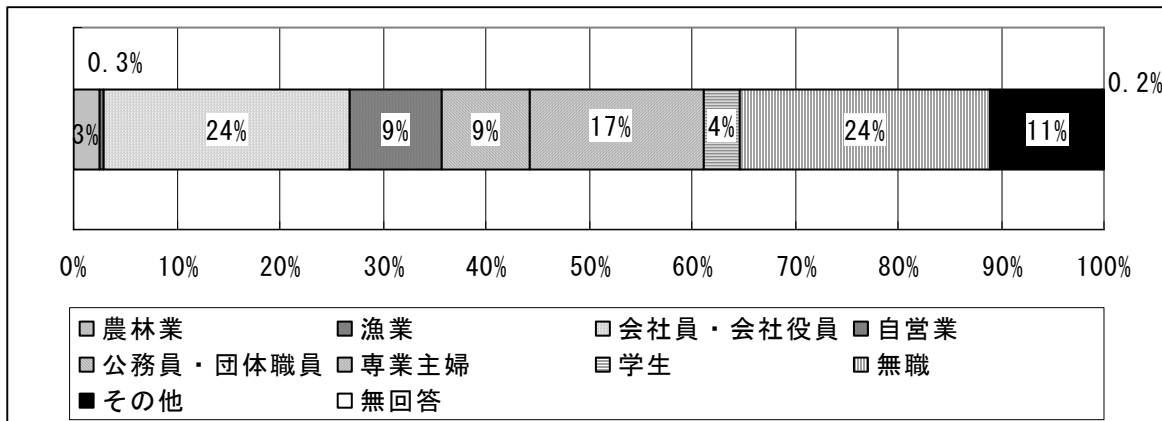


N=627

**(5) 職業**

回答者の職業は、「会社員・会社役員」と「無職」が24%、次いで「専業主婦」が17%となっています。

図 回答者の職業



N=627

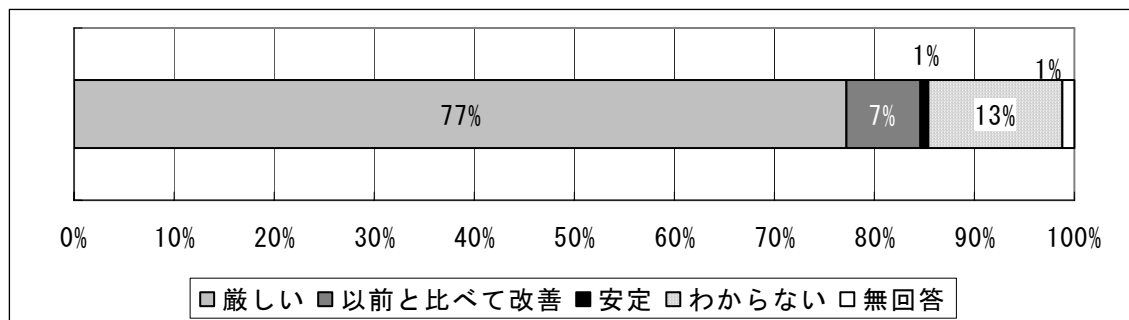
### 3. アンケート結果

#### (1) 雇用を取り巻く状況

問1 あなたは企業の求人の動向など、当市の雇用を取り巻く状況についてどのようにお考えですか。

雇用を取り巻く状況に対しては、77%の方が「厳しい」と回答しています。「以前と比べて改善」と回答した方は7%に留まっています。

図 当市の雇用を取り巻く状況についてどのように考えているか



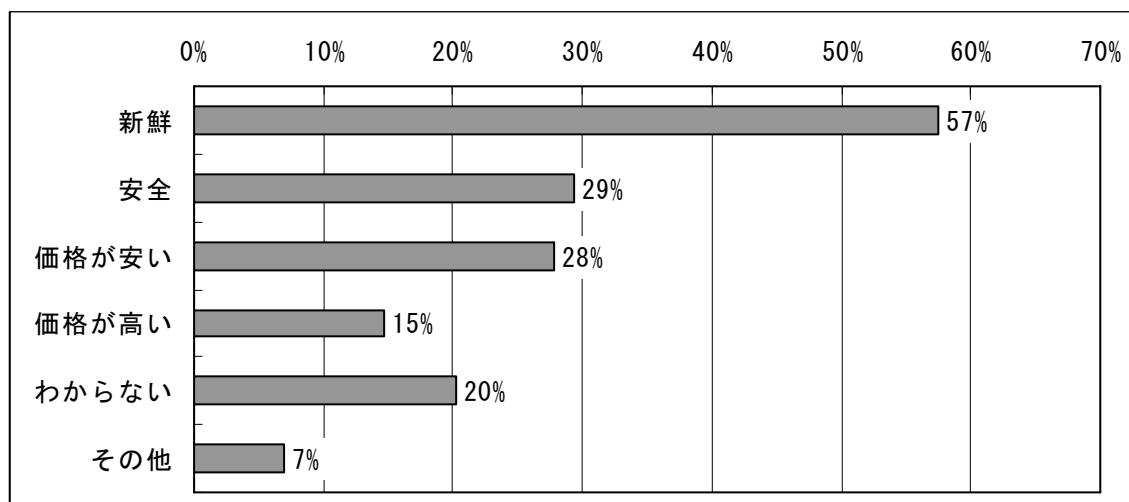
N=627

#### (2) 農産物の地産地消の普及

問2 あなたは八戸地域で生産された農産物についてどのようにお考えですか。

八戸地域で生産された農産物に対する評価は、「新鮮」が57%と最も高くなっており、2位の回答割合に対して約2倍の評価を得ています。次いで「安全」が29%、「価格が安い」が28%となっています。

図 八戸地域で生産された農産物についてどのように考えているか

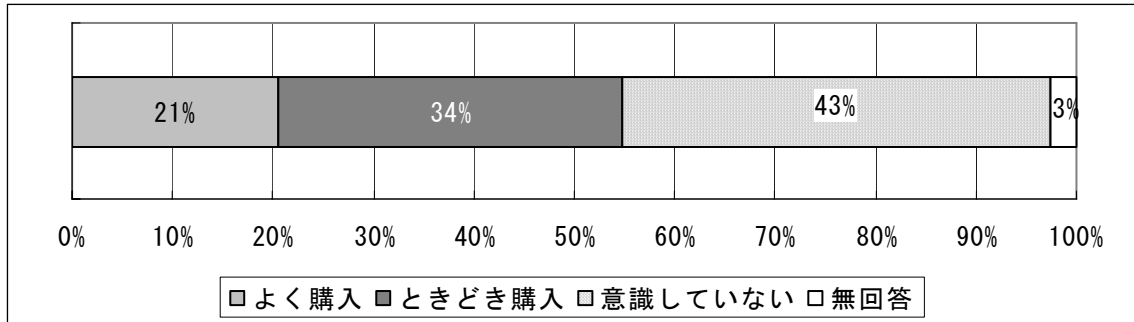


N=627

**問3 あなたは、農産物を購入する際に八戸地域の産品をどの程度購入していますか。**

八戸地域で生産された農産物の購入実態は、「よく購入」と「ときどき購入」が合わせて 55% となっており、半数以上の方が意識的に購入しています。一方、「意識していない」は 43% となっています。

図 八戸地域の産品をどの程度購入しているか

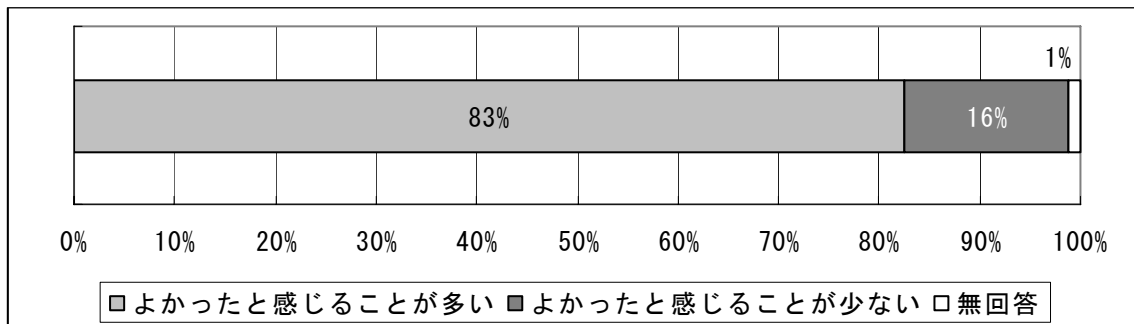


N=627

**問3-1 あなたは、実際に八戸地域の産品を購入してみて『よかった』と感じますか。**

問3で「よく購入」または「ときどき購入」と回答した方に対して、購入後の評価を尋ねました。「よかったと感じることが多い」が 83% を占めています。

図 実際に八戸地域の産品を購入してみて「よかった」と感じたか



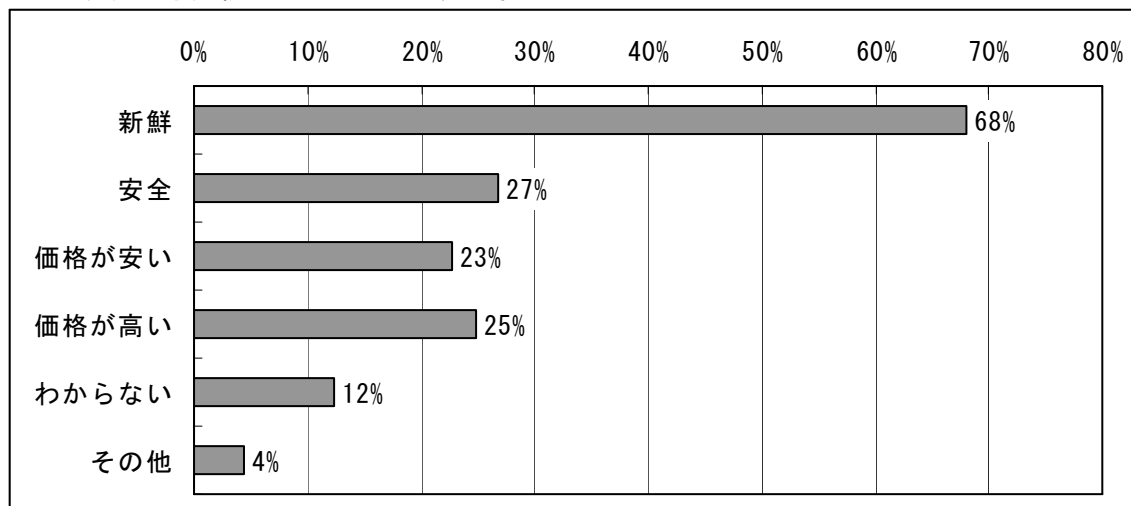
N=344

### (3) 水産業の活力の維持・回復

#### 問4 あなたは八戸産の水産物についてどのようにお考えですか。

八戸産の水産物に対する評価は、「新鮮」が68%と最も高くなっており、2位の回答割合に対して2倍以上の評価を得ています。次いで「安全」が27%、「価格が高い」が25%となっています。農産物の場合は、「価格が安い」が「価格が高い」を上回っていましたが、水産物の場合は、「価格が高い」が「価格が安い」を2%上回っています。

図 八戸産の水産物についてどのように考えているか

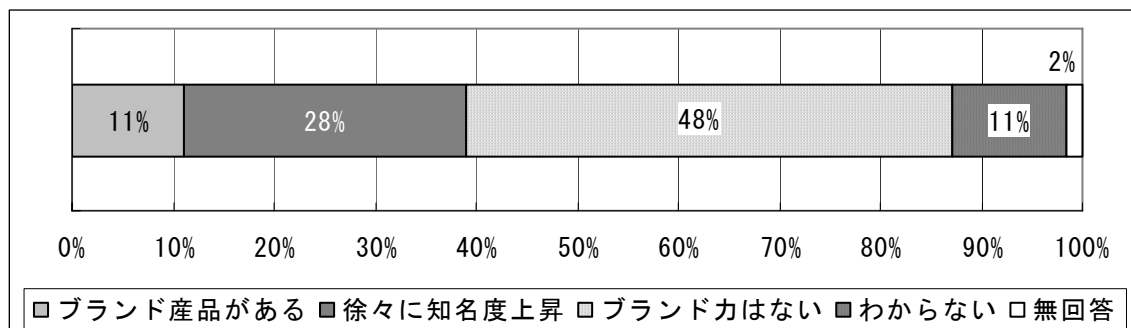


N=627

#### 問5 あなたは、八戸産の水産物がブランド产品になっていると思いますか。

八戸産の水産物のブランド力については、「ブランド产品がある」と「徐々に知名度が向上」を合わせた積極的な評価は39%に留まっている一方で、「ブランド力はない」と回答した方は48%となっています。

図 八戸産の水産物がブランド产品になっていると思うか



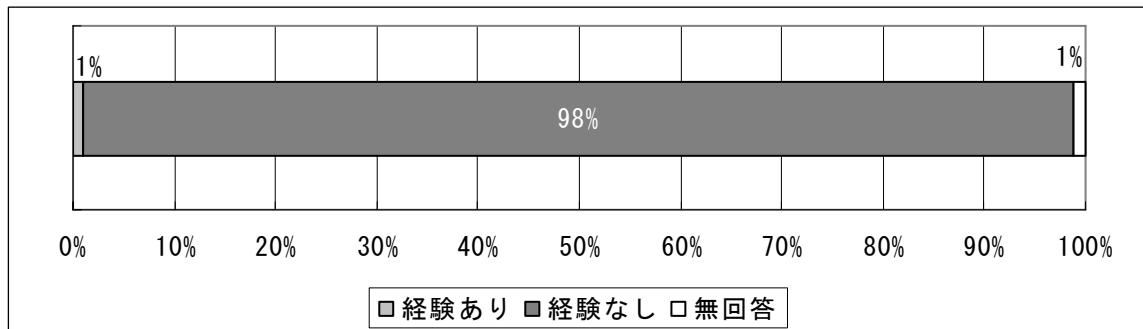
N=627

#### (4) 市民参画による観光振興

問6 あなたは、観光客の「おもてなし案内人」としての観光ボランティアガイドに参加した経験がありますか。

回答者の98%が「参加経験がない」と回答しています。

図 観光ボランティアガイドに参加した経験があるか

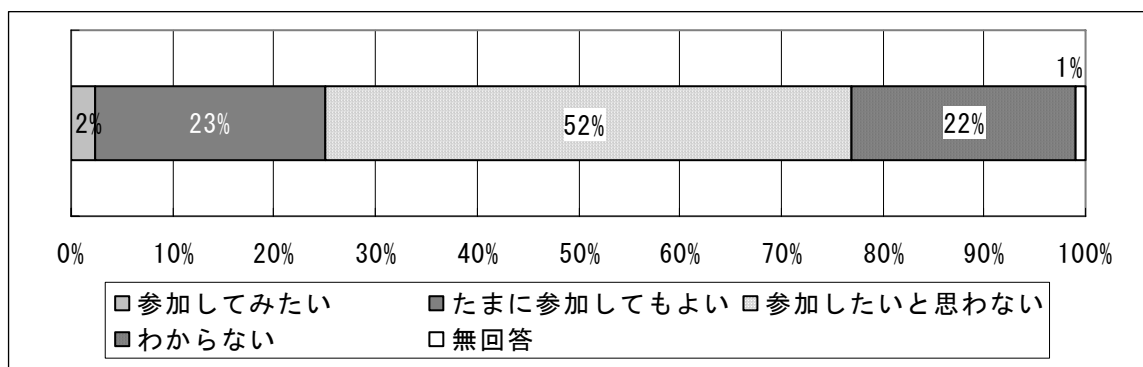


N=627

問6-1 あなたは、観光ボランティアガイドに参加してみたいと思いますか。

問6で「参加経験がない」と回答した方に対して、観光ボランティアガイドへの参加意向を尋ねました。「参加してみたい」と「たまに参加してもよい」を合わせて25%の方が参加意向を示しています。また、「わからない」と回答した方は22%となっています。

図 観光ボランティアガイドに参加してみたいと思うか



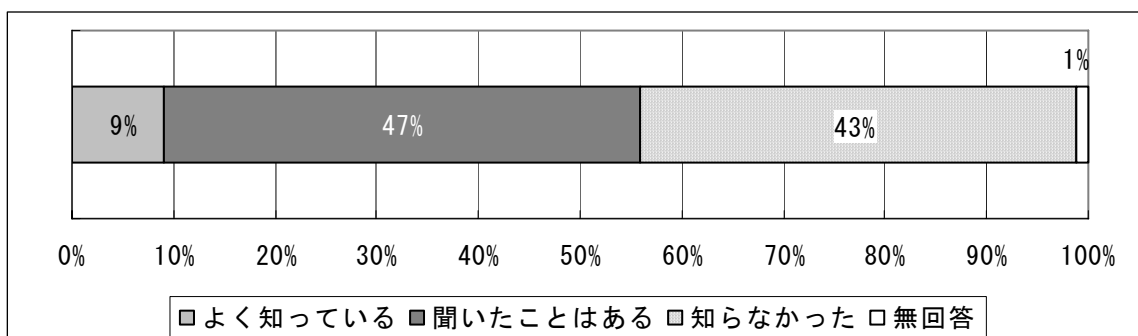
N=613

## (5) 産学官民の連携促進

問7 あなたは、当市の大学などの学術研究機関が地域経済の振興や地域振興などのまちづくりに参画していることを知っていますか。

学術研究機関が地域経済の振興や地域振興などのまちづくりに参画していることに対しては、「よく知っている」と「聞いたことはある」を合わせて56%となっています。

図 大学などの学術研究機関がまちづくりに参画していることを知っているか



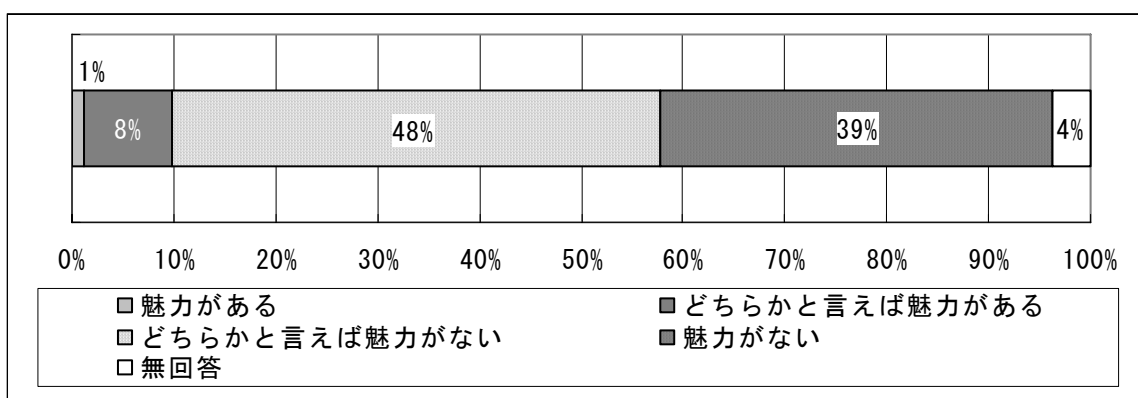
N=627

## (6) 中心街の再生

問8 あなたは現在の中心街に魅力を感じていますか。

中心街の魅力については、「魅力がある」と「どちらかと言えば魅力がある」を合わせて、積極的な評価は9%に留まっています。

図 中心街に魅力を感じているか



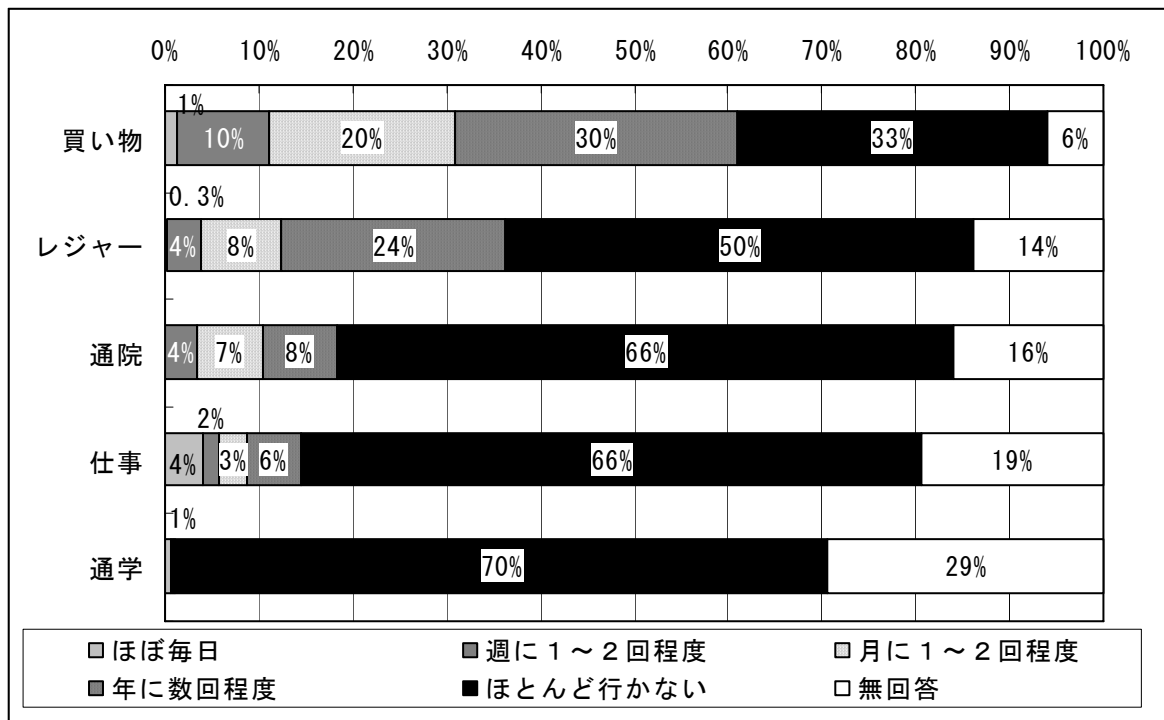
N=627



問9 あなたが中心街へ出かけていく頻度はどれくらいですか。

中心街へ出かけていく頻度は、買い物が最も多く、「ほぼ毎日」と「週に1～2回」を合わせて11%となっています。また、「月に1～2回」を加えれば31%の回答となっています。レジャーについては、買い物よりは少なく、「週に1～2回」と「月に1～2回」を合わせて12%の回答となっています。一方、通院や仕事については66%、通学については70%の方が「ほとんど行かない」と回答しています。

図 中心街へ出かけていく頻度はどれくらいか



N=627

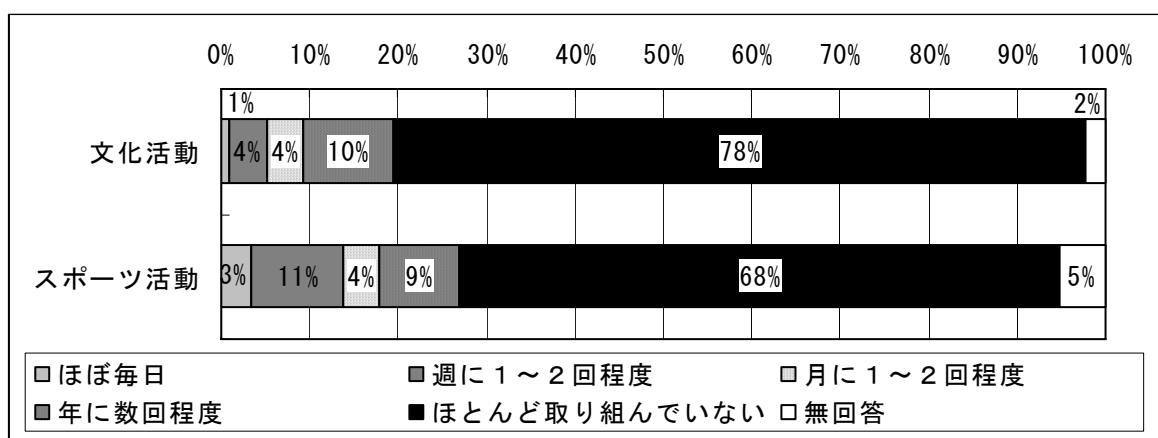
## (7) 市民の自主的な文化活動、スポーツ活動の促進

問10 あなたは、日頃から文化活動やスポーツ活動にどの程度取り組んでいますか。

文化活動については、「ほぼ毎日」と「週に1～2回程度」、「月に1～2回程度」を合わせると定期的に活動している方の割合は9%となっています。また、「年に数回程度」は10%となっています。

スポーツ活動は、文化活動よりも取り組む方の割合が高く、「ほぼ毎日」と「週に1～2回程度」、「月に1～2回程度」を合わせると定期的に活動している方の割合は18%となっています。また、「年に数回程度」は9%となっています。

図 文化活動やスポーツ活動にどの程度取り組んでいるか



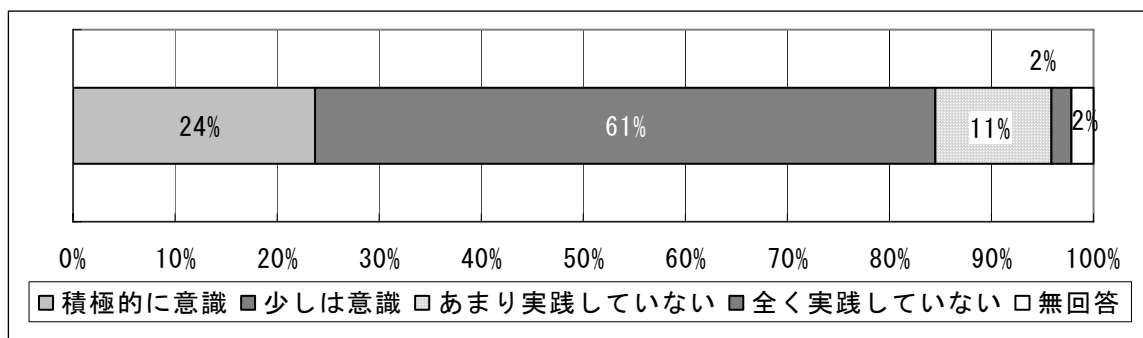
N=627

## (8) 市民の環境意識

問11 あなたは、日常生活の中で環境保全のための行動を実践していますか。

日常生活における環境保全行動の実践状況は、「積極的に意識」して行動している方が24%であり、「少しは意識」して行動している方も含めれば、85%の方が何らかの形で環境保全に配慮しています。

図 日常生活の中で環境保全のための行動を実践しているか



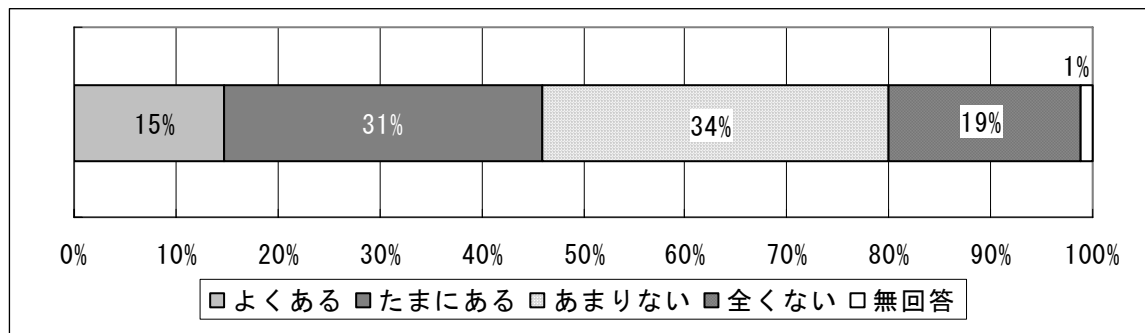
N=627

### (9) 地域における世代間交流

問12 あなたは、近所の子どもと話をしたり、子どもに声をかけたりすることがありますか。

近所の子どもと接する機会は、「よくある」と「たまにある」を合わせて46%となっています。

図 近所の子どもと話をしたり、子どもに声をかけたりすることがあるか

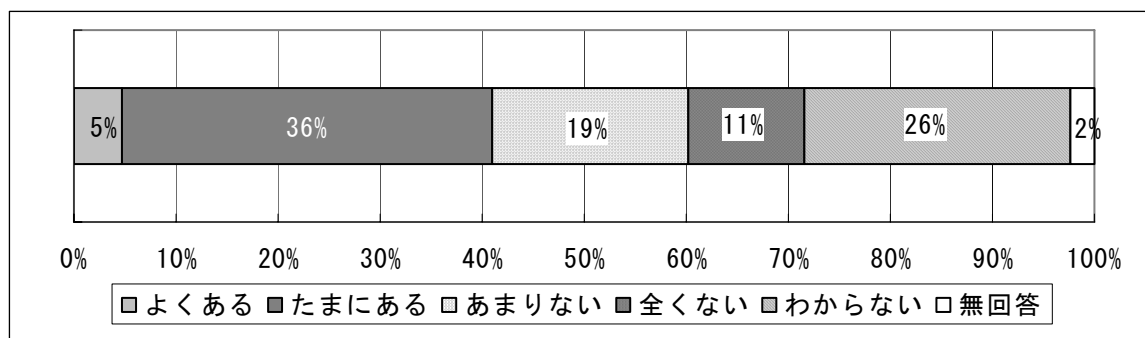


N=627

問13 あなたがお住まいの地域では、子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動がありますか。

地域での子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動は、「よくある」と「たまにある」を合わせて41%となっています。

図 子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動があるか



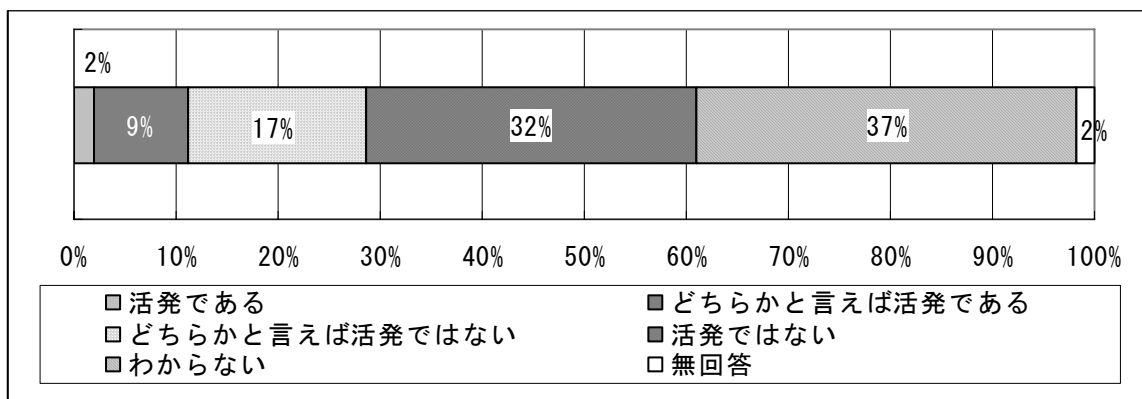
N=627

(10) 高齢者・障害者の生活環境

問14 あなたがお住まいの地域では、福祉ボランティア活動が活発に行われていると感じていますか。

地域での福祉ボランティア活動は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」を合わせて11%となっています。

図 福祉ボランティア活動が活発に行われていると感じているか

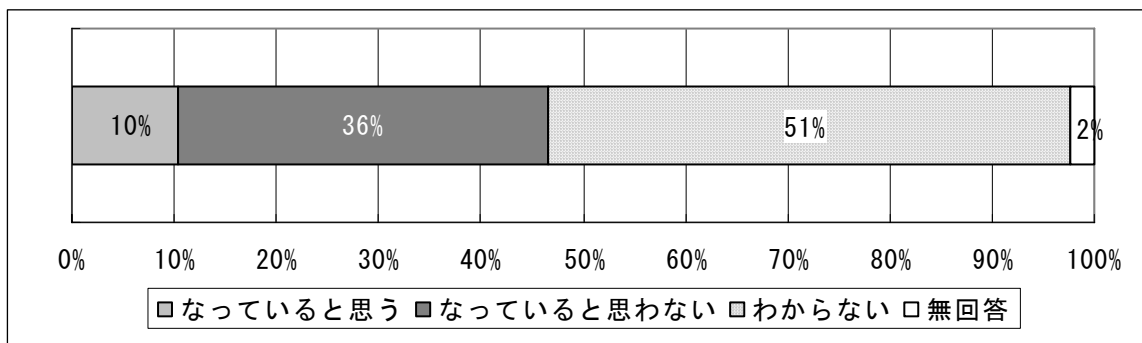


N=627

問15 あなたがお住まいの地域では、障害者やひとり暮らしの高齢者が、災害時などの緊急時に地域の中で支援を受けられるようになっていると思いますか。

障害者やひとり暮らしの高齢者が、災害時などの緊急時に地域の中で支援を受けられるようになっているかどうかについては、「なっていると思う」と回答した方は10%に留まっています。

図 障害者やひとり暮らしの高齢者が、緊急時に支援を受けられるようになっていると思うか



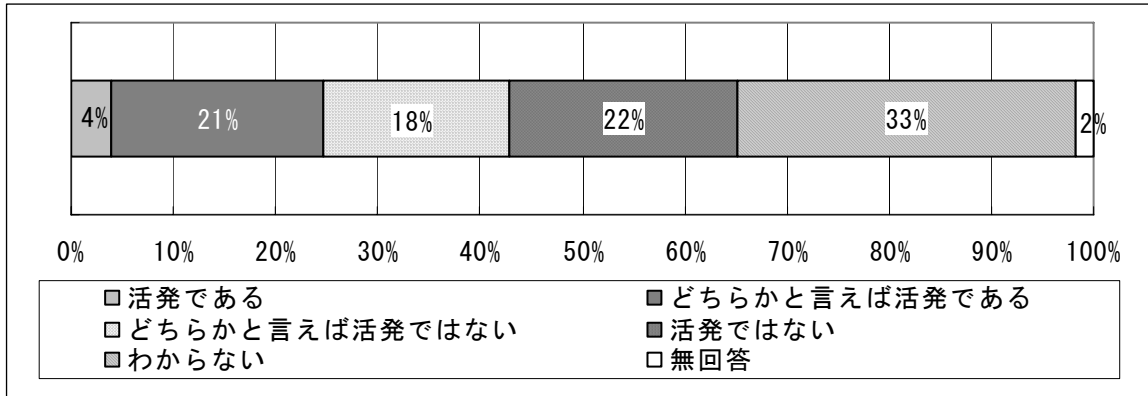
N=627

(11) 健康な生活や暮らしの安全の確保

問16 あなたがお住まいの地域では、健康講座や運動指導をはじめとした健康づくり活動が活発に行われていると感じていますか。

地域での健康講座や運動指導をはじめとした健康づくり活動の状況は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」を合わせて25%となっています。

図 健康づくり活動が活発に行われていると感じているか

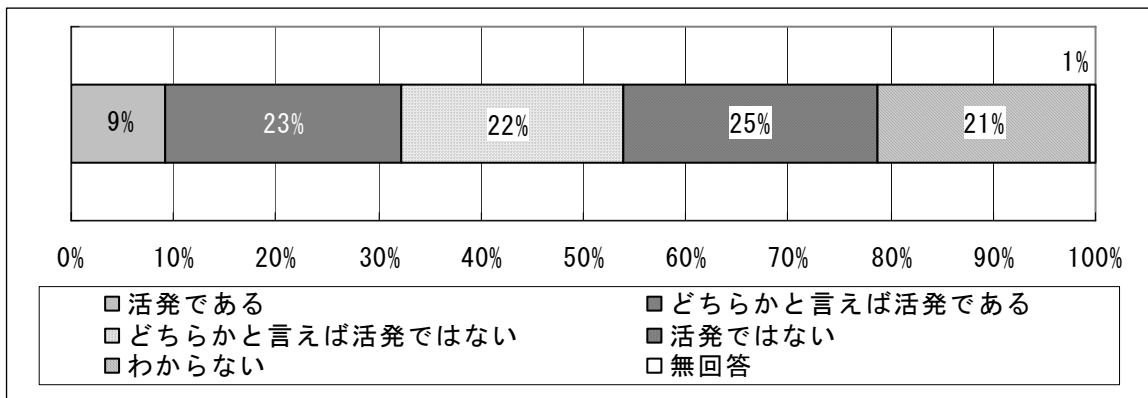


N=627

問17 あなたがお住まいの地域では、日ごろから安全・安心活動（防災訓練、防犯パトロールなど）が活発に行われていると感じていますか。

地域での安全・安心活動の状況は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」を合わせて32%となっています。

図 安全・安心活動が活発に行われていると感じているか



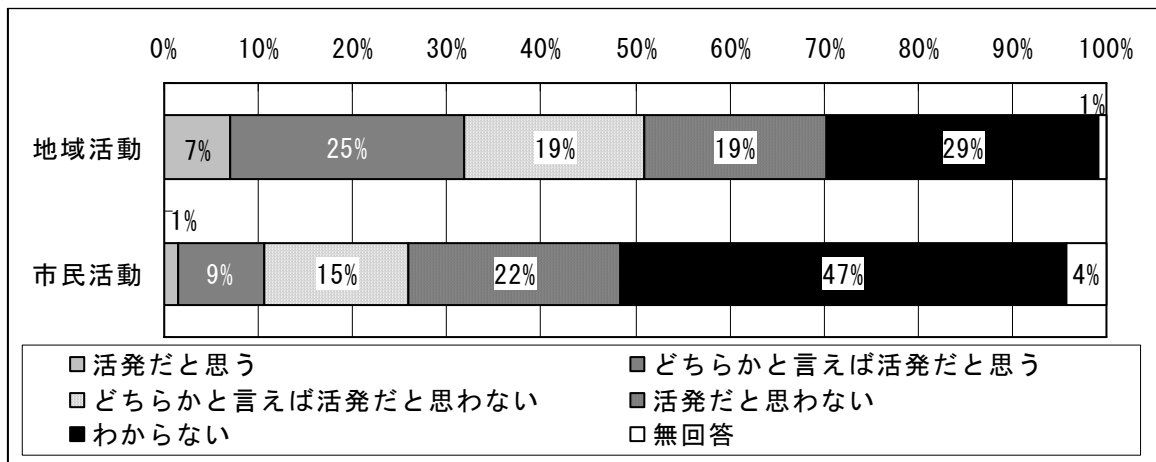
N=627

### (12) 市民と行政による協働の仕組み

問18 あなたがお住まいの地域では、町内会や自治会などの地域活動が活発だと思いますか。また、本市では市民活動が活発だと思いますか。

地域活動の状況は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」を合わせて 32%となっています。一方、市民活動の状況は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」を合わせて 10%となっています。また、「わからない」という回答も 47%を占めています。

図 地域活動・市民活動が活発だと思うか



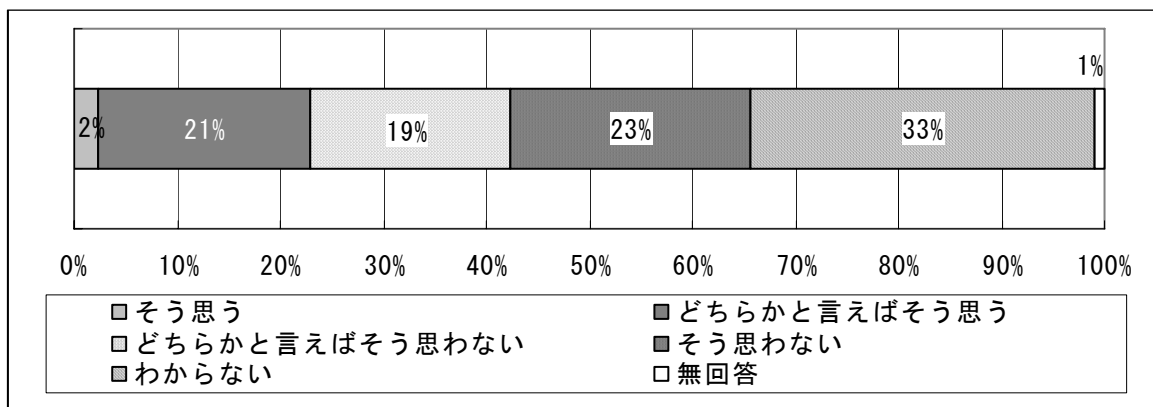
N=627

### (13) 市民福祉の向上や効率的な行政運営

問19 あなたは、市の行財政運営に関して、積極的に情報が公開・提供されていると感じますか。

市の行財政運営に関し、情報公開・提供がなされているかどうかについては、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせて 23%となっています。一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると 42%となっています。また、「わからない」という回答も 33%を占めています。

図 市の行財政運営に関して、積極的に情報が公開・提供されているか



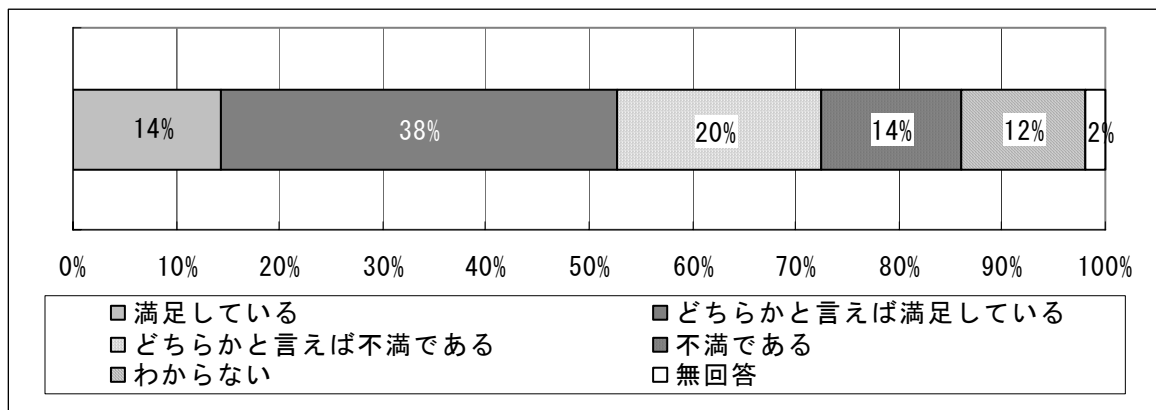
N=627

(14) 窓口サービスの向上や市民への情報提供

問20 あなたは、市役所の窓口での職員の対応や姿勢に満足していますか。

市役所の窓口での職員の対応や姿勢については、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせて52%となっています。

図 市役所の窓口での職員の対応や姿勢に満足しているか

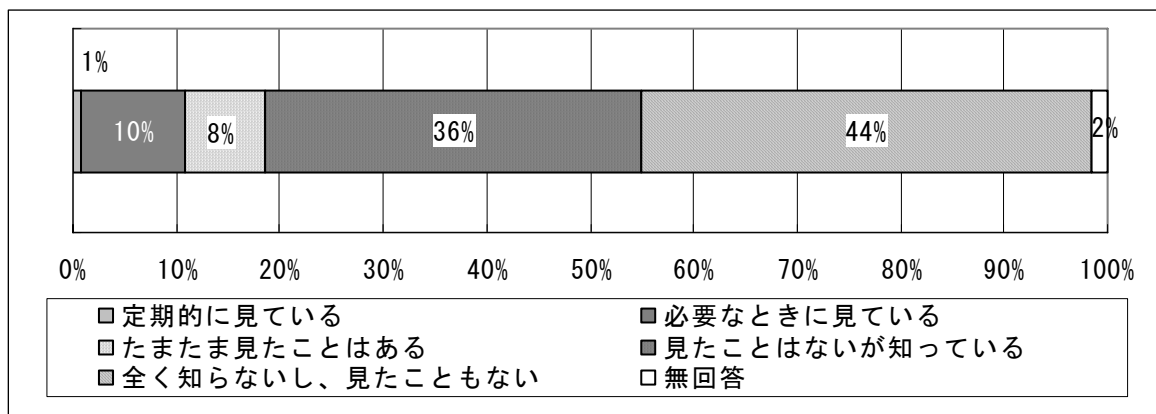


N=627

問21 当市では、インターネットにホームページを開設し、さまざまな情報の提供を行っています。あなたは八戸市のホームページをご覧になったことがありますか。

八戸市のホームページを見たことがあるかどうかについては、「定期的に見ている」と「必要なときに見ている」を合わせて11%となっています。一方、「全く知らないし、見たこともない」は44%となっています。

図 八戸市のホームページを見たことがあるか

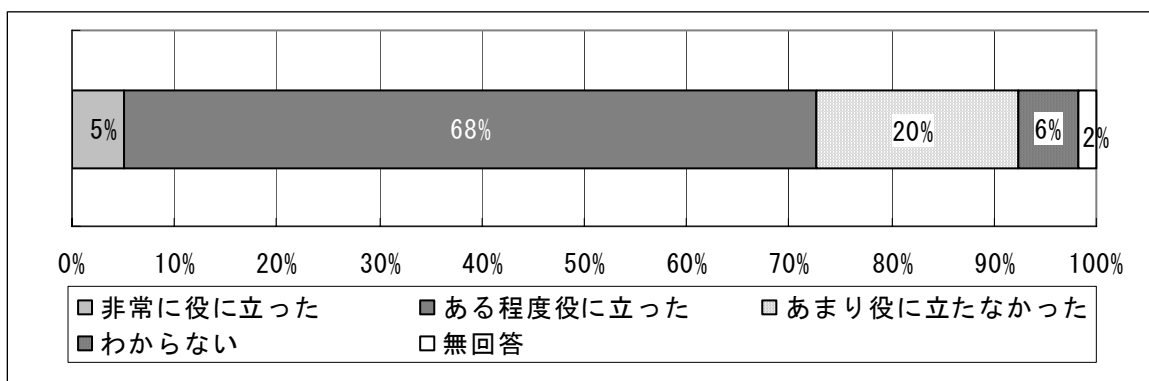


N=627

### 問21-1 市のホームページについてどのように感じましたか。

問21で「見たことがある」と回答した方に対して、市のホームページへの評価を尋ねました。「非常に役に立った」と「ある程度役に立った」を合わせて73%の方が役に立ったと回答しています。

図 市のホームページについてどのように感じたか



N=117



## 4. 自由意見

分野	項目	自由意見
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	生涯学習	市民大学講座に主婦でも参加できるように、日中も開催してほしい。
		八戸商工会館の主催で行われている無料講座を、市でも開催してほしい。
		図書館の2階席は、学生用・社会人用で分けなくてもよい。
	学校教育	生徒指導も大事だが、教員・教師の指導も徹底してほしい。
		部活の指導を行っているが、学校側が指導者を大切にしていない。
		人間として大切なことがたくさん文部省唱歌に謳いこまれている。近年そうしたものが教科書から姿を消しているのが残念。
		八戸らしい人材の育成、八戸の自然に包まれた人材の育成など、教育環境の整備が最重要課題。
		15歳以下の子どもに対する中期的な対策に取り組むべき。
		八戸から子どもの自殺者を出さないよう、教師達は子ども達の小さなサインを見逃さず、しっかりした指導をしてほしい。
		いじめや自殺などの対策を問題が起こる前にしっかりやるべき。
		課外活動の活発化のため、公民館・公会堂の使用料を値下げしてほしい。
	文化	郷土愛を育てる施策を願いたい。サッカーや野球などのスポーツでも他県出身者や外国人ばかりにならず、県内出身者が主になってほしい。県内出身者の指導員を八戸市職員として迎え、子ども達の指導をしてもらうことができないか。
		美術館のお粗末さには、他県より来た際非常にびっくりした。公会堂も狭く、25万都市としてはハコモノの設備が悪い。
		八戸市立美術館をリフォームしてほしい。良い企画が行われていても場所さえ知らない人が多いのもっと地域に紹介すべき。
		現公会堂より、もう少し大きなイベントができる、文化会館のような建物があっていいと思う。
	スポーツ	文化施設を充実してほしい。
		スポーツイベント等の開催にあたっては、長根周辺の体育施設を使うことで、街の中心に人が集まりやすくなってくのではないか。
		体育振興公社への助成を減らしてでも、社会（体育）指導員を増やすよう努力し、青少年の体育振興を図ってほしい。
		スポーツ施設の充実が必要。
		美保野地区は「学園都市」として、総合運動場（屋内スケートリンク、野球場、陸上競技場、サッカー場、テニスコート、児童の遊び場等）の誘致を望む。
街の中心地に中高年にも利用しやすいスポーツ施設がほしい。		
旭川では、市の体育館等の施設を毎月色々なスポーツ用に開放して、その時間帯に誰でも利用できるよう、市の回覧に載せていた。クラブや団体に所属することなく、自由にスポーツが楽しめるのですばらしい。こういったものを見習ってどうか。		
東運動公園内の陸上競技場に大きな大会が開催できるような施設をつくってほしい（サブトラックなど）。		
市民の健康のため、パークゴルフ場やグランドゴルフ場をつくってほしい。		
男女共同参画	仕事を持つ婦人を活かすべき。	
産業・雇用	産業力の強化	IT環境の充実を希望。
		農産物・水産物の地産地消を推進すべき。
		地産地消の推進が必要（魚、野菜）。
		八戸の水産物は全国的なブランドを確立していないので、もっとPRしていくべき。
	現況では加工品の一部を除き、鮮魚・農産物ともに地元のものは売っていない。野菜や魚自体、県外品と外国産が多くを占めている。	
農林業	道の駅をつくり、農産物をPRすればよいのではないか。	

分野	項目	自由意見
産業・雇用	水産業	漁業の振興が重要。
		新規格漁港の実現に向け、職員・市民が一丸となって邁進していくよう希望。
		浜の活性化を図って水産業を発展させていくことが、八戸の発展にもつながる。漁業などの衰退産業は昔のように大きくなることは難しい。漁港を一般のボート・レジャーボート等に開放してはどうか。
	工業	企業誘致を推進すべき。
		既存のものばかりにとらわれず、新たに企業を誘致していくべき。
	商業・中心市街地活性化	企業誘致をもっと積極的に行ってほしい。雇用の確保になり活性化にも貢献する。
		商工会議所は、有識者の講演会ばかり開催していないで、もっと現実的に企業や商店のためになるようなことをしてほしい。
		中心市街地ばかりでなく、田向地区にも商業施設を誘致してほしい。
		大型商業施設の誘致を希望。
		中心街にこだわらず、大型商業施設が南類家あたりにできるのも賛成。
		八戸にジャスコを誘致してほしい。
		田向地区に大型商業施設を是非誘致してほしい。雇用も増えると思う。
		商店街を大型ショッピングセンター風に整備すべき。
		田向に大型商業施設の誘致を認めなかったことに不満がある。施設ができることは市民の雇用にもつながるのではないかな。
		市は、田向地区の大型商業施設の出店を拒否したが、市民の多くは賛成しているのか。市民は、不便で魅力のない中心街より、利便性がよく魅力的な商業施設に期待しているのではないかな。もっと市民一人ひとりの判断を問うべき。
		買い物できる大型商業施設が少ない。中心街にこだわらず、ピアドゥ・ラピアに続き、ジャスコ等の店ができてほしい。
		大型商業施設を利用することで活性化の道を見つけたほうがよい。
		中心街は現状のままで、イベントや行事の時だけ賑わえばよい。それよりもショッピングモールなどをつくり、雇用や集客に力を入れてほしい。
		魅力的な店が少ない。
		憩いの場やショッピングモールなどをつくってほしい（八戸駅前）。
		沼館地区に商業施設が集中しすぎている。
		世代別に魅力ある店舗が必要。例えば、子どもの遊び空間、若者向けのしゃれた店・喫茶店、若夫婦向けのしゃれていて品揃えのよい店、中年向けのゆったり休める場所、老年向けのバリアフリー・田舎風の気取らない店など。
		地元商店街の活性化を希望。大型商業施設が増えると、高齢者の買い物が大変。
		郊外に店が多すぎる。
		今の八戸に買い物などの購買意欲が湧かない。
		街に出かけなくても用が足りる。行きたいとも思わない。せめて市民病院でも前の場所にあれば出かけたかも知れない。
		中心街の駐車場（デパート）が停めづらいうえ、ベビーカーでの移動が困難。
		中心街の範囲内に図書館と美術館を統合した大きな施設を建ててほしい。
		中心街は、交通の便がよくなれば、より多くの集客が望めるのではないかな。
		中心街に大規模な遊園地を誘致すれば、他県からの集客も望めるのではないかな。
		中心街は物価が高いイメージがある。気楽に買い物できる店を増やしてほしい。
		中心街に大きなビル（大型商業施設）を建てられるよう、市が何とかするべき。このままでは中心街がなくなり、郊外の方が発展するのではないかな。
		中心街にジャスコなどを誘致し、八戸の財政にプラスとなる施策を考えるべき。
中心商店街の駐車料金無料化を希望。		
駐車料金のことを考えると、中心市街地を利用する意欲がなくなる。		
八戸駅周辺の整備を望む。		
中心街を八戸駅周辺に集約すべき。まだ空地もあり、駐車場料金がかからずに色々な用事が済ませられれば便利で人も増えると思う。近辺の公共施設でイベント等を行えば、新幹線や電車でも来る人がいるはず。		
八戸駅の周辺が栄えていないのは寂しい。		

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	中心街に利用しやすい駐車場がほしい。
		中心街再生はムダ。駐車場に問題がある。
		中心街の駐車料金が安い。郊外店は無料なので、中心街へ行く気がしない。
		中心街に無料の大きな駐車場がほしい。現在、有料駐車場しかないため、買い物やレジャー（娯楽、遊び）にとっても不便。そのため中心街に出かけることはない。
		八戸駅・本八戸駅に無料の駐車場を増やしてほしい。帰省の出迎えに行くときなど駐車場に空きが無く困った（連休やお盆、正月など）。
		中心街に大型で無料の駐車場があるとよい。
		駐車時間・料金を気にしながらショッピングをしたくない。月に何回かでも駐車場料金を無料にし、どれくらい人が集まるか試してみてもどうか。
		駐車料金を払ってまで中心街に行く気にはなれない。無料にすべき。
		駐車料金が高すぎるので、ゆっくり買い物ができない。せめて各店の駐車時間を合計した精算ができないものか。
		中心街は、駐車場が狭く、料金が安い。
		中心街は、駐車場が少なく、料金が安い。
		中心街に無料の駐車場を希望。
		中心街の駐車料金が安い。
		中心街でももう少し駐車場を増やしてほしい。
		中心街での広い駐車場が必要。車がいつでも駐車できれば、現在でも集客は望める。大型駐車場がなければ中心街には人は集まらない。
		中心市街地の活性化を望む。
		二戸市にある「こどもの森」のような、悪天候でも家族で楽しめる施設を中心街につくってほしい。
		中心街に若者の遊び場がない。
		商店街・観光協会のまちづくりが市民に伝わってこない。
		中心街に空間（公園等）がない。
		中心街にタクシー乗り場が少ない。
		中心街の再生（大規模な都市の再計画）が必要。
		八戸市の繁華街を活性化してほしい。
		中心街は買い物できる店がなく、飲食店ばかり多い気がする。
		中心街は都会のチェーン店が少なく、若者向けの街ではないと感じる。
		若者向けの店舗を誘致してほしい。原宿のような小売店が並んだ通りが楽しく、人が集まりやすいと思う。オープンカフェのような店がたくさんあるとよい。
		中心街の活性化を図ってほしい。空き店舗は、高齢者の憩いの場や定期的なフリーマーケット場、老人施設（グループホーム等）に利用できるのではないかと。
		旧市民病院（本鍛冶町）は、活性化のため町内会や地権者を含め話し合ってもらいたい。
		旧市民病院周辺の人々は、芸術パークよりも集客力のある多目的高齢者施設を望んでいると思う。
		市民病院跡地の有効利用を望む。
		中心商店街の商店紹介の案内放送が古臭いので新しくしてほしい。
		中心市街地活性化は是非必要である。
		中心街にもっと魅力を持たせてほしい。
		中心街活性化は三日町付近だけではなく、中心の定義をもっと広義に捉えるべき。
		中心市街地活性化を第一に考え、今後の高齢化に対応した街のデザイン化が急務。
		中心街の空洞化を防ぐため、郊外への大型店誘致は避けなければならない。
		もっと魅力ある店舗づくりが必要。
		三日町など中心街を再開発するのはよいが、駐車スペースの確保など、気軽に行きやすい環境づくりに気をつけてもらいたい。
		中心街の活性化が必要。
		中心街が閑散としている。何とかならないか。
全店共通のポイント導入は、購買力の向上につながるのではないかと。		
中心街が駅から離れているのは不便。		

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	ベビーカーを押して中心街に出かけた際、歩道と交差点で身動きがとれなかった。遠くても移動が楽な他市町村の大型商業施設の方が便利だと感じる。
		中心街がとても狭い。車道も歩道もゆとりが感じられない。
		中心街にこなければ絶対にならないようなものをつくらなければ、活性化は望めない。
		中心街は、公会堂の規模が小さく老朽化しつつあるほか、スポーツ活動においても冬場に活動できる場所が少ないので、家族が楽しめる娯楽施設がほしい。
		主婦が集まるような何かをつくってほしい。
		中心街活性化のためには民意の底上げが必要。
		郊外の活性化はすべきでない。
		中心街には服飾店などほしいものがない。仙台のような店があるとよい。
		若者ばかりでなく、中高年にも魅力のある中心街を望む。
		本八戸駅通りは、旧市街の玄関としてあまりにひどい。駅前屋台通りにすればよい。
		中心街の活性化には都市計画の実現が不可欠。
		中心街に住宅（集合住宅）を整備すれば、人の交流が生まれるのではないか。
		中心街は商店街として活性化させるより、文化施設、スポーツ施設、大規模SPA等を設置したほうが、集客を見込めるのではないか。
		八戸駅の駅ビルは、ショッピングセンターなどもう少し発展させたほうがよい。
		ユートリーは必要ない。八戸駅前の商業店舗も魅力がない。
		パチンコ屋ばかり建ててほしくない。
		ヴィアノヴァのような若い人向けの店をたくさん誘致してほしい。
		若者が低料金で使える店舗がほしい。
		若者が遊べる施設がほしい。例えば、カート専門の小規模なサーキット場など。
		イベントをもっと増やしてほしい。
	郊外でのイベントは車がないと不便。	
	遊ぶところや、買い物できる店がなく、コンビニが一軒もないのは不便。	
	他県と比較して、家族で楽しめるレジャー施設が少ない。	
	子どもを連れて遊びに行く場が少ないのでもっと増やしてほしい。	
	ショッピング、レジャー施設の誘致を希望。	
	貿易	ポートアイランドの開発を希望。
	観光	種差の開発を希望（ホテルなど）。
種差海岸は、現在の宿泊施設では老朽化が激しく、若者には魅力がない。五階建てくらいのホテル、温泉、室内プール等を望む。		
定期観光バスの運行を希望。		
祭り開催時の観覧席等の設置を希望。		
ゆりの木通りを運行コースにして、東北ねぶた、竿灯、花笠、七夕、八戸三社大祭をPRしてほしい。		
もっと観光に力を入れるべき（祭りは道路の広いところである）。		
観光面のPR強化が必要。		
八戸といえば生鮮食品だが、店で出す生鮮食品の価格は高すぎる。		
観光振興に力を入れてほしい。		
観光地が少ない。		
観光についてPR不足。		
北海道の人は、八戸がイカで有名なことぐらいしか知らない。		
観光客をもっと呼べる街にしてほしい。		
観光できる場所がない。温泉設備のある素敵なホテルなどあればよい。		
八戸は観光するところがない。		
観光は自然に頼るばかりでなく、人の手を使ったものをつくるべき。例えば中華街をつくったりすれば近県からも人を呼べるのではないか。		
レジャースポットが集中していないので不便。		
祭りの開催時、栈敷席をもっと多くして、ゆっくり見物できるようにしてほしい。		
祭りなどもっとPRすべき。		

分野	項目	自由意見
産業・雇用	観光	燕島・種差に観光客向けの店が少なく賑わいが無い。
		館鼻の展望台は税金の無駄遣い。ただのデートスポットになるだけ。
		エンジョイカードの入手方法を、より容易にしてほしい。
		釣りのできる環境を改善してほしい。
		レジャースポットがない。海に近いので、水族館などあってもよいのではないかな。
		山車祭りが観光に活かされていない。現在の山車はパレード用の大きいだけのものだが、従来の伝統ある民俗様式（えんぶり）を持ったものの方がよかった。開催時期も昔のように秋祭りに戻したほうがよい。
		八戸都市圏の顔は八戸駅に移すべきで、山車会館は八戸駅周辺に建ててほしい。
		「山車会館」建設には反対。
		「山車会館」の利用法・設備等がなにも説明されず進行している。
		観光施設の充実が必要。
		全国的な知名度を求めている割にアピールが下手。三社大祭・えんぶりはもちろん、イカにも他地域の人々は関心を持っていない。
		イカのおどり食いのできる店など、八戸の水産物をもっとPRしたほうがよい。
		地元の特産品の種類を増やしてほしい。
		せんべい汁をPRしてほしい。
		もっと積極的に特産物をPRすべき。
		八戸駅前での集客施設の整備と、中心街へのアクセスを改善しなければ、八戸駅は通過駅になってしまうのではないかな。
		青森まで新幹線が通れば八戸駅は通過駅になる恐れがある。駅周辺の整備が必要。
	八戸駅周辺に中心街を建設したほうが、観光客によりイメージが与えられるのではないかな。	
	ユートリー以外の駅ビルなどをつくってほしい。レストラン・テパト等、観光客が利用しやすい施設が足りない。	
	他県に比べ、農水産物の加工品やおみやげ品の種類が少ない。	
	水産物・農産物は他でも生産されているものばかりでインパクトがない。	
	特産品の販売体制の充実を図るため、誰でも気軽に参加できる大衆市場のような場所を開いてみてほしい。	
	特産品などのPRが下手。	
	燕島・種差への道路標示や案内表示が少ない。	
	雇用	Uターン就職を積極的に進めてほしい。一人暮らしの老人を助けることにつながる。
		雇用環境の改善が必要。
		雇用問題の早期解決を希望。
		安定した雇用の創出を希望。
		ほとんどのもの（食品、水道、アパート賃貸料、ガソリン等）が高いのに、賃金は最低。その差を縮めることはできないのか。
		働く場所が少なすぎる。
		中高年の雇用創出を希望。
		正社員に対し臨時職員の割合が多く、労働内容が同じであっても賃金の不均衡など不公平な面が多々ある。結婚や育児もままならない現状である。
		少子高齢化対策として、子育て者を優先的に雇用する仕組みづくりを希望。
大学から帰ってきた子どもが働く場所がない。産業等の育成が必要。		
青森県内でも、モデルとなるような雇用対策に取り組んでほしい。		
パートで働いているが、ハローワークに何度も通い、ようやくたどり着いた。		
労働環境の改善が浸透していない。保育園の休みに合わせれば不採用といわれ、学校の休日に休みたいといえれば不採用となる。特に女性に不利である。		
雇用に関する取り組みが足りない。		
八戸は働く場所が無さすぎる。		
パート・アルバイトを増やすより、賃金が低くても正社員を増やしたほうがよい。		
36歳以上から40歳位の仕事がない。		
働く意志のある人が、きちんと職に就けるように産業等の活性化を希望。		

分野	項目	自由意見
産業・雇用	雇用	人口減少対策の一環として、雇用に重点を置いた施策を希望。
		雇用問題にしっかり取り組んでほしい。
		雇用対策を充実して、消費が増えるようにしてほしい。
		市の雇用率が上がるような施策を増やしてほしい。
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	健康	賃金は低く残業代もつかないのでは、大人も子どもも、心にゆとりを持ってない。
		八戸市民病院の対応（医者）が悪い。
		土・日・祝祭日に診療してもらえる医療機関が必要。
		生保の医療券が医療機関に届くまで時間がかかる。
	地域福祉・介護・高齢者・障害者	医療・福祉の充実した都市を望む。
		定期的に電話連絡するなど、独居老人を市が無料でサポートしてほしい。
		車イス購入に際し、金銭的支援を希望。
		高齢者福祉の充実を望む。
		実際に福祉ボランティア活動をしている人の姿を見たことがない。
		介護タクシーをもっと増やしてほしい。
		介護保険料が高すぎる（特に65歳以上）。
		バリアフリー化の推進が必要。市内で障害者を見かけない。それだけ出かけにくい街なのではないか。
		車イスの方が安心して行動できるよう、道路や公会堂の座席などを改善してほしい。
		車イス使用者のために、歩道を広くしてほしい。
		高齢者福祉の充実を希望。
		馬淵荘の風呂が4月から週3回から2回に減るので何とかしてほしい。
		各種保険料が高く、生活していくのが大変。高齢者が生活しやすい環境を望む。
		八戸は介護保険料が高く、子ども等の医療費の控除額が少ないと聞いている。どの地域でも格差がないようにできないものか。
		高齢者・障害者福祉の成果があまり見えてこない。
		シルバー世代の力を活用してほしい。
	子育て	土・日・祝祭日も子どもを預けられる保育施設が必要。
		少子化対策として、乳幼児の医療費の所得制限をなくしてほしい。
		保育料の軽減など、五戸町のような取り組みを八戸市でも行ってほしい。
		子どもと接したくても近所に子どもがいない。
		現在は子どもに声をかけただけで不審者扱いされる。親を知っている子どもにも声をかけられない。
		長期的な少子化対策に取り組むべき。
		保育園に提出する書類が多すぎる。
社会問題化している幼児虐待（老人虐待）には、迅速に対応してほしい。		
社会保障	生活保護世帯の見直しを早急に望む。	
	生活保護世帯の中には酒場に行ったり病院に自由に行ったりしているものがある。	
	生活保護は、もっとよく調査して支給してほしい。	
環境・エネルギー	環境保全	再処理工場のことが不安。八戸産の食材を食べていいのか、八戸に住み続けていいのか考えてしまう。
		市川の水産加工団地から風向きによって悪臭がする。
		悪臭や河川・海の汚濁など、八戸は環境が悪い。
		まちづくりの際には環境に配慮して計画してほしい。
	資源リサイクル	ゴミ袋の値段が高い。
		ゴミ回収の回数を増やしてほしい。
		ゴミ分別の詳しい方法などを示した、ポスターや冊子を設置してほしい。

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	コミュニティ	町内会の存在理由が感じられない。
		町内会入会者が年々減少しているので、何か対策を講じてほしい。
		町内会に入会する人を増やす対策を講じてほしい。
		八戸は町内活動が盛んであり、その点は良いと思う。
		集合住宅居住者の入会率が低い。何か対策を講じてほしい。
		学童のための安全・安心のパトロールを、老人会が主に行っているが、一方で無関心な母親も多い。指導して意識改革をしてほしい。
		アパート住民の側溝掃除参加や町内会費納入を進めるため、家主を指導してほしい。
		町内会の活動に地域差がありすぎる。
		地域ボランティアの積極的活用を希望。
		アパート住民に非常識な行動（ゴミの不法投棄、町内会への未加入、自家用車の道路はみ出し、転居後の不要品投棄等）がみられる。
	防災	新規の開発より、防災システムの確立など、現況の基盤整備が重要。
		災害に対する具体的な施策を市民に明示すべき。
		水害対策を一日も早くしてほしい。雨が降ると安心して寝ることができない。
		安全・安心な生活を送れるような施策を行うことが第一である。個人的には水害の不安を早急に取り除いてほしい。
	防犯	安全・安心な市民生活の保全に対する短期的な対策に取り組むべき。
		街路灯が暗い。20年来全く改善されていない。
		街灯が少ない地域が多すぎる。
	居住環境	市全体に街並みの統一感がない。テーマ（コンセプト）が弱いのではないかな。
		ゴミ箱・灰皿の設置を増やしてほしい。
		金吹沢公園の周辺（大久保地区）を住宅街にしてほしい。
		調整区域に土地を持ちながら、新築できず、他都市に移住する家族が多い。
		市街化調整区域内でも、電気や水道が近くに通っている所だけは、住宅が建てられるように規制を緩和してほしい。
		団地の活発化が必要。
		下水道の早急な整備を望む。
		公共下水道が無い場所で便槽を水洗化する際は、浄化槽を設置することになるが、その場合通常使っている排水溝に流せないのか。必ず浸透槽を設置し、流す必要があると聞いた。それが本当であれば、浄化槽でクリーンにしているのに何故か。
		整備された公園が少ない。
		新井田川の土手をウォーキングしている方々が大勢いる。新井田側には何箇所かトイレがあるが、諏訪・類家側には一箇所もないので、せめて塩入橋から地域防災センターの間に一箇所でもトイレと水のみ場を設置してほしい。
		いやしの場が必要。
		ペット（犬等）が出入りできる小公園をつくってほしい。
	運動公園があるのに、文化公園がない。	
	交通環境	路上駐車で生じる渋滞が中心街活性化の妨げになっている。車両規制などを行い、環境に配慮していることを全面に押し出したまちづくりを希望。
		夜の街にタクシーが多すぎる。
		元のギガ前でバス待ちしている人が邪魔で歩きにくい。
中心部の路上駐車が多すぎて、車が走りにくい。		
自転車通行を歩道に限定するよう、法案が改正されるようだが、児童・高齢者等が危険にさらされる可能性が高くなる。このような法案は街ぐるみで反対してほしい。		
市街地の一方通行が多く、非常に不便。		
春日町の渋滞がひどい。		
路上駐車や割り込みなど中心街でのタクシーのマナーが悪い。改善策として某宅急便業者のように、運転者の名前を車両の前後に貼り出すよう義務付けたらどうか。		
歩行者・ドライバーの交通マナーが悪い。		
道路工事休止中に工事車両やその他機材を道路上に放置するのは指導すべき。		

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	交通環境	車イス専用駐車場に一般車と思われる車ばかりが駐車している。駐車場を増やすと同時に市民のマナーについて何か対策を講じるべき。
		公共交通機関の利便性向上を希望。例えばマイクロバスなどの路線を増やし、行きたい場所へ自由に行けるようにしてほしい。まず中心街へ容易に行けるようにし、中心街から、新井田のスケート場、季節によっては蕪島や種差、名川のさくらんぼ狩りなどに行けるようになるとよい。現在の八食行きバスはとてもよいと思う。
		中心街の除雪をきちんとしてほしい。
		自転車に乗る文化と環境が整備されていない。
		地下街を充実してほしい。駐車場が地下にあれば雪の心配もいらず、悪天候時や道路が凍結しているときに、高齢者でも安心して通行できる。
		市内の駐車場がいたるところで舗装されていない。付近に砂利がちらばり、道路を汚している。そういった駐車場には車庫証明を与えないなどの処置をしてほしい。
		歩道と車道の段差を解消してほしい。
		八戸駅前の交差点は駅利用者の駐車待ちのため混雑しており、直進車を妨げるなどしてとても不便。無料の立体駐車場の建設等を検討してほしい。
		多賀小学校の通学路は歩道が狭く、雪が積もると子どもたちは車道を歩いて通学しているなど、危険にさらされている。
		冬期に歩道の除雪ができないため、道路が狭く危険。
		中央分離帯に日陰のできる木は植えないでほしい。冬期に日陰部分がアイスバーン化し、また視界を妨げ危険である。
		冬期に頻発する道路工事は、運転する人間にとって迷惑。
		歩道が車道に向け傾斜している場所があり、冬場は危険を感じる。
		歩道の敷きタイルは冬場になると凍結するため、行政で指導してほしい。
		道路の水はけが悪く、水たまりが多すぎる。もっと舗装することが必要。
		歩道・車道ともに整備が不十分である。歩道の整備がされていないため、自転車が車道を走る状況。歩道も狭く、歩いていても車に乗っていても怖く感じる。
		歩道の段差がひどい。何も進歩していない。
		本八坂を舗装してほしい。
		小田神社から八食センターまでの道路に歩道をつくってほしい。
		下水道工事後の道路がでこぼこで、補修が不十分。
		通学路に歩道がない場所が多い。
		中心街の歩道は広いが、高齢者や障害者には歩きづらい。雪の日は滑りやすく危険。
		長根公園の周辺は国体等が開催されている地区でありながら、歩道はデコボコで、狭い歩道の真中に電柱があり、何も改善されていない。
		バス事業をこれからも公共事業として維持していけるよう一層の努力を望む。
		市営バスのマイクロ化を希望。
		バスを無料にしても、市営バス路線外は有料であり、矛盾している。
		バスターミナルがない。
		市営バスの赤字解消を望む。
		根城方面に行くのに、バスのルートが目で見えるよう、バス停に図表示がほしい。
		街へ出かけたくてもバス便がなく困っている。
		民間のバスは市営バスに比べて汚いので、元に戻してほしい。
		市川方面からはバス利用がとても不便。
		バスはバス停以外でも利用できればよい。
郊外から中心街にくる巡回バスを希望。		
バス路線が変わり不便になった。		
オレンジと黄緑のバスを小型にし、デザインも変え、目立つ色にして、乗ってみたいと思わせるようなものにできないか。		
ラピアやピアドゥに行くためのバスは鮫発の運行もしてほしい。		
障害者・高齢者にとって現在のバスは不便。		
高齢になり車が運転できなくなったとき、買い物や通院などどうすればよいのか、とても不安。車以外の交通手段の充実を希望（南浜地区）。		



分野	項目	自由意見		
コミュニティ・ 防災・防犯・ 居住環境・交通	交通環境	<p>八戸市バスホームページの路線経路図が分かりづらい。</p> <p>バス停が分かりづらい。</p> <p>八戸駅前もだいぶ拓けてきたが、車がない人には不便。</p> <p>道路上の行き先表示板が少なく、道に迷いやすい。</p> <p>沼館のヨーカドー周辺の道路整備を望む。</p> <p>古い市道等の整備を確実に実施してほしい。</p> <p>大久保地区（上大久保～平庭団地）の車道を拡幅すれば事故が減るのではないかと。</p> <p>道路が狭い。</p> <p>45号にかわるバイパスや労災病院から岬台へのバイパスの増設を希望。</p> <p>道路をもっとよくしてほしい。</p> <p>橋が少なく、いつも混んでいると思う。そのわりに必要ない場所に広い道路があったりするので、もう少し考えて計画してほしい。</p>		
		行財政運営・ 地域経営		<p>市で利益が出る事業を行い、市民にその利益を還元（保険関係等）してほしい。</p> <p>階上町と三戸郡全部が八戸と一つになり、30万都市になってほしい。</p> <p>市議会議員が多すぎる。</p> <p>市の赤字は、役所・病院・バス等、もっと節約できることがあるはず。</p> <p>八戸市職員の給与が高すぎる。</p> <p>市長自らが給料を減らすなどしてほしい。</p> <p>市内の民間企業に比べ、市職員の給料が高すぎる。</p> <p>職員の給与は市民の給与の平均額を支給すべき。</p> <p>夕張市の二の舞にならないよう、慎重な市政を望む。</p> <p>必要なものと、そうでないもの見極め、真に意義のあるまちづくりを望む。</p> <p>個々の施策に魂を込め、実現性のある確かなビジョンを持った市政を望む。</p> <p>市政の経費削減を望む。</p> <p>八戸の税収は正しく使われているのか疑問。</p> <p>現市長が当選してから顔が見えてこない。</p> <p>職員数を抑え、職業訓練に費用を回したほうがよい。</p> <p>あらゆる課でムダに机にいる職員がいるように感じる。</p> <p>市職員があまりにも多いのではないかと。</p> <p>公務員（特に市役所）の人員削減が必要。</p> <p>市職員の対応が悪い。服装など初歩的な部分から改善が必要。</p> <p>市職員の対応にムラがあり、親切な人とそうでない人がいる。</p> <p>市役所職員の対応が悪すぎる。もっと教育すべき。</p> <p>職員に対応の良い人、悪い人の差がありすぎる。</p> <p>窓口での職員は、待っている人のことを考えるべき。</p> <p>市職員の電話での声が小さすぎてよく聞き取れない。</p> <p>届けた書類で、日にちが違うということで、どなりつけられたことがあった。</p> <p>窓口職員の説明が不十分で、態度も横柄に感じることもある。</p> <p>引っ越してきた頃、窓口の方に詳しく教えてもらい、感謝している。</p> <p>市役所窓口の対応は、もっと迅速に処理してほしい。</p> <p>市役所は祝祭日に関係なく業務を行ってほしい。</p> <p>本庁職員は支所職員同様、自分の担当窓口以外であっても来庁者に接してほしい。</p> <p>市職員は市民のために勤務しているということを再度認識してほしい。</p> <p>市民税が高く、何にどう使われているのかよく分からない。</p> <p>市民税をはじめ税金が高い。</p> <p>住民票取得時に、費用がかかるのはおかしい。</p> <p>成果が見込めるのであればよいが、コストがかかりすぎるものは注意してほしい。</p> <p>財政破綻などないよう、本当に必要なものを十分見極めてまちづくりをしてほしい。</p> <p>税収がないから大変ではなく、特区制度などを活用して収入をあげていくべき。</p> <p>優先順位を明確にして、しっかりとしたビジョンをもったまちづくりを望む。</p>

分野	項目	自由意見
行財政運営 ・地域経営		無駄遣いして市民の負担を増やすぐらいなら何もしない方がよい。
		市民が利用する場所（旧館、市民課等）には冷暖房を整備すべき。
		消防の過払いはきちんと返還させるべき。
		事業費の拡大を図るべき。
住民参加 ・協働		各種講座がボランティアで行われればよい。
		官民が円滑に連携できる環境づくりが必要。
		市民の声を真摯に受け止め、市政に反映してほしい。
		もっと市民の意見を取り入れてほしい。
		市民ともども一丸となって取り組むべき。
		広報八戸に自由欄を設け、市のPRや町内のPRに活用してほしい。
		情報源は町内会や広報八戸で十分。
		住民間でディスカッションできる場の創出が必要。
		市政についての分かりやすい説明を希望。
		現在は自らが積極的に情報を収集しなければ何も知ることができないので、市が現在行っている活動や取り組みについて、情報を得る機会や手段が増えることを希望。
		市役所・商工会議所その他の将来像が見えない。会議の途中経過が説明されないため、結果が理解できない。
		市長の新年の話など、もう少し分かりやすく市民に説明してほしい。
		アパート住まいでも広報を配布していただけるシステムづくりを望む。
		行政からの通達やお知らせには、受け取る側に高齢者がいることを考慮し、明瞭な文章や大きな活字を用いるなどの工夫が望まれる。
		種々の市民活動など、日にちが過ぎてから通知があったりする。
		経費削減など行政改革の結果をもっと市民に知らせるべき。
市民ばかりをあてにするのではなく、まず市が自分達で考えてまちづくりしてほしい。ボランティアも市民に頼らず、まず自らが率先してやるべき。		
まちづくり全般		山車会館や南郷文化ホールの前に、日常生活を送る上で最低限の環境を整備すべき。
		福祉や道路の環境整備などを強化してほしい。
		公園・体育館・美術館等の公共施設が貧弱に感じるので、充実を図ってほしい。
		図書館や税務署等が市内に点在しているので、もっと利用しやすくまとめてほしい。
		公共施設があちこちに点在していてまとまりがない。公会堂、公民館、博物館、美術館、図書館、児童科館といった文化施設はまとまっているほうが利用に便利。それらが醸し出す文化的な雰囲気が市民（特に若者）の文化的資質の向上に役立つ。
		ゆったりと文化やスポーツを楽しむことができる個性的で大規模な施設がほしい（美術館、図書館、公園、スケートリンク等）。
		公的なジムやホールをもっとつくってほしい。
		第5次総合計画の明確なビジョンを提示してほしい。
		八戸には県立と名のついた施設が一つも無く、残念に思う。
		住みやすい街を理想とした結果、住民の苦情が必要以上になっているのではないか。
		学術研究機関が地域経済に寄与していることを公表することが必要（広報など）。
		市職員、議員のがんばりが見えない。観光・仕事・産業すべてに失望している。
		白山台、類家、田向地区など急速な都市化が進んでいるが、ハード面だけではなくソフト面（福祉、環境、教育等）の整備にも本気で取り組むべき。
		八戸の集客力を高めるには、中央の資本を取り入れ、力強く前進していくことが必要。コンパクト化の推進は後退になる。
		まちづくりは生活環境への配慮を最優先にしてほしい。行政は、地域振興・産業振興に力を入れているが、周辺環境と調和した振興を考えてほしい。
		10年、20年後を見据えたまちづくりを希望。
		各世代にあった、安心してくつろげるような場所が必要。
		税金の無駄使いをしようように、弱者に優しいまちづくりを望む。
		市はまちづくりに対してもう少し真剣に考えてほしい。

分野	項目	自由意見
その他		こういったアンケート調査が無駄な出費にならないようお願いしたい。
		アンケートの結果を公表してほしい。
		天然記念物（ウミネコ、カモシカ等）の死がいや、保護したときの処置が関係機関に明確に示されていない。
		目で見える所より見ない所を注意すべき。
		協同組合・協同購入を促進すべき。
		都市ガス料金が安い。
		L P ガス料金が安い。
		水道代が高い。
		水道企業団の「おらほの水」はいらない。
		水道料金が安い。
		上下水道料金が異常に安い。
	職業安定所職員のモラルアップ（やる気が感じられない）が必要。	



# 第5次八戸市総合計画 市民アンケート 調査ご協力のお願い

皆さまには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。

近年、本格的な地方分権の時代の到来や、社会経済情勢の急速な変化など、市政運営を取り巻く状況は大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、当市は本年度、第5次八戸市総合計画（平成19～28年度）を策定しました。総合計画は、市政の最も基本となる計画で、10年間のまちづくりのビジョンを示す基本構想と、前期・後期それぞれ5年間ごとに重点的に取り組む施策や事業を示す推進計画で構成されています。

今回、前期推進計画の5年間で重点的に取り組む施策や事業について、現在と比較して5年後にどの程度成果が現れているかを把握し、総合計画の進行管理に役立てるため、市民アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨ご理解の上、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、今回は、当市にお住まいの18歳以上の方から無作為で1,000人を選ばせていただいております。

また、ご回答の内容は、調査目的以外に使用することはない、統計的に処理し、個々の内容が公表されることは一切ありません。

平成19年1月 八戸市長 小林 眞

## ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人がお答えください（ご本人が記入困難な場合はご本人のご意見をお聞きしたうえで、ご家族の方などが記入くださっても結構です）。
- 質問ごとに、回答欄にあてはまる番号をご記入ください。なお、特に指定のある項目については、それに従ってお答えください。
- このアンケート調査は、1月26日（金）までに同封の返信用封筒で返送（切手不要）してください。
- 調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八戸市総合政策部政策推進課（磯嶋・相模）

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

（電話）43-2111（内線 662） （FAX）47-1485

E-mail:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp

当市では、多様な雇用機会を提供できる産業の振興を目指して、企業誘致の推進や地元中小企業の強化に取り組んでいます。

問1 あなたは企業の求人の動向など、当市の雇用を取り巻く状況についてどのようにお考えですか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. 厳しい状況にある            | 2. 以前と比べて改善しつつある |
| 3. 安定している（問題があるとは思わない） | 4. わからない         |

当市では、農業振興の一環として、農産物の地産地消<sup>\*</sup>の普及に取り組んでいます。

(※) 地産地消：地域で生産された食材を地域で消費すること。

問2 あなたは八戸地域で生産された農産物についてどのようにお考えですか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んで○を付けてください

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 新鮮である | 2. 安全である | 3. 価格が安い | 4. 価格が高い |
| 5. わからない | 6. その他（  |          | ）        |

問3 あなたは、農産物を購入する際に八戸地域の産品をどの程度購入していますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. よく購入する              | → 問3-1にお答えください |
| 2. ときどき購入する            |                |
| 3. 八戸地域の産品かどうかは意識していない |                |

問3-1 問3で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。実際に八戸地域の産品を購入してみて『よかった』と感じますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. よかったと感じることが多い | 2. よかったと感じることが少ない |
|------------------|-------------------|

当市では、基幹産業として地域経済を支えてきた水産業の活力の維持・回復に取り組んでいます。

問4 あなたは八戸産の水産物についてどのようにお考えですか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んで○を付けてください

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 新鮮である | 2. 安全である | 3. 価格が安い | 4. 価格が高い |
| 5. わからない | 6. その他（  |          | ）        |

問5 あなたは、八戸産の水産物がブランド商品※になっていると思いますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

※ブランド商品：全国的に八戸のイメージを高めるような、地域特性を活かした商品のこと。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 全国的に通用しているブランド商品がある | 2. 徐々に知名度が上がってきていると思う |
| 3. ブランド力があるとは思わない      | 4. わからない              |

当市では、市民参画による観光振興の一環として、観光ボランティアの育成に取り組んでいます。

問6 あなたは、観光客の「おもてなし案内人」としての観光ボランティアガイドに参加した経験がありますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 参加した経験がある | 2. 参加した経験はない |
|--------------|--------------|
- ↓ 問6-1にお答えください

問6-1 問6で「2」を選んだ方にお聞きします。あなたは、観光ボランティアガイドに参加してみたいと思いますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 参加してみたい     | 2. 常時は難しいが、たまに参加してみてもよい |
| 3. 参加したいとは思わない | 4. わからない                |

当市では、地域の経済を支える新たな産業※の発展を目指して、産学官民（企業・大学・行政・市民）の連携促進に取り組んでいます。

（※）新たな産業：例えば、エネルギー・リサイクルなどの環境に関連する産業などのこと。

問7 あなたは、当市の大学などの学術研究機関（八戸工業大学、八戸大学、八戸工業高等専門学校）が地域経済の振興や地域振興などのまちづくりに参画していることを知っていますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 1. よく知っている | 2. 内容はよくわからないが聞いたことはある |
| 3. 知らなかった  |                        |

当市では、八戸都市圏の「顔」としての役割を果たしてきた中心街が、にぎわいのあふれる空間となるよう、その再生に取り組んでいます。



問8 あなたは現在の中心街に魅力があると感じていますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 魅力があると感じている
2. どちらかと言えば魅力があると感じている
3. どちらかと言えば魅力がないと感じている
4. 魅力がないと感じている

問9 あなたが中心街へ出かけていく頻度はどれくらいですか。  
出かける目的の別に、下の表の中からあてはまる番号を一つずつ選んで○を付けてください。

	1～5の一つに○				
	ほぼ毎日	週に1～2 回程度	月に1～2 回程度	年に数回 程度	ほとんど 行かない
買い物	1	2	3	4	5
レジャー（娯楽・遊び）	1	2	3	4	5
通院	1	2	3	4	5
仕事	1	2	3	4	5
通学	1	2	3	4	5
その他 (具体的に )	1	2	3	4	5



当市では、多様で特色ある市民の自主的な文化活動や、健康で豊かな心身を育むスポーツ活動の促進に取り組んでいます。

問 10 この1年間の文化活動、スポーツ活動についてお聞きします。あなたは、日頃から文化活動やスポーツ活動にどの程度取り組んでいますか。  
文化活動やスポーツ活動のそれぞれについて、下の表の中からあてはまる番号を一つずつ選んで○を付けてください。

	1～5の一つに○				
	ほぼ毎日	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	ほとんど取り組んでいない
文化活動 例) 文芸・音楽・歌唱・美術・写真・演劇・舞踊・伝統芸能・茶道・華道・書道など、自ら行う創作発表活動	1	2	3	4	5
スポーツ活動 例) スポーツチームへの参加、ゴルフ、テニス、スポーツクラブ、自主トレーニングなど	1	2	3	4	5

当市では、市民一人ひとりの環境意識の高揚に取り組んでいます。

問 11 あなたは、日常生活の中で環境保全のための行動\*を実践していますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

※環境の保全のための行動の例

- 電気・ガス・水道等の節約      ○徒歩、自転車、鉄道、バスの利用      ○再生品やエコマーク商品の購入  
○買物時における買物袋の持参      ○ごみの分別      ○緑化活動      ○自然保護活動 など

1. 積極的に意識して実践している      2. 少しは意識して実践している  
3. あまり実践していない      4. 全く実践していない

当市では、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ社会を形成するための一環として、地域における世代間交流の推進に取り組んでいます。

問 12 あなたは、近所の子どもと話をしたり、子どもに声をかけたりすることがありますか。  
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. よくある      2. たまにある      3. あまりない      4. 全くない

問 13 あなたがお住まいの地域では、子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動がありますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

※子どもたちと大人世代・高齢者世代が一緒になって行う活動の例

スポーツ活動      ボランティア活動      文化活動      イベント・行事 など

1. よくある
2. たまにある
3. あまりない
4. 全くない
5. わからない

**当市では、高齢者・障害者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる環境の整備に取り組んでいます。**

問 14 あなたがお住まいの地域では、福祉ボランティア活動※が活発に行われていると感じていますか。下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

※福祉ボランティア活動の例

障害者やひとり暮らしの高齢者の話し相手、日常生活のお手伝い、外出の介助 など

1. 活発であると思う
2. どちらかといえば活発であると思う
3. どちらかといえば活発ではないと思う
4. 活発ではないと思う
5. わからない

問 15 あなたがお住まいの地域では、障害者やひとり暮らしの高齢者が、災害時などの緊急時に地域の中で支援を受けられるようになってきていると思いますか（例 救出活動、安否確認など）。下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. なっていると思う
2. なっていると思わない
3. わからない

**当市では、それぞれの地域コミュニティにおいて、健康な生活や暮らしの安全を確保するための体制づくりに取り組んでいます。**

問 16 あなたがお住まいの地域では、健康講座や運動指導をはじめとした健康づくり活動が活発に行われていると感じていますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 活発であると思う
2. どちらかといえば活発であると思う
3. どちらかといえば活発ではないと思う
4. 活発ではないと思う
5. わからない

問 17 あなたがお住まいの地域では、日ごろから安全・安心活動（防災訓練、防犯パトロールなど）が活発に行われていると感じていますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 活発であると思う          | 2. どちらかといえば活発であると思う |
| 3. どちらかといえば活発ではないと思う | 4. 活発ではないと思う        |
| 5. わからない             |                     |

当市では、市民と行政による協働の仕組み<sup>※</sup>の構築に向け、新しい公共を支える協働のパートナーである地域コミュニティの振興や市民活動の促進に取り組んでいます。

（※）市民と行政による協働の仕組みとは、市民、事業者および行政のそれぞれが、適切な役割分担のもとに、お互い協力して住みよいまちづくりを実践する仕組みのことです。

当市では、平成 17 年 4 月 1 日に、八戸市協働のまちづくり基本条例が施行され、まちづくりのさまざまな分野において、NPOやボランティア活動、地域コミュニティの活動が盛んになってきています。

問 18 あなたがお住まいの地域では、町内会や自治会などの地域活動が活発だと思いますか。また、当市では市民活動（NPOやボランティアなど）が活発だと思いますか。

地域活動および市民活動のそれぞれについて、下の表の中からあてはまる番号を一つずつ選んで○を付けてください。

	1～5の一つに○				
	活発だと思 う	どちらかと言 えば活発だと 思う	どちらかと言 えば活発だと 思わない	活発だと思わ ない	わからない
地域活動(町内会・自治会など)	1	2	3	4	5
市民活動(NPOやボランティアなど)	1	2	3	4	5

当市では、平成 18 年 2 月に第 4 次行財政改革大綱を策定し、市民福祉の向上や効率的な行政運営のための各種改革に取り組んでいます。

問 19 あなたは、市の行財政運営に関して、積極的に情報が公開・提供されていると感じますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかと言えばそう思う |
| 3. どちらかと言えばそう思わない | 4. そう思わない       |
| 5. わからない          |                 |



**<自由記入欄>**

この調査でお聞きしたことのほか、今後の八戸市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の自由記入欄にご自由にご記入ください。

アンケートにご協力くださりまして、誠にありがとうございました。

第5次八戸市総合計画

# 有識者アンケート調査

報 告 書

平成21年6月



# — 目 次 —

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査対象	1
(4) 調査方法	1
(5) 調査期間	1
(6) 回収状況	1
2. アンケート結果	2
(1) 住民自治の推進・自治体経営の強化	2
(2) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	4
(3) 産業・雇用	6
(4) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障	8
(5) 環境・リサイクル・エネルギー	10
(6) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	12
3. 自由意見	14
参考. アンケート票	23





# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

この調査は、前期推進計画の5年間で総合的に取り組む施策や事業について、これまでの取り組みによる成果がどの程度現れているかを把握し、総合計画の進行管理に役立てることを目的として実施しました。

## (2) 調査項目

推進計画に記載した自治基盤整備計画及び行政分野別の目指す姿を基本に、5段階（十分満たされている、まあまあ満たされている、あまり満たされていない、ほとんど満たされていない、わからない）で現在の状況を評価していただきました。

## (3) 調査対象

この調査は、第5次八戸市総合計画の策定に携わった、八戸市総合計画審議会委員、同専門部会委員、及び戦略プロジェクト委員会委員の計144名に、市政モニター94名を加えた有識者238名を対象としました。

## (4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。

## (5) 調査期間

平成21年4月15日に発送し、5月11日を投函締め切りとしました。

## (6) 回収状況

配布数238票に対して、有効回収数は151票、有効回収率は63.4%でした。

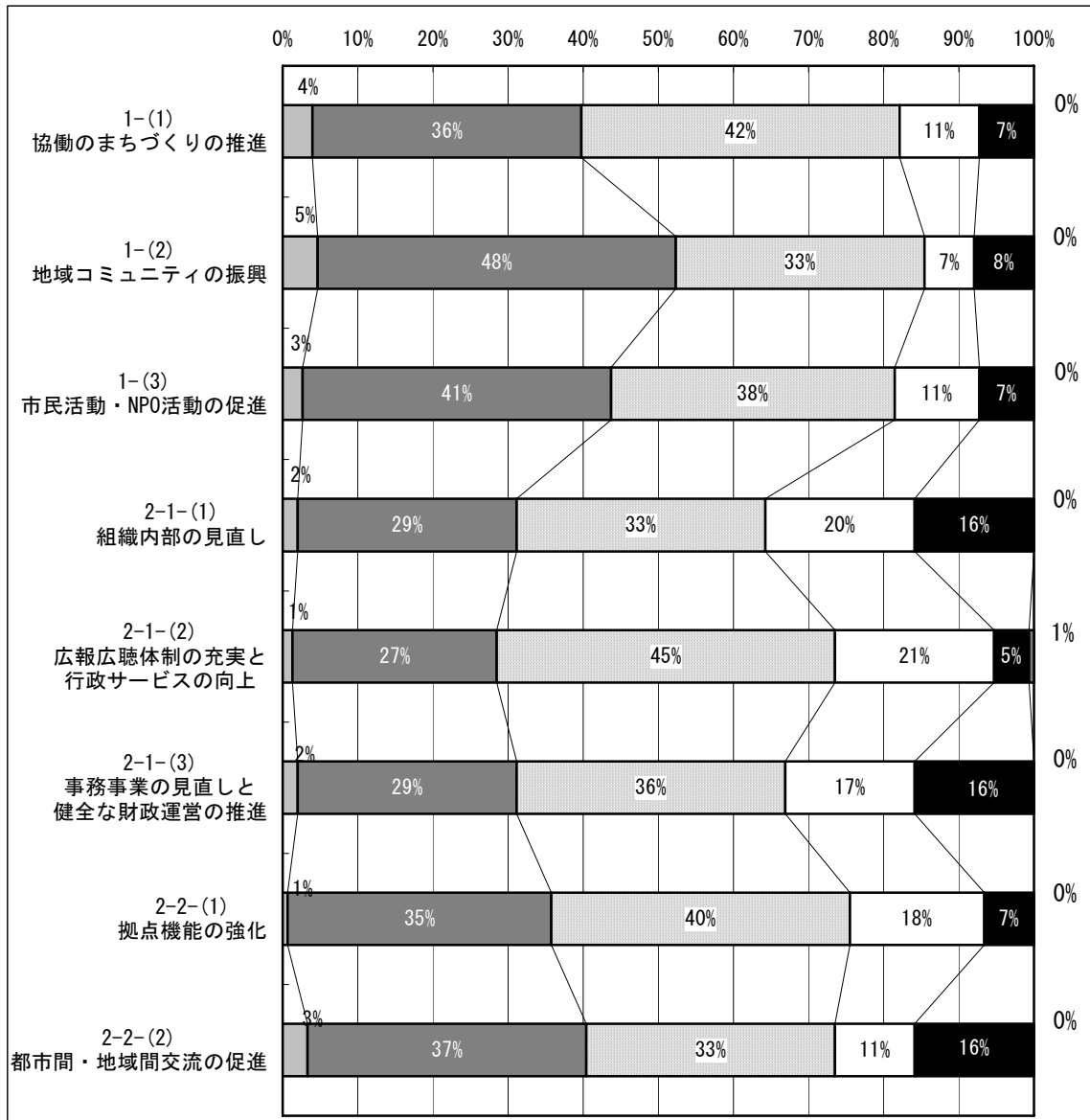
## 2. アンケート結果

### (1) 住民自治の推進・自治体経営の強化

#### 1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「地域コミュニティの振興」で53%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「市民活動・NPO活動の促進」、「協働のまちづくりの推進」、「都市間・地域間交流の促進」となっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での現状評価



十分満たされている       まあまあ満たされている  
 あまり満たされていない       ほとんど満たされていない  
 わからない       無回答

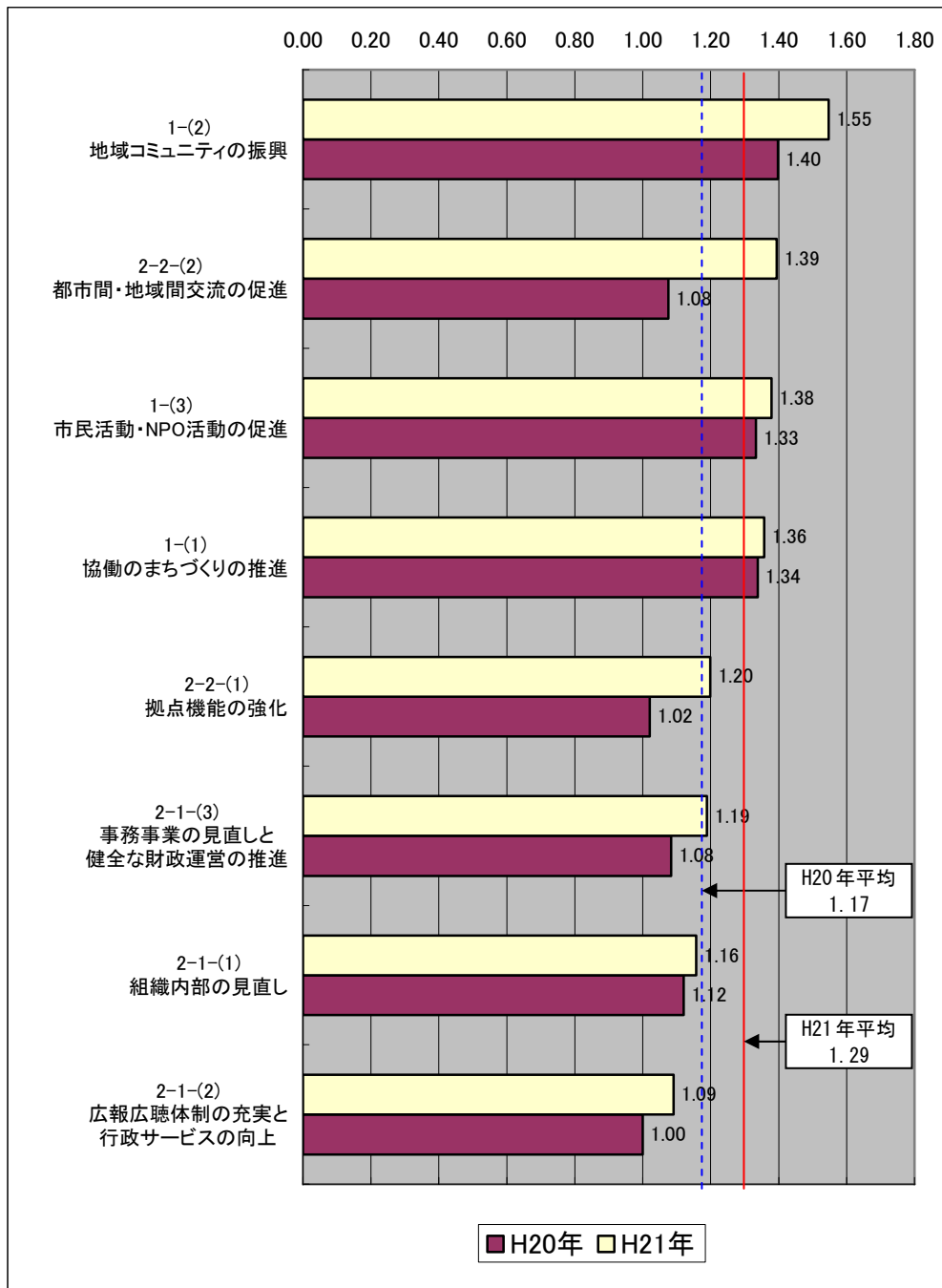
## 2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「満たされていない」を0点とし、当該回答者数（「わからない」を除く）で割った値を満足度得点としました。

住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点の平均値は1.29点であり、前回は0.12点上回りました。また、全8項目で前回は上回っています。

「地域コミュニティの振興」や「都市間・地域間交流の促進」、「市民活動・NPO活動の促進」、「協働のまちづくりの推進」など住民自治の推進に関する分野が平均を上回っています。一方、自治体経営の強化に関する分野が平均値以下になっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点

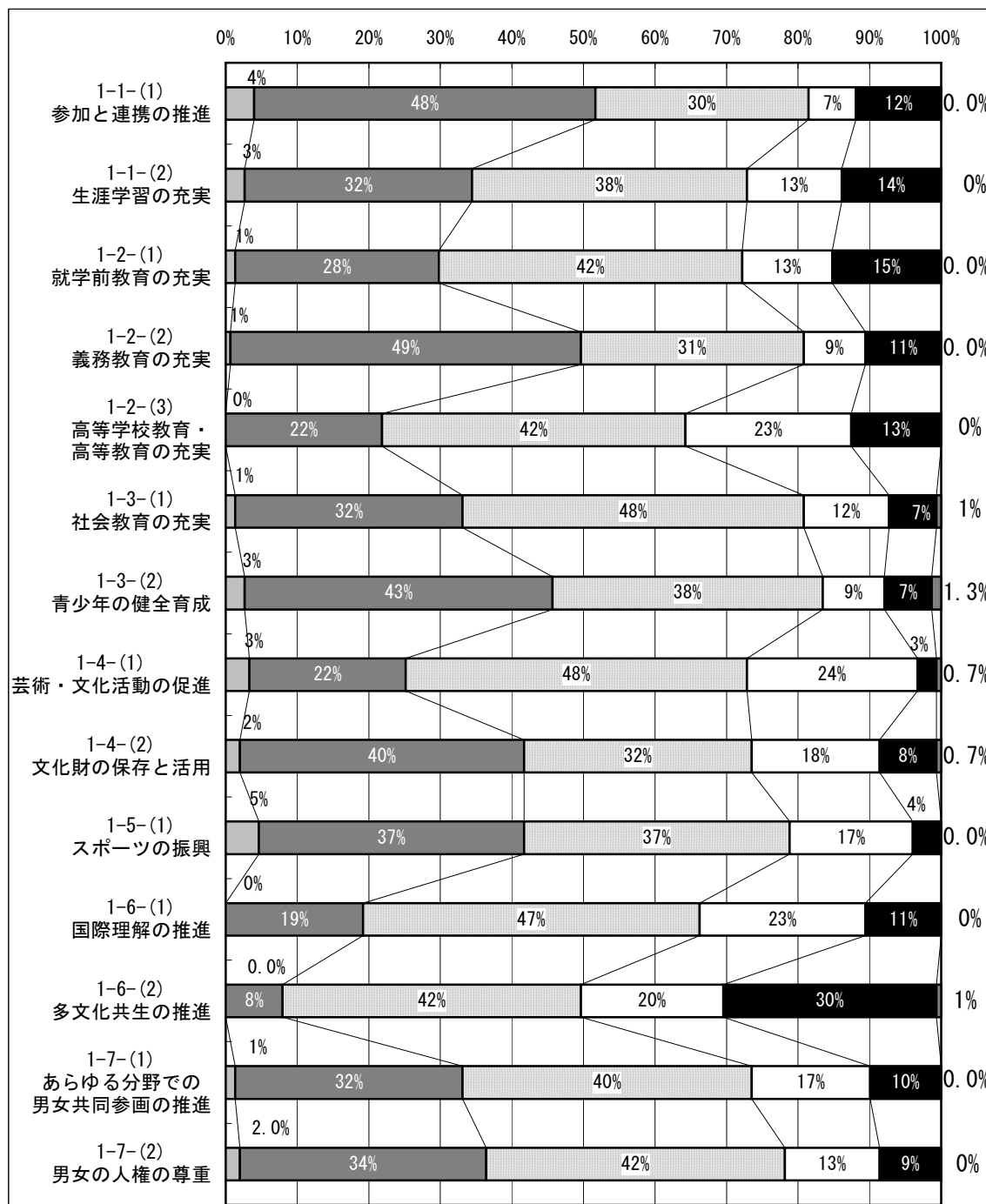


(1) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「参加と連携の推進」で52%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「義務教育の推進」と「青少年の健全育成」、「文化財の保存と活用」、「スポーツの振興」となっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での現状評価



十分満たされている       まあまあ満たされている  
 あまり満たされていない       ほとんど満たされていない  
 わからない       無回答

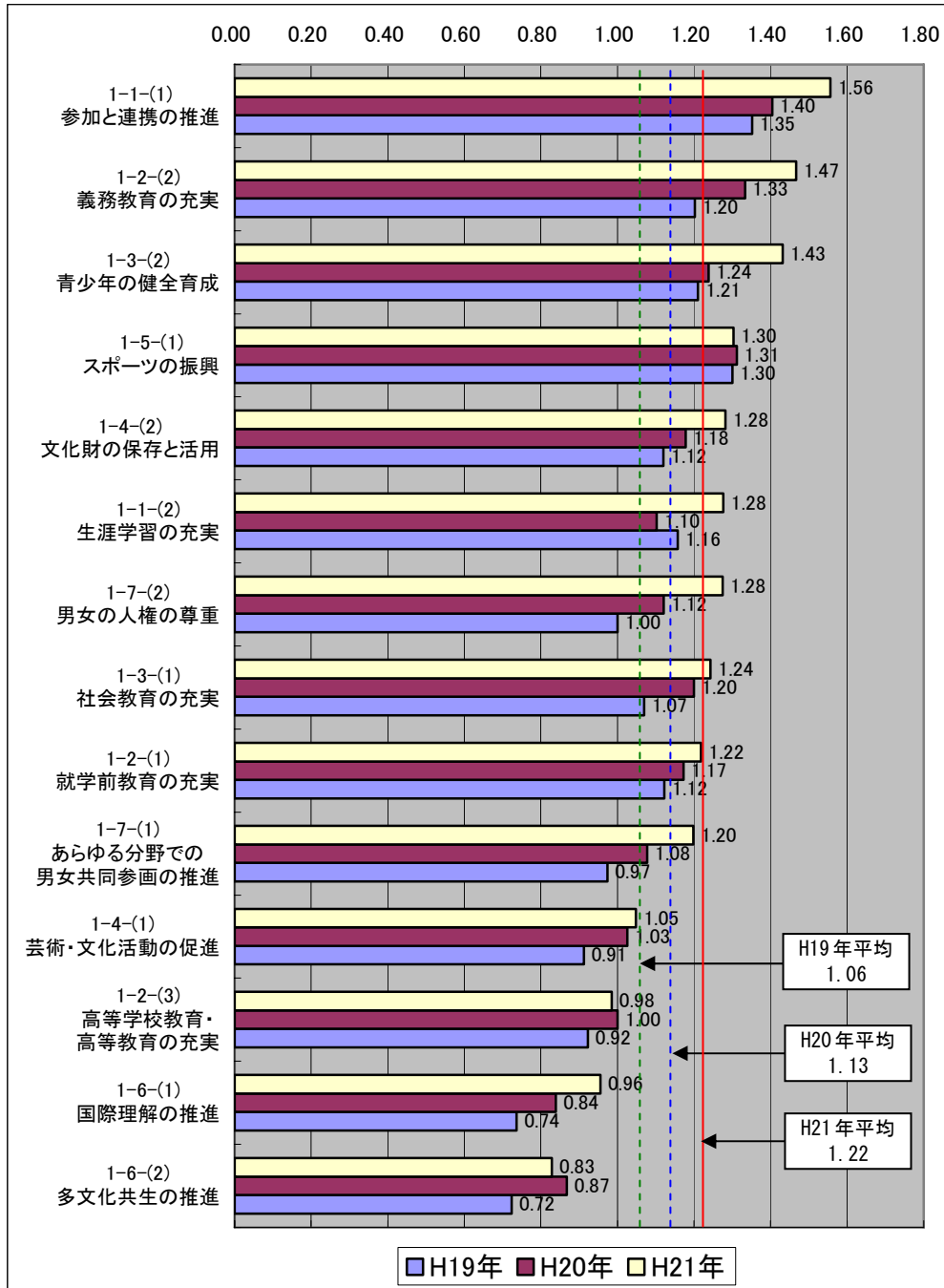
## 2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「満たされていない」を0点とし、当該回答者数（「わからない」を除く）で割った値を満足度得点としました。

教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画の分野での満足度得点の平均値は1.22点であり、前回は0.09点上回りました。また、全14項目中、11項目で前回は上回っています。

「参加と連携の推進」や「義務教育の充実」、「青少年の健全育成」など、教育・学習に関する分野が平均を上回っています。一方、多文化の共生や国際化に関する分野が平均値以下になっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での満足度得点

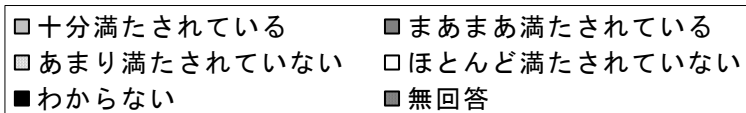
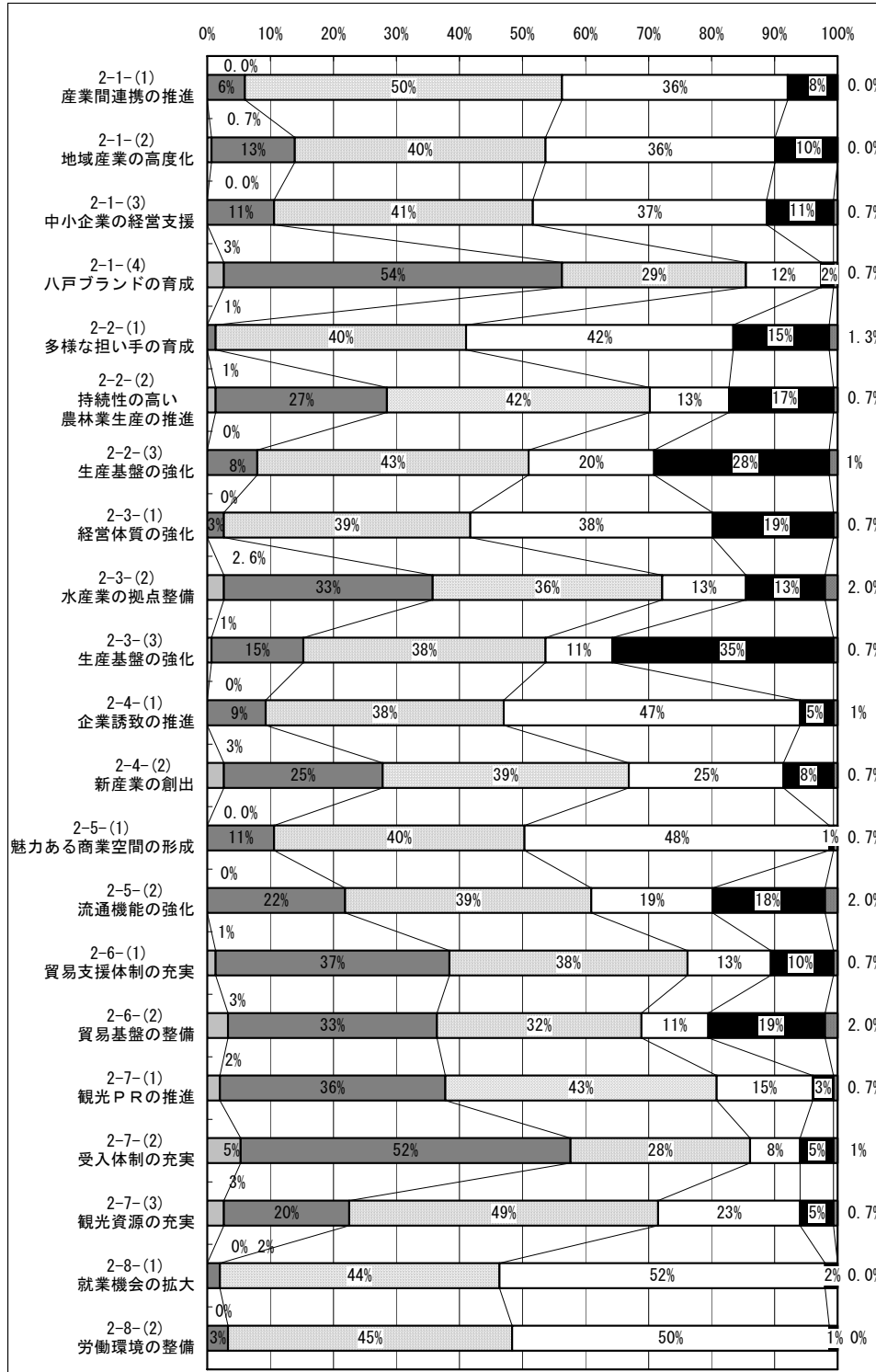


## (2) 産業・雇用

### 1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「八戸ブランドの育成」と「受入体制の充実」で57%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「貿易支援体制の整備」、「観光PRの推進」、「水産業の拠点整備」、「貿易基盤の整備」となっています。

図 産業・雇用分野での現状評価



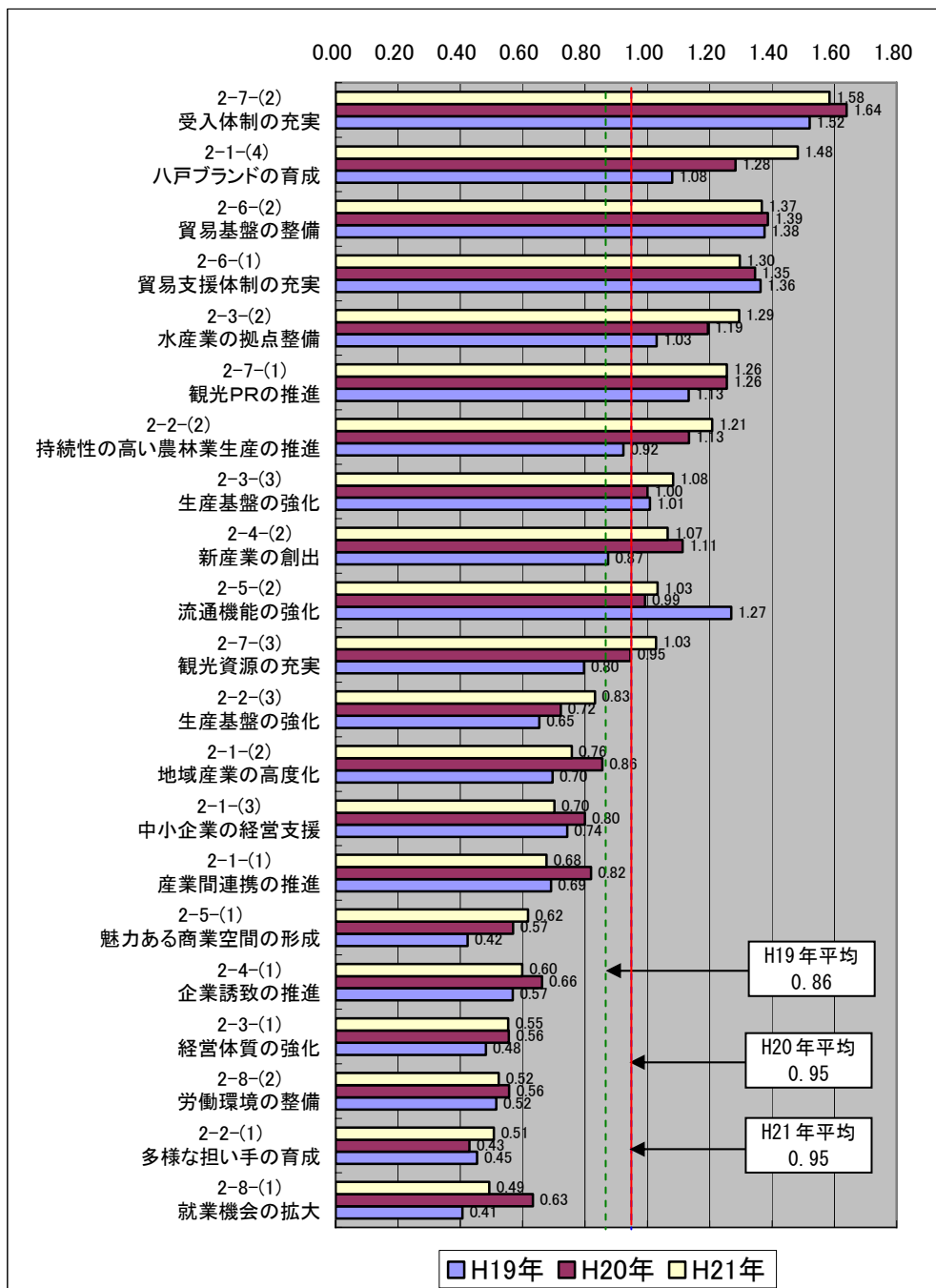
## 2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「満たされていない」を0点とし、当該回答者数（「わからない」を除く）で割った値を満足度得点としました。

産業・雇用分野での満足度得点の平均値は0.95点であり、前回と同様でした。また、全21項目中、9項目で前回は上回りました。

「受入体制の充実」や「八戸ブランドの育成」、「貿易基盤の整備」など、近年の新たな取組みが平均を上回っています。一方、雇用環境や企業立地など市民生活との結びつきが強い分野や、農林漁業の担い手確保、中心街の活性化など従来から課題となっている分野が平均値以下になっています。

図 産業・雇用分野での満足度得点



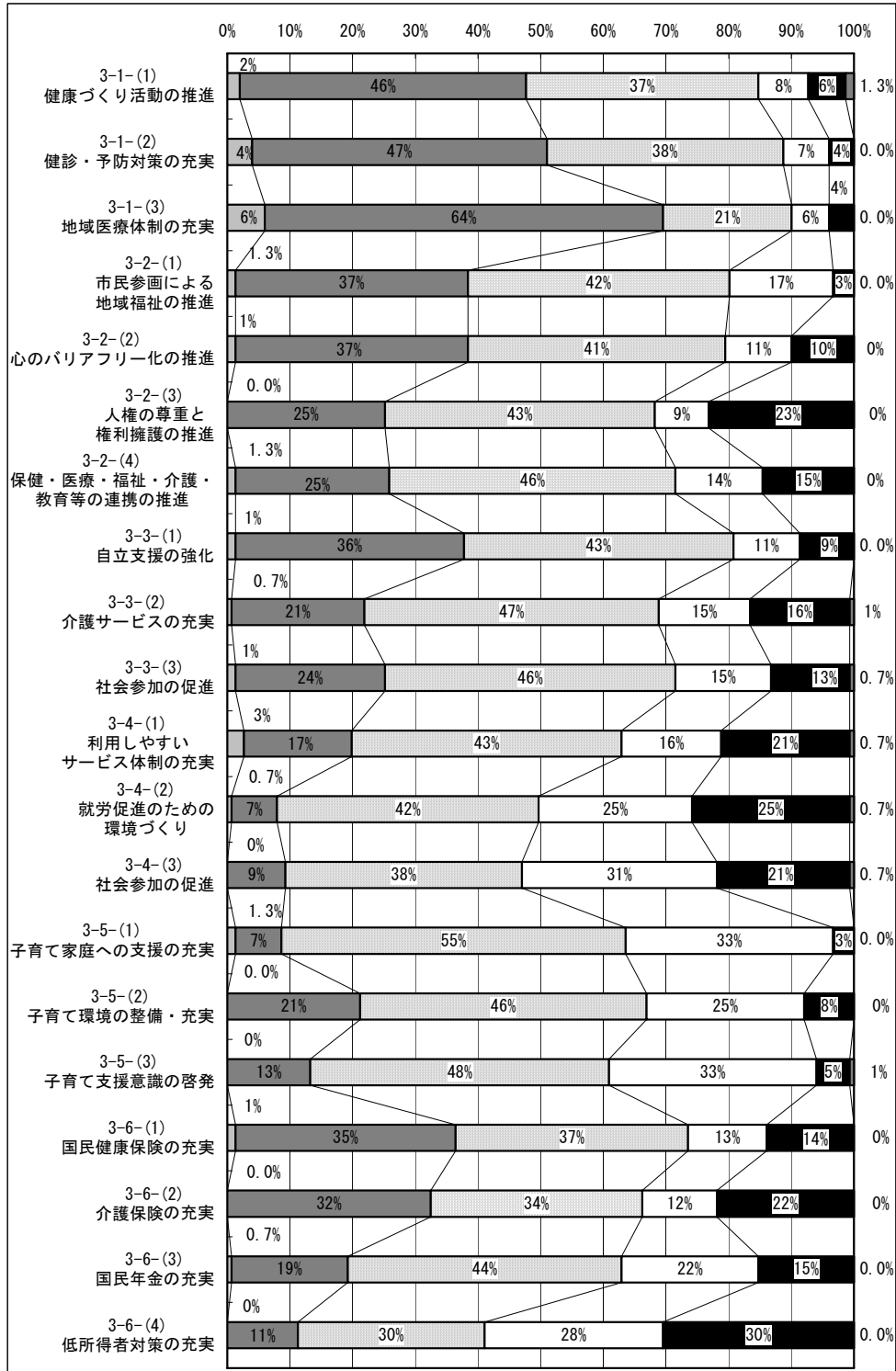


### (3) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障

#### 1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「地域医療体制の充実」で70%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」となっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での現状評価



十分満たされている       まあまあ満たされている  
 あまり満たされていない       ほとんど満たされていない  
 わからない       無回答

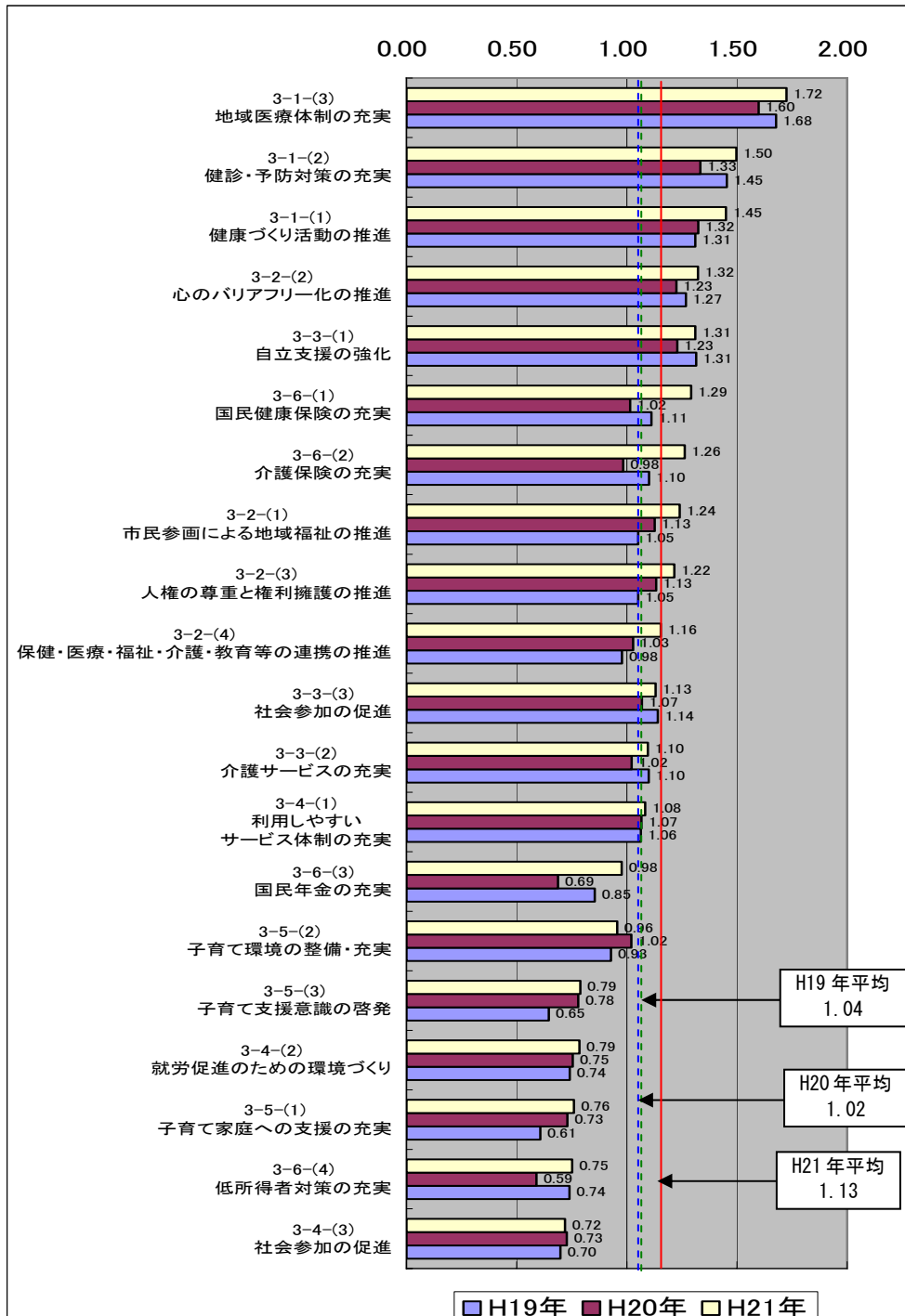
## 2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「満たされていない」を0点とし、当該回答者数（「わからない」を除く）で割った値を満足度得点としました。

健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での満足度得点の平均値は1.13点であり、前回は0.11点上回りました。また、全20項目中、18項目で前回は上回りました。

「地域医療体制の充実」や「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」など医療や地域福祉に関する分野が平均を上回っています。一方、障害者の社会参加や低所得者の自立、子育て支援に関する取組みといった生活支援対策は平均値以下になっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での満足度得点

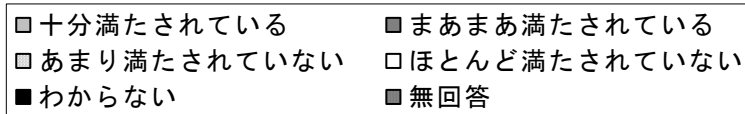
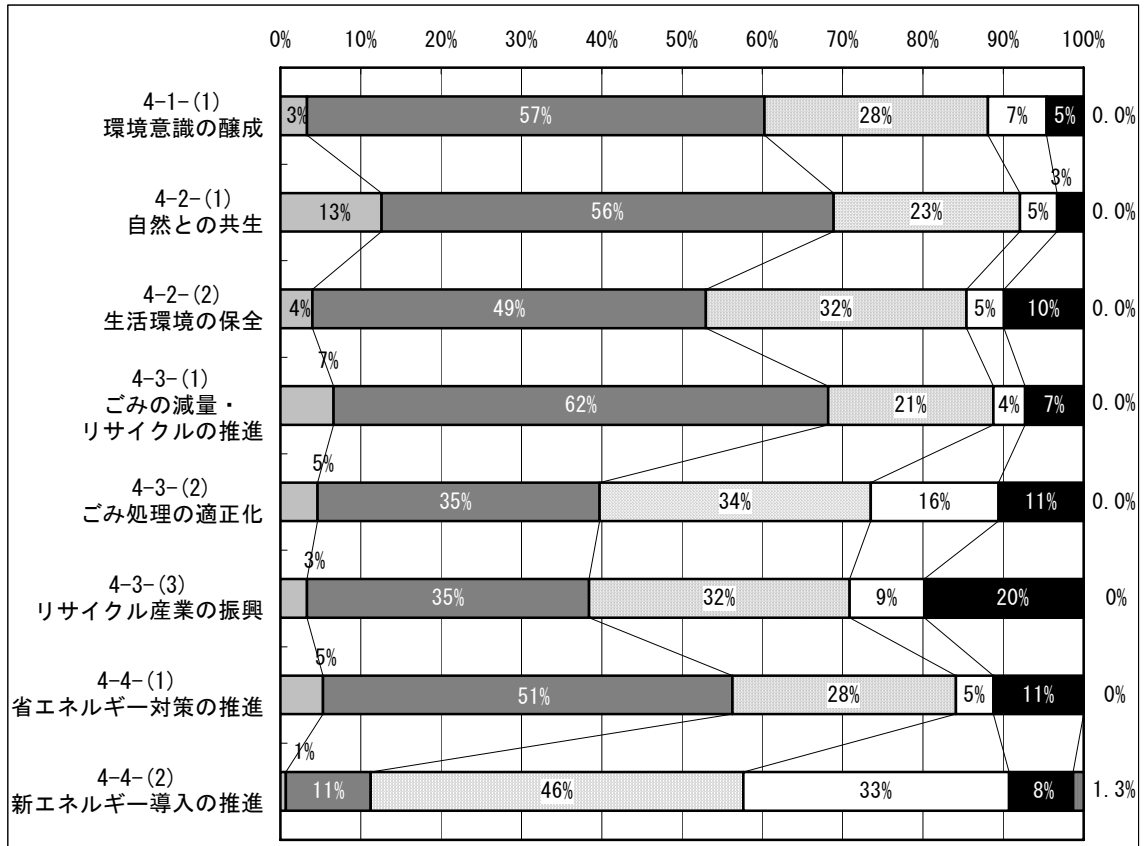


(4) 環境・リサイクル・エネルギー

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「自然との共生」で79%であり、それ以外でも「リサイクル産業の振興」と「新エネルギー導入の推進」を除き、4割以上の支持となっています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での現状評価



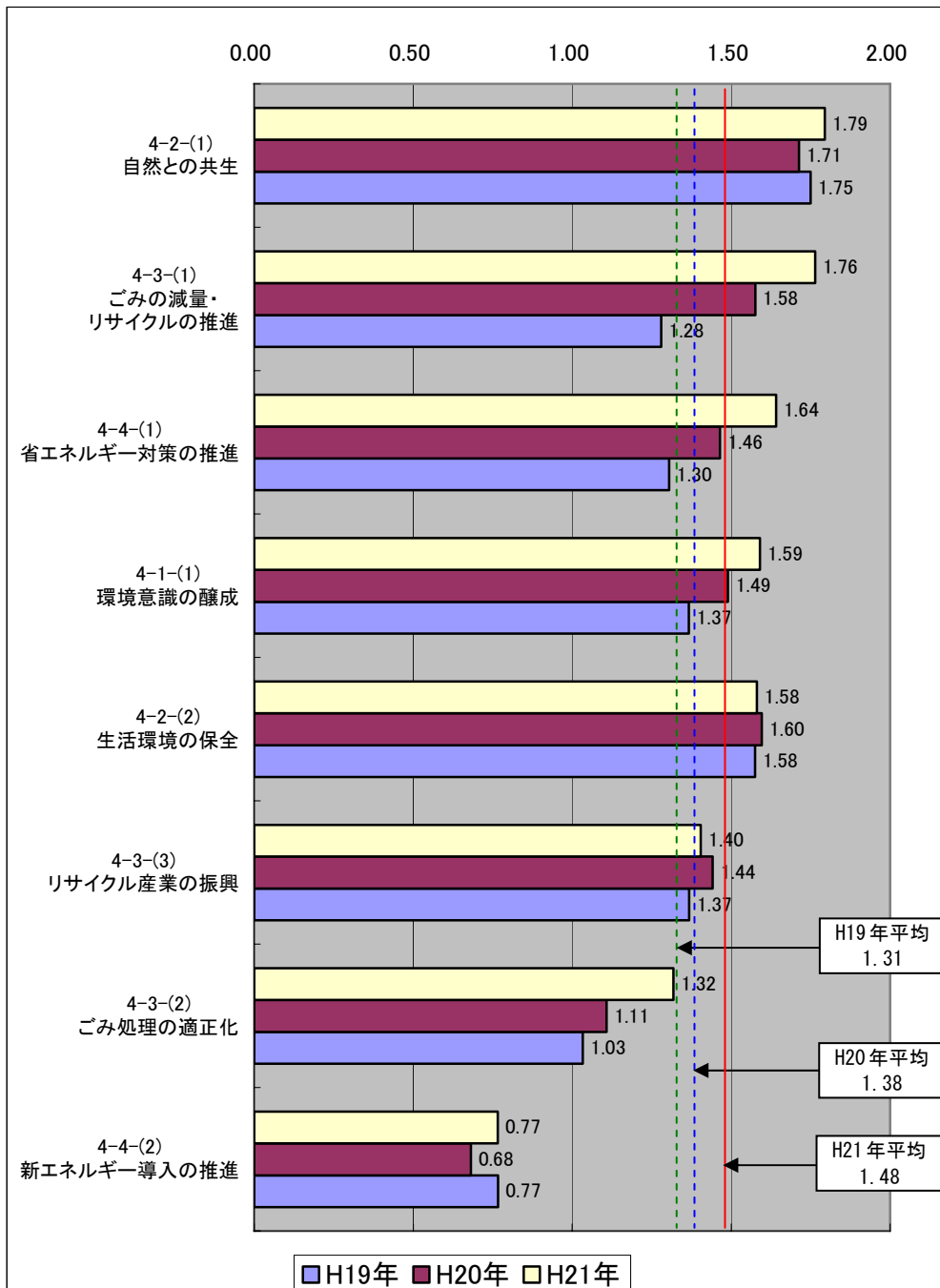
## 2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「満たされていない」を0点とし、当該回答者数（「わからない」を除く）で割った値を満足度得点としました。

環境・リサイクル・エネルギー分野での満足度得点の平均値は1.48点であり、前回は0.10点上回りました。また、全8項目中、6項目で前回は上回りました。

「自然との共生」や「ごみの減量・リサイクルの推進」、「省エネルギー対策の推進」など、地球環境の保全に向けた取り組みについては平均を上回っています。一方、ごみ処理の適正化や新エネルギーの導入の推進は平均値以下になっています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での満足度得点

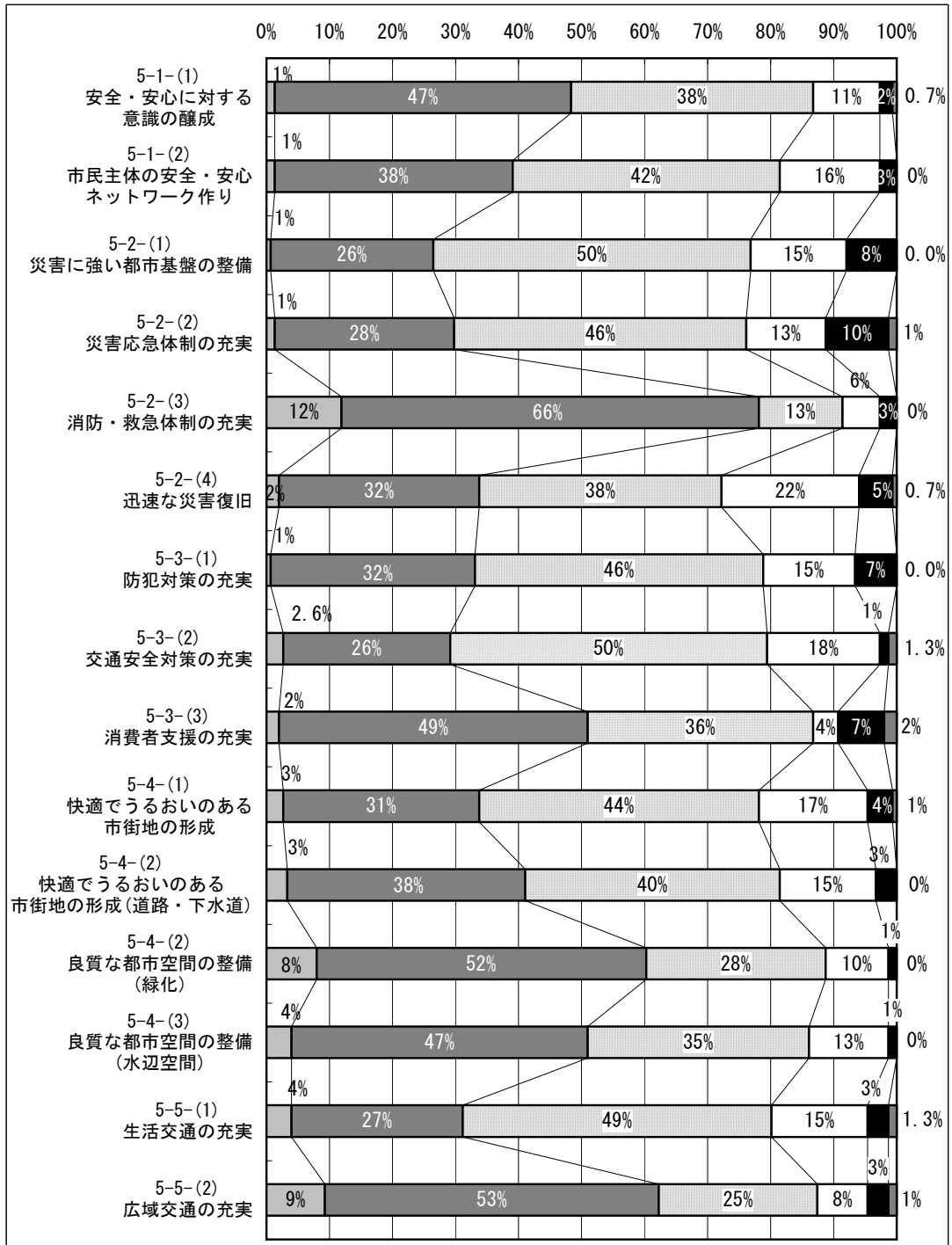


(5) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「消防・救急体制の充実」で78%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「広域交通の充実」や「良質な都市空間の整備(緑化、水辺空間)」、「消費者支援の充実」、「安全・安心に対する意識の醸成」、「快適でうるおいのある市街地の形成(道路・下水道)」となっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での現状評価



十分満たされている       まあまあ満たされている  
 あまり満たされていない       ほとんど満たされていない  
 わからない       無回答

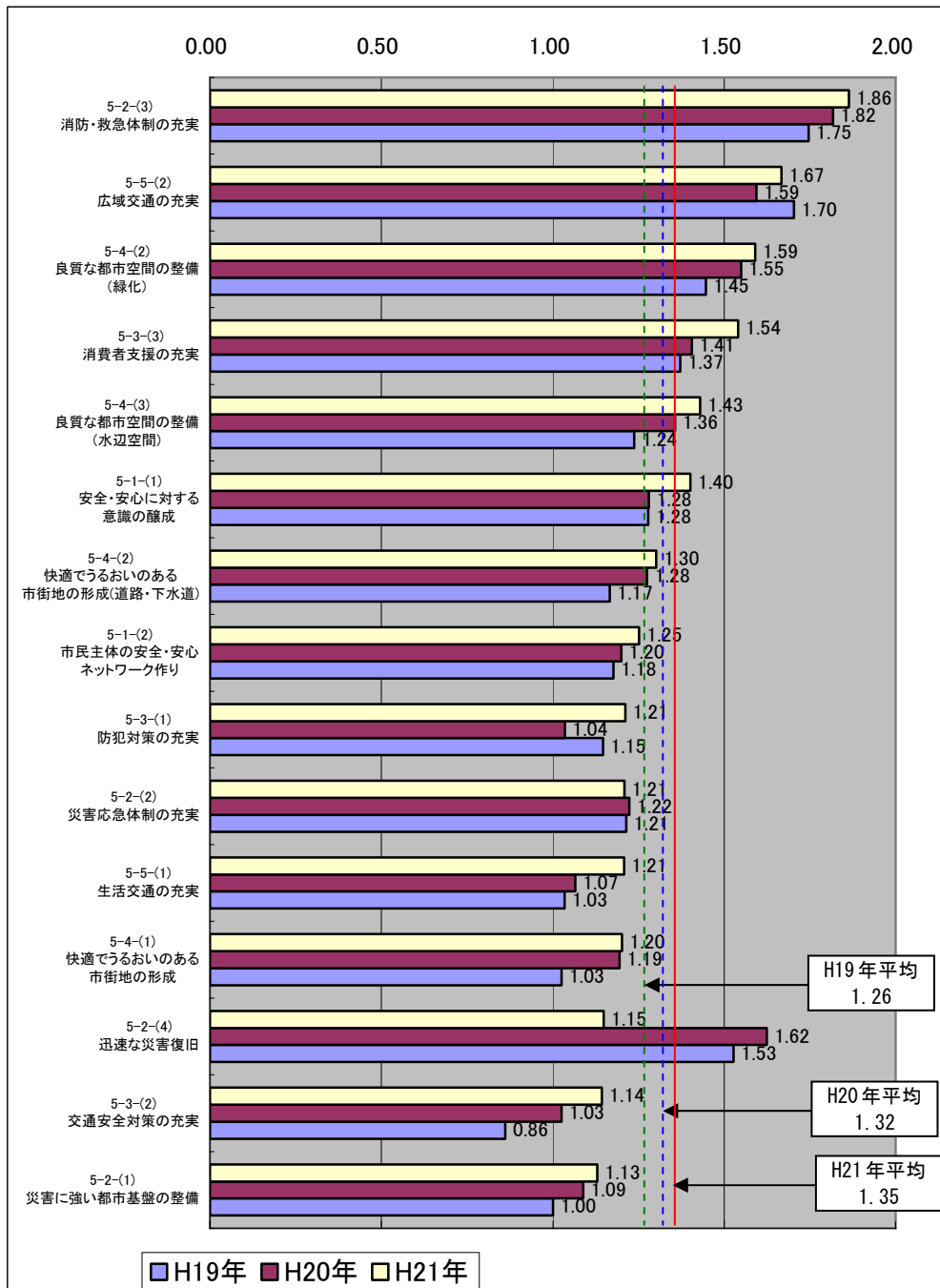
## 2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「満たされていない」を0点とし、当該回答者数（「わからない」を除く）で割った値を満足度得点としました。

コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での満足度得点の平均値は1.35点であり、前回を0.03点上回りました。また、全15項目中、13項目で前回を上回りました。

「消防・救急体制の充実」や「広域交通の充実」、「良質な都市空間の整備（緑化）」など消防・救急体制の整備や都市基盤整備については平均を上回っています。一方、災害対策や交通安全、防犯対策など、災害や犯罪を未然に防止するためのハード・ソフトに関する取組みは平均値以下になっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での満足度得点



### 3. 自由意見

分野	項目	自由意見
住民自治	住民自治	個別の施策ごとについては、行政も市民も他都市平均以上に頑張っているのではないかと。今後は「協働」に基づいて部署ごとの施策も進む(市民とのコミュニケーション能力向上、ワークショップの開催)ことなどが、例えば必要である。その他、全市全部署を挙げて企業誘致に取り組むことや、行政も一丸となって取り組む必要がある。それによって市民の協力も格段に進むのではないかと。
		「協働」「共同」をしっかり使える連携が今一つ足りない八戸の現状のように思う。好きなものが好きなようにやることの「こわさ」を感じる。
		市民、企業、行政による協働のまちづくり理念が八戸市職員に浸透しているか否か職員一人ひとりに聞きたい。
		「八戸の街は〇〇に取り組んでいる」「八戸市は全国にさきがけて〇〇を実践している」と、住みよいまちづくりのために民間とも協力して取り組んでほしい。
		地域コミュニティの健全な発展を阻止するような施策が実施されている。外灯(防犯灯)の維持・管理を地域コミュニティ会員に負担させている。これは、道路・歩道を利用する市民(税金)全体が負担すべきものである。ごみ集積所の維持・管理を地域コミュニティ会員に負担させている。これもまた同じように市民全体で負担することが重要である。ごみの回収を集積方式から、各世帯・家庭の責任(個人の責任)に基づく集積方法を検討する必要がある。助け合いが必要となり、地域コミュニティーが充実・発展することとなる。
		協働のまちづくり事業は、住民の関心の温度差が大きく、機能していない感じだが、地域の問題解決など必要性のある部分に活用すればいいのでは？
		公民館を街づくりの拠点となるよう、手を加える具体例を1~2ヶ所試行してみたらと思います。まず、公民館がいつでも気軽に利用できるために、サロン風に考えていくことが必要なので、コーヒーなどの自販機を設置、円卓と椅子をセットしてコーヒーを飲みながら、居合わせた人と気軽に話していくうちに地域の課題が話題になっていくように。壁には地域に関連するポスターなどを貼ってさりげなく情報提供するなど環境作りして、どうすることで真に公民館が住民自治の拠点となるのか、具体的に仕掛けてみないことには、結果、反省も生まれません。
		質問のエリアごとに感じるのは、住民が全員参加して充実した地域作りや環境作りをしているかということ、一人の人があっちこっち(企業もNPOも)首を突っ込んでいる傾向が感じられる。一般的な住民と意識の差が生じるのは当然だと思う。
自治体経営の強化	自治体経営	市営バスの事故は衝撃的な出来事でした。踏切での一時停車して左右確認。ドライバーとしては初歩的な行為ではないでしょうか。八食センターへの途中に八戸線の踏切がありますが右左右確認し、渡っています。運転時は十分すぎるほど注意を払って運転していただきたいと思います。
		居住していい街だと思いますし、他県の住人の視点からも評判いいですが、行政の内部監察がしっかりしておらず、大は1月の断水、小はレセプトの計算ミスまで。ミスへの対応・対策があいまいに過ぎます。ミスするのは仕方ないですが、対応が民意に反しては行政の信頼にかかわります由。
		市職員が多すぎる。(これはよく耳にする)
		縦割り行政の色彩が強く、横連携を深めた行政改革が、今後の八戸の発展に不可欠と思われる。
		議員定数削減を望む。
		もっと市民の意見・苦情に真摯に耳を傾け、各部各課の枠を超えて横断的に取り組み、解決にあたる部署の設置を望む。
		市営バスの運転手の態度は大変改善されたが、まだ1~2割の方が、こちらが「有難う」と言ってもソッポを向く人がいる。100%親切になるよう市長さんもたまにはバスに乗ってもらいたい。朝礼でもしっかり訓示してほしい。

分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	市民と行政の間隔を縮める工夫はないか。(モニターの集まりが少ないし、また、そこで提案されたものがその後どのように生かされたかも知りたい。) 広報の編集が大変密度が濃くなってよい。
		5(わからない)に○印が多いのは、一般市民への情報不足を感じる。(小生は常にインターネットでの検索でキャッチに努めている)
		安全・安心のまちづくり大変おつかれさまです。そしてありがとうございます。これからも、市民の声、提案を真摯に受けとめ、活用して頂くようお願いいたします。未だに、役所は動かない、庁舎内で暇そうにしているという声を耳にいたします。役所は市民へのサービス業であることを忘れないで頂きたいです。庁舎内の業務の情報共有化をすれば、もっとデスク上が整理されると思います。エコのためにも紙等を減らし、環境活動を率先して実行して頂き、効率化に取り組まれるよう希望します。
		(仮称)八戸市中心市街地地域観光交流施設(HPM)や合掌土偶が国宝に指定されるという話があっても地元の人が知らなさ過ぎる。全てにおいてどんなことをやっているか、どのような仕組みや事業があるかを広くPRする必要があると思う。
		アンケートはアンケートでいいと思いますが、出来得れば現在のモニターの中から、または、その他一般の利害関係のない市民を10人程度選んでフリートーキングのような形で話を聞く会をもったら如何でしょうか。議題はある程度絞る必要があるかと思えます。前回モニターの皆様の意見を送付していただきましたが、ごもっともな意見が大多数だったと思えます。その中で費用の余りかからないで出来るのがかなりあったように思いました。その後を見ておりますと、実行されていないのがかなり見受けられます。組織の途中で握りつぶさず市長まで上げるようお願い致します。
		全市民に対応できることはありえないが、前回の水道問題など、いろいろ考えると、ホームページ等に「代表的な市民Q&A」を載せて、対応方法や問い合わせ法を載せるとか。
		市体育館と東体育館の利用を並んで予約するというを知らなかったの、それを改善してほしい。
		こういうアンケートは、機械的に処理すべきではありません。経費をかけているのなら、こういうアンケートを6ヶ月に1回ぐらいだすべきでしょう。あと返答も1ヶ月以内によこすべきです。あと公務員には個人情報保護法があるのを忘れないでください。これに対応できないのなら、市長の手紙を毎日たくさんすべきです。民間企業ではあたりまえに行っている。ユニバースとかはたくさんしている。
		行政に対する市民参画にしても、ガス抜きの形式だけの参画させるのではなく、本来、市民、住民が主体となって、それに行政がお手伝いする、奉仕するというでなく、結局は何も変わらないのではないかと感じています。本気で行政が住民サービスの向上をするという意識が行政コスト(財政)計算書、バランスシートから見受けられないように思えます。今後いっそうの効率的財政運営を期待します。
		「自治体経営の強化」-効率的な行政財政運営。市庁、庁舎内はOA化が進んでいるはずなのに書類やファイルが散乱している。部外へファイリング等のコンサルタント会社に委託し、職員にファイリング方法の指導をするべきだと思う。各担当、原本主義・利用頻度による保管場所の徹底等により年間数百万円のコスト削減が図られ職場環境も改善されると考えられます。
		水、医療、保険、情報、教育、研究の高度化等の八戸地域版構築。海、河川、農林水産業の高度活用(産業、観光面)医療、保険関係の集積強化。情報化、高度教育、海洋、食関係の研究等の国際的集積推進。東北における定住拠点化。等に力点をおいてほしい。東北のユニークな拠点都市。
		十和田以西、以北との交流が少なすぎる。おいらせ町から青森、津軽を向いている。
		三圏域連携を「南部州サミット」として、盛岡・八戸旧南部藩連合を形成。区域内自治体の参画を得て道州制や基礎自治体、州域連携等を検討すべきである。すべては、自治の主役が住民であることを忘れてはならない。
歴代市長さんは、陸。海。空。交通アクセスは国内有数であると言われますが、『八戸の発展は全県を潤す』県内を纏める力がない、全国に発信も出来ない。		



分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	観光大使の経歴などから考えると八戸からは有能な人材が流出している。市職員や教職員に他地域の有能な人材を採用するとか企業立地の推進によって他地域からの定住者の増加をはかって活達な地域力の造成を行う必要がある。
		最近の話題を振り返ると、各県・各市で頑張っている様子が目立ちます。それは、それぞれのトップが試されていることだと思うのです。様々な事柄をしっかりとコントロールし、強い指導力を持ったトップが支持されています。八戸市はどうでしょうか。今年の正月に起きた水道ストップの事故に対する、八戸市のトップの方々の判断、市民に対する説明、対処など、正直がっかり致しました。もしこれからの八戸の行く末を真に考えておられるなら、市長を含め、各トップの方々もより強い気持ちと、市民への心配りをもって正しいかじ取りを切にお願いするものです。
		小林市長の存在が薄くて顔の見える活動もしてほしい。市民との一体感も大事にしてほしい。各市議、市長の奥様もプチファーストレディとしての社会貢献を考えて行動すべきと考えます。
		南郷区の図書館・プールは、なぜ月曜日休み？
		やさしさ、思いやりのあるまちづくりが行われておらず、豊かさや快適さが感じられません。市民が自身と誇りを持てる八戸市の将来にわたっての努力を要望いたします。市民的目線と行政のあり方を今一度考えるべきであります。
		観光交流施設と魚市場ハサップ施設など重点設備が計画遅れとなり市民の志気低下はいなめない。必要性は充分わかるが企画・計画時点での十分な精査をお願いしたい。
教育・文化・スポーツ・国際課・男女共同参画	学校教育	教育環境の充実、未来の人材育成を考え整備することが急務だと思います。お願いします。
		教育、食育、郷土理解、環境保全の意識を低学年から持てるような教育システムを作るべき。
		市川中学校まで市営バスで通学せねばならず、この不況の中、各家庭の負担が増え、それを何とかしようとしな。行政は、全国的に見てもおかしい。せめて自転車通学にすべきだ。
		小、中先生方は大変忙しいのは新聞等でよく見ます。然し、生徒との対話が少なくなっていないでしょうか。子どもの中に溶け込むことで、活発な子ども、いじめのないクラスになる。勝手な親にも、上を気にしている教師、五分五分。
	社会教育	知人の教師の方は、「放課後、学校以外の場所で少しでも手を貸すことができれば・・・」とのことで、他の地区ではなく、自分の地区に恩返しをしたいそうです。
		市民大学講座も大事ですが、親たちが子供を育てるうえで奮起できるような講座を増やしてほしい。家庭教育に対しての講座の予算が少なすぎ。今の時代は、親も子供同様成長させていかなければならないと思うのでより力を注いでほしい。
		家庭に埋もれている人財。女性・高齢者の活用。必要ならば。再教育システムの確立を願う。
	文化	美術館の早期建設を強く望みます。
		八戸の文化・歴史を感じるまちづくりに努めていただきたい。
	スポーツ	スポーツ施設が整っていない。特に氷都八戸であるわりには冬季国体がお粗末だったと思う。フィギュアの三沢アイスアリーナの施設はすばらしく、そんなアイススケート場が是非、八戸にもあるべき！
産業・雇用	産業力の強化	地域の特殊ある産業、頑張っている業種を発掘し、それを育成、助成し、今後の市の発展につなげていくという視点が乏しいと感じる。
		せんべい汁から発信された“地域の食”が全国区となりとってもうれしかった！すごいことですね！！
		地域経済は冷え込んでいるが地場産品、ブランドなどを市内で盛り上げ地産地消を活発にするプロジェクトがもっとあっても良い(地域間競争に勝つ)のでは。
	農業・水産業	農林水産業の保護、育成のための長期的な構想が見えない。
	魚市場の統合により、上屋のある第二魚市場跡を新たな市場として計画してはどうか。	

分野	項目	自由意見
産業・雇用	農業・水産業	八戸市は海、山に恵まれています。しかしながら漁業、農業の後継者の担い手が無く、仕事も無い状況だと思います。今後の農林水産業の新事業、新分野が魅力的なものとして、競争力があれば八戸の雇用を安定的に作られ誘致企業の経営状況により流動性が防げると考えます。具体的にはわかりませんが、漁業、農業の雇用は作れないと感じています。
	工業	若い人たちが働ける場所を確保し、地域がもっと活気付く事業が実施されたり、企業誘致を進めてほしい。
		新たな雇用をうむ、企業誘致を望みます。
		ほかの市町村に比べると、産業、雇用において八戸市は恵まれています。より一層の企業誘致につとめ、雇用の安定を図ってほしいです。市政80周年を迎え、今後の八戸市の発展に期待しています。
	種差地区にIT関係をつくるのはどうなったのですか。(口だけなので)	
商業・中心市街地活性化	八戸共通商品券が2日間で完売は納得できない。もっと多くの人々に幸せを与えるべきだ。	
	街中にアピールスペースがあればいい。野菜の日、時計の日、おもちゃの日、古民具の日などさまざまなマニア的なものをアピールする場所(意外と多い隠れマニア!! ほしいものにはお金をおしまない)。	
	旧市民病院跡地(公園)のもっと有効活用を図るべきと考える。中心街活性化には、駐車料を安くするための何らかの方策が必要。	
	人口減少化、少子高齢化が進行しているので、中心市街地活性化策の一環として、高齢者にも配慮した街づくりも必要と考えます。市営バス等の公共交通機関の運行体制の整備。性別・年齢を問わず、ゆっくり休憩できるスペース(広い方が良くと思う)の確保も不可欠でしょう。中心市街地の店舗形態は細分化、狭隘化していると感じます。中心市街地にも、大型(大規模)商業施設の建設は必要と思います。本八戸駅から三日町までの両側の歩道が非常に狭く歩き難い。六日町・長横町・中央通の歩道も狭く、歩行者の安全確保の観点からも、整備が必要でしょう。	
	三日町とかの繁華街の中心部に遊んで過ごす空間があるといいと思います。例えば、老人にはお風呂とか、仕事帰りの人にはスポーツジムとか、子供・家族にはスポーツゲームとか・・・こういうものがあれば1日中楽しめます。そこに必要になるのは食べ物や、衣類の店とか、いろいろなものが繁栄してくると思うのですが。消費する回転も自然と増え、経済的効果にもつながると思うのですが。市民の足となるバスも利用しやすくアイデアがあればよりよく活性化すると思います。	
	ありきたりの中心市街地活性化策はやめて、北東北随一の歓楽街を目指す等、八戸の特色を活かした施策を期待します。	
	中心地にマンションも増え、定住人口が増えても、買い物しやすい街並みがなければ不便。三日町、十三日町にアーケードをかけ、周辺の駐車場を使いやすくすべきだと思います。お年よりも、子供連れも、雨や車を気にせず、立ち止まっておしゃべりも出来ます。若者も集い、パフォーマンスも出来るでしょう。	
	街中の活性化には、とにかく人の流れを中心街に呼び戻さなければなりません。そのためには、個々のお店の工夫が必要かと思えます。例えば十三日町にあるツキウ時計店さんのように、どんな時計でも親身になって修理して下さるので、私は長年利用しています。中心街へ行っても、雑貨品や電化製品がなく、一回で用が足せません。	
	観光交流施設の建設に多額な予算を必要とすることに反対の人々が多い。今からでも中止すべきでは？	
	図書館や博物館等が街から離れた場所にあり、年齢とともに街中にあればいいと思う。街に新しいデパートみたいなものが建つときは、床等は色を変えて、入口、出口を間違わない様に作ってほしい。	
	中心街の活性化のみに重きを置いた施策に大いに疑問を感じる。新しい視点での街づくりを創造していかなければ・・・	

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	観光交流施設は相当な過剰設計。コンペ受けする案が採用され、不要な部分に大きな予算を使う結果を生んでいる。活用方法との一体性も不十分、設計も地元業者で考えられたと思う。
		中心街活性化について、駐車場を6時間無料にする(3000円以上お買い上げで)。さくら野の向かいに、商業施設をつくる(アミューズメント施設)。いらぬ道路工事は夕方以降に行う(交通の邪魔です)。特に、人が通らない夜にしたい(どこの工事にしてもそうです)。昼間は道路通行の邪魔です。
		中心地(三日町周辺)に人が集まっていないのに、活性化させようという動きは逆のような気がする。
		今後計画されている三日町中心街の観光交流施設へ八戸駅前からの上・下直通バス運行を設定してはどうか。「にぎわい」のためにも是非実現してほしい。本来三日町の中心街には、公共交通のバスターミナルがないために観光客が減少している最大の要因と考えます。また、三日町、十三日町の一方通行をそろそろ解除してはどうでしょうか。
		若い人達が居つづけてくれるまちになってほしいです。「何をやってもダメ」とか「何も無いまち」とよく聞きますが、良いこと(モノ)やおもしろいこと(モノ)はたくさん続いているし、あると思います。デーリー東北の「中心街に活」に紹介されて若い人達のやっているような事を市民がひろく知ったり、八戸市として応援したり参考にするのはどうでしょう。
	先日友人の一人が、昔話になるけど八戸に初めて来たときのことであるが、八戸駅から、中心街までタクシーに乗り、目的地に着いたら運転手に「早く下づろ!!」と言われてびっくり!! 又、ある老舗菓子店に入ったが、「ごめんください」と何度言っても返事すら返ってこなくて、しばらく待っていたらようやくでてきたよ…まったく…八戸の人はよそ者に対して冷たいんだ。又、殿様商売で大丈夫と思っているんだな!と、あの時は強く思ったし、住みたくないとも思ったよと…でも今では八戸の住人になり街の変わりように興味津々のようです。長年住んでいる私も殿様商売的なお店もたくさん知っているし、あまりひどいときには従業員の人に注意したりはしますが…又、店員の教育がしっかりしていない店も結構多いです。そんな店には二度と行きたいと思いません。遠くても気持ちよく待応してくれるところへ行くのが人情だと思うので気持ちよく過ごせる街づくりを是非!	
	観光	八戸のすばらしい観光地(種差・蕪島)をもっとピーアールすべき。
		もっとマスメディアを活用して観光産業に力を入れるべきではないか?
		さめの水道公園は八戸港を見渡せる最良の場所と思う(館鼻公園よりいいかも)。もっと整備して活用して、新名所として生かしてほしい。観光施設、マリエント、縄文館などすべてが中途半端。財政的なこともあると思うが、思い切って東北一ぐらいのものを作ってもらいたい。屋内スケート場は日本一を目指せ!!
		発掘や食材など八戸の環境、郷土の特性が生かされ、関係者の努力に敬意しております。八戸は太平洋に面して、気候も比較的安定しているし、明るいアピールの材源にならないかと考えます。余り意義的なことではないのですが、八戸の「八」の字を活用したイベント、ツアー、体験を企画したり、「蕪島神社」の「株のおまもり」などのように、楽しむこともいいと思います。例: 8の食材を使用したバランスの良い料理を工夫するー健康に良い(南部の代表的な食材だけを使用する)ー戸〜八戸までの旅行ツアーめぐり(その地方の料理を堪能したり郷土に触れたり)
八戸市の売りとなるもの(建物や祭り)を作り、それを十分生かせる整備や広い意見を聞いたり、ほかの地域の例を参考にするのもいいと思う。施設を作っても活用しきれてないし、規模が小さくまとまりすぎている。		
一日観光めぐり…大人の社会見学。土、日の名川フルーツバスのように、週末、家族向けの企画が殆ど。そこで、平日の10時〜4時の観光めぐりの企画があると、多くの人に参加できると思う。たとえば、海めぐり、鮫の蕪島、マリエント、種差遊歩道、ランチ、海の幸の買い物、お風呂。縄文めぐり、博物館、縄文館、体験学習、八戸公園(こどもの国)など車のない年配や観光客の人には便利である。朝市、朝風呂めぐりと合わせて、いろいろな企画をしてみしてほしい。		

分野	項目	自由意見
産業・雇用	観光	館鼻岸壁などによる八戸の朝市は、話題性はあるが、問題が多い。日曜の早朝だけ、衛生上の問題などから観光資源とはなり得ないと思う。
		市中心地より観光客が利用できるバスターミナルを作ってほしい。今現在バス利用の観光客は目的地に行くのに案内場所が無くて困っている。
	雇用	とにかく雇用について力をいれてほしい。準職員、契約社員の人でも将来的に正社員になれるという希望があればモチベーションを下げずに生きていけるはず。なお、少子化についても原因は雇用の不安定さにあるものであり、けっして初婚年齢が高くなっているからではなく、経済的に不安があるから男性は結婚に対して消極的なのだと思う。また、私の同級生で県外にいる人たちは殆ど「仕事があれば八戸へ帰りたい」と言っている。やはり、雇用がなにより優先的に取り組まなければならない事項だと思う。
		仕事のある所は人が集まる住みつく。八戸市はそのため具体的施策は働ける場を。
		当市の人口が年々減少の原因は若い人の働くところがないからではないのか？数十年前津軽と誘致合戦の結果当市に誘致された国立高専の就職先は殆ど地元ではなく中央に就職して行っている現況は？
		産業、雇用に関して地域経済の活力が高まっているとは言えず、地元産業が沈滞し、元気がない。雇用の安定がなければ市民の幸せはありえない。また、中途退職し、再就職を望む男女に対しての支援をもっと積極的に行う必要があると思う。
		八戸市の働く人の賃金UPについて、八戸が動いているのか見えていない。雇用側の意識改革をする啓蒙活動をしてほしい。若い人が働く場所を作り出し、子供を産み育てる、暮らしていく夢がもてる八戸になるためのビジョン(わかりやすい言葉)で示してほしい。
		八戸は異常なほど仕事がなく、ハローワークに人があふれ返っているのです。八戸市のえらい人はそういう現状をつかみきれているのですか。一度普通の日、職安を見学に行くべきです。特に議員さんの人たちは。
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	全体	事業が着実に推進しているとはいえない現状である。健康・福祉・介護・子育て・社会保障についてのカテゴリーは事業の工夫が急務であると思われる。
	健康	現在ある施設を活用しての健康増進のPRを行政がもっと積極的に行ったらどうか(特に公園、広場等)。
	高齢者・障害者	高齢者が安心して生活できる環境が整っていない。(経済的な面や防犯の意味でも)
		老人介護の推進。(施設の拡充、案内、理解、老人介護への援助)
		青森県の介護保険料が全国最高と。年を重ねても元気で生き生きしている人も多い。少額でも仕事をして賃金を得ることは、生きがいある生活づくりと技術の伝承、予防医療など多くの利がある。若い人たちのためボランティアで交流を深めてもらいたい。
		いろいろな事柄について地域格差があると思う。シルバー世代の人達をもっとボランティア活動を行うべきで、それは、子ども達にその活動の大切さを無言で教えることになると思う。鷗盟大学では「人生の経験をいかに活かすか」という授業があったら良いのではないのでしょうか。互いに支え合える社会。もっと身近な行政であってほしい。大きな事業ではなく、人々の生活に密着した足元を固める小さなことに目を向けた計画を立ててほしい。
		洗心荘に76歳以上の人に2,000円補助をなくしたことは納得できない。年に3日間だけとは一体誰が決めたのか。もっと市民の幸せを考えてほしい。洗心荘に行けない方もたくさんいるはず。行政は市民の立場にたって市民の幸せを考えて行動してほしい。
	子育て	少子化をさわぐわりには福祉にかたよりすぎでは？
		子育てしやすい街。全国的に病院が少ないというニュースを見ますが、その点八戸は交通の面もよく良い病院がそろっているといえる。そこで妊婦の方の特別割引サービス(バス、タクシー、お風呂、飲食)を民間企業と共に他市町村にない取り組みを企画してはどうか。幼稚園、保育園を増やし、高校終了まで安心して過ごせる街のアピールをホームページなど利用して広く知ってもらいたいと思う。
		子ども作りに支援金を出す。

分野	項目	自由意見
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	子育て	<p>子育てでは出産費用の無料化を市が独自の政策として打ち出し、少子化対策とする思い切った手を打つべき(初出産は当然若い人が多いわけで金銭的に苦しく、親が費用を負担している例が多々見られる)。若い人が金銭を気にせず子供を産める環境を作ってほしい。</p> <p>先日、児童相談所に行く機会があり、担当の方と話をさせて頂きました。申し訳ありませんが対応の悪さに私たち家族はショックを受けました。こちらに伺うのは、それなりの理由があるからで、もう少しいろんな面の配慮があってもいいのではないかと思います。(例えば、外観の雰囲気、待合室の配慮、医者への対応)いろんな子供がいて、その子にあった対応をしていただきたいです。</p>
	社会保障	<p>介護の現場にいるスタッフの給料を生活していける分、企業が出しているのか指導してほしい。保険料や税金でまかなわれているのだからきちんと市のほうで把握して指導していく強い姿勢がほしい。質の向上にもつながる。</p> <p>生活保護の不正受給が多すぎる。働けるのに仮病を使い、保護をもらい、パチンコ、花札などをし、毎晩酒を飲み、バイアグラを買い、他人名義の車を持ち、タバコを2箱/日も吸う。本当に必要な人もあると思うが、不正の者が大変多い。もっと厳しくチェックしてもらいたい。人間を墜落させるだけ。正直者がバカを見る社会は絶対におかしい。</p>
		<p>環境・リサイクル・エネルギー</p> <p>資源リサイクル・</p> <p>ごみ減量推進委員をつとめております。清掃事務所に電話することも多くあります。マナー違反者に注意をしてくれ、最大限の努力をしておられます。感謝。</p> <p>リサイクル事業を市活性化の基幹に(北九州市)。その場合、リサイクル事業薄く広く見えるのではなく、特化したリサイクル基地にすべき。</p> <p>エネルギー</p> <p>太陽光発電等すすめるべきと思うが、補助を含めた普及宣伝活動を行ったらと思います。</p>
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	防災	<p>今年の元旦の断水は危機管理意識が低いと批判されても、マニュアルも出来ていないとはお粗末の限りである。又、災害に強い町と胸を張れるかという自主防災組織率も50%、避難所も少なく、寺院等にも平常から臨時に解放してもらうよう要望しておくべきでは？飲料水、非常用食料は確保していても避難所のトイレが絶対数不足である。例えば、公園でトイレがあるところは圧倒的に少ない。東京の世田谷区を見習ってほしい。</p> <p>今年1月の断水事故の経験から、“防災”に何よりも重点的に取り組んでください。去年の地震被害を見るまでもなく、日本は八戸は地震常襲地帯です。それを基本としての町内、地区での防災体制に積極的に関与してください。それをベースにしていくと、自然にコミュニティ作りも、健康・福祉の課題も大きく変換していけると思います。</p> <p>安全、安心について言えば、正月の水道の断水で見ると、防災対策がとられていないことが明らかとなった。また、各町内会に自主防災組織を作っているが、実際に行動できるのかと考えれば心もとない。具体的に想定される状況に合わせた計画と訓練(主にネットワーク化)が必要だと思う。</p> <p>防災について、これは重要であるが、実際何かあったらどうするの？きちんと決めて周知してますか？各地域に町内会長等いるが、実際、会費だけ集めてきちんとやってない会長もいるし、任期が長い人もいる。コミュニティはそのような面だと思うので町内の掲示板なり、ペーパーなり利用して周知してほしい。</p> <p>断水事故で水が出なくなり、1月のあの寒さの中、並んで待っているのに給水車が来ても「やあ待たせたな」とも言わず、また水がなくなり車が帰っていくのにも「何時ごろまたきます」とも言わず。ただ寒さの中で待ちました。今度は挨拶の出来ない人を使わないでください。気持ちよく水をくれる人を使ってください。ただただ寒さの中で水を待つのは不安です。こんな人たちを公務員様かと思うと八戸は下品です。</p> <p>工事等の検査、監督責任は、どのようになっているのか？断水事故に対する責任の所在は？良い仕事は、この様なことをわきまえないと出来ないとします。</p> <p>水道断水それに伴い各家庭に、商店に、不安と損害を与えた。号外は市より先にデーリー一紙からもらう。</p>

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	防犯	用事があって交番に行ったとき同じ時間帯で4箇所の交番に人がいませんでした。パトロールをしているのかもしれませんが、交番に人がいないというのは“何かあったとき頼れる”という安心感が全く持てないです。なので“安心して生活できない”という事になると思います。
	交通安全	道路では交差点での右折の矢印信号が不足している箇所が多数ある。全市的に朝の通勤時間帯に点検し増設の必要性がある。
	居住環境	特に当市は下水道普及率が低いのでは？
		田向地区の土地について。土地が売れてないのなら商業施設をつくる。(いくらかは求職者の助けになります)八戸駅周辺について。八戸駅周辺は田舎町だとよく言われます。何も無い。いい道路をもっているのだからユニバースを作る(どうなったのです)雇用が多くなれば若い人は八戸に戻ってきます。(これにより人口が多くなり、税収も増えるのではないのでしょうか)
		八戸駅の周辺はほとんど整備されていない。何も魅力のない駅で残念です。海も祭りも海産物、農産物と、たくさんの宝があるのに生かされていない。努力しているのはわかります。PR等、以前とは違っていますが、八戸の駅でおいて駅前に出たとき迷わずに行きたいところに行けたり、活力を感じるような場になるよう、市民も協力していくのはもちろん、市にも頑張ってくださいたいです。
		借上市営住宅は市も参加の第3セクターが受注し、参加した業者はショックを受けている。完全に民間で参加できるのに第3セクターが参加したこと自体問題。まちづくり会社は「民」ではないと思う。
		雨天時の道路の排水状態が悪いので、歩行者が車に水をかけられたり、横断歩道が、渡れないほど水がたまってしまっているところがある。弱者(歩行者)のことをもう少し考えた道路設備が必要だと思う。
		地域の人々が自由に街づくりできる緑化活動をお願いしたい。各地域の特性が高齢福祉活動の励みになり、元気になる。
	交通環境	安心して歩行でき、自動車も安全で円滑に走行できる道路歩道にしていきたい。現状はひどいものです。市役所はサービス業であることを認識してほしい。
		桜ヶ丘～45号線の歩道が近日完成。感謝します。
		1時間に1本のローカル鉄道を生活の足としては利用できないし、これだけ自家用車を使用するのでバスと車の両方を考えないと無理だと思います。
		中心街や通院等、できるだけ公共交通を利用してもらう為、60歳以上または65歳以上に、平日でも一日乗車券が使えるようにしてもらいたいと思う。
		道路清掃車は同じ場所しか清掃していないような？
		南郷区の道路整備がなっていません。(是川一島守間)
	桔梗野地区は歩道が依然として整備されておらず、小さい子供、お年寄りが安心して歩けるようなところではなく、又、そこが通学路になっているのがおかしい。	
	バスは特に地域によって利便性が大きく違う。青森市に比して、県の援助が全くというほど無い。むしろ、久慈、二戸市と連携して、別の経済圏をつくり、県税令の予算は八戸市で使う。	
	八戸市は本八戸駅に新幹線が入っていないため他の市、都市と比べ市民が県外のアクセス不便になっている状態だと思います。鮫方面から新幹線に乗るには、現状には大変な待ち時間を作ることになっているのではないのでしょうか。また、従来の駅には人口が少なくなった寂れたところにも今もあり、昔のままであります。他の地域で新こ団地から特急バスが、料金が高いのですが朝、晩、活躍している点、空港、新幹線への特急バスの活躍が八戸には無い状態だと思います。それだけ八戸は車社会なので、きづかないところもあるかも知れませんが不便だと思います。	
	広域的な交通体系の連携が必是(都市部、観光地問わず)。必要なとき必要な交通手段(移動手段)の整備が必要(その場合、大型バス一辺倒からの脱却を)。	

分野	項目	自由意見
その他	まちづくり全般	ほとんど満たされていないが多く申し訳ない気持ちです。八戸に住むようになって3年間になります、あまり変わりようがない。
		特性のないまちになっている気がする。
		もう少し若い人が夢を持って暮らせる街づくりを希望します。高齢者の方々も共に幸福に暮らせる街づくりを希望します。他の事で有名になっている議員さんは市政をどう思っておられるのでしょうか。そんなことで有名になっている八戸をどうでしょうか。
		他方面にわたり、良い地域なのでアイデアや人材をうまく利用して住みやすい街づくりをしていってくれと期待しています。
		あまり変化を感じません。
		個々の人々がそれぞれの立場で頑張っているのは知っていますので、これからはすすめていってほしいと思います。
	アンケート	設問が身近なものでないものが多く、また情報も入らないので「わからない」が多くなりました。
		こうやって郵送をかけて謝礼して意見をもらう作業がとても無駄に思います。電子メールにするなど再考を。
		『こうなっていると良い』と思われる状態とは、言い換えると『目標』となる。しかし、「目標」と言うにはあまりにも漠とし過ぎている。各設問について具体的なイメージが湧いてこない。湧いてきたとしても評価は十人十色。ピンからきりまで、おそらく收拾がつかなくなると思う。人材がいない、金もない、十年先など見当もつかない今の世に「まちづくり」の目標を掲げるなら“時間”を意識し、もっと評価の対象を明確・具体的に出来る限り、数値を示して示すべきと思うが、如何。
		アンケートの回答選択肢である現状評価の5つの文言をもっと工夫できないか。
		いろいろな項目について評価したが、自分の関わりのない項目については「わからない」になってしまう。内容はわかるが、現状は？わからない！健康、福祉～面は、重要であるが、実態は？どのようなことをやっていてどうであったか？わからない！わかりやすいペーパー等を望む。
		アンケートはよく実施されるが、どのように生かしているか見えてこない。
このアンケート調査の結果が反映されるのかどうか、知りたいです。集約結果発表のみではなく、なんかの場面で話し合われているなど具体的に実績や計画の流れを教えてください。		
このアンケート内容の質問は、個人的に関心のあるものについてはこたえられるが、良く理解していないものには回答がはばかれる。		

# 第5次八戸市総合計画 有識者アンケート 調査ご協力のお願い

皆さまには、日頃より市政運営にご支援をいただき、ありがとうございます。

また、前回、平成20年5月に有識者アンケート調査をお願いした際も、ご協力をいただきありがとうございました。

当市では、本格的な地方分権時代の到来や、社会経済情勢の急速な変化など、市政運営を取り巻く状況の大きな変化を踏まえ、平成18年9月に、今後10年間のまちづくりのビジョンとなる第5次八戸市総合計画（平成19～28年度）を策定しました。

このうち、前期5年間で重点的に取り組むべき施策や事業を取りまとめた前期推進計画の着実な推進を図る必要があることから、前期推進計画に登載した施策や事業について、これまでの取組みによる成果がどの程度現れているかを把握するとともに、効率的に計画の見直しや改善に取り組むため、3度目の有識者アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

ご回答の内容は、調査目的以外に使用することはなく、統計的に処理し、個々の内容が公表されることは一切ありません。

平成21年4月 八戸市長 小林 眞

## ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人がお答えください。
- 質問ごとに、回答欄にあてはまる番号をご記入ください。
- このアンケート調査は、5月11日（月）までに同封の返信用封筒で返送（切手不要）してください。
- 八戸市では、総合計画の適切な進行管理を行うため、市民委員会を設置して事業の見直しなどの意見をいただいています。（前回のアンケート調査結果など、委員会に提出した資料については、市のホームページでご覧いただけます。  
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/9,16212,72,201.html>）
- 調査に関するお問い合わせや、市民委員会に関連する資料を希望する方は、下記までお願いいたします。

八戸市総合政策部政策推進課（谷崎・大村）

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

（電話）43-2111（内線 670・662） （FAX）47-1485



あなたは、それぞれの設問項目について、現状をどのように評価しますか。それぞれの設問項目についての現状評価として、あてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
<b>住民自治の推進</b>						
1	市民、事業者および行政が協力し合いながらまちづくりを進めている。	1	2	3	4	5
2	防犯・防災活動や環境美化などの地域が自主的に行う地域コミュニティ活動が活発に行われている。	1	2	3	4	5
3	ボランティアや市民活動団体（NPO）がまちづくりの担い手として活躍している。	1	2	3	4	5
<b>自治体経営の強化</b>						
4	組織の見直しや適正な定員管理が行われ、効率的な行財政運営が行われている。	1	2	3	4	5
5	市民が幅広く行政に参画し、市民の声が生かされた行政サービスが提供されている。	1	2	3	4	5
6	事務事業の見直しにより、行政サービスの向上と行政コストの削減が図られている。	1	2	3	4	5
7	都市圏の中心都市としての中枢機能が高まるとともに、周辺市町村との連携が強化されている。	1	2	3	4	5
8	ゆかりの都市間・地域間の交流が図られている。	1	2	3	4	5
<b>教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画</b>						
9	子どもたちの体験学習が活発に行われている。	1	2	3	4	5
10	自由に学ぶことができる多様な学習機会が提供されている。	1	2	3	4	5
11	幼稚園・保育所（園）・児童館・小学校・家庭・地域の連携により就学前の教育環境が充実している。	1	2	3	4	5

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
12 義務教育課程において基礎・基本を身に付けるとともに、豊かな心と健やかな体の育成が行われている。		1	2	3	4	5
13 経済的な理由に妨げられることなく、高校・大学等の平等な就学機会を確保できている。		1	2	3	4	5
14 日常生活のなかで広く学びの場を持つことができている。		1	2	3	4	5
15 学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組んでいる。		1	2	3	4	5
16 芸術・文化の鑑賞機会や活動機会など、芸術・文化に親しむ機会が充実している。		1	2	3	4	5
17 個性豊かな伝統文化を後世に伝えるための後継者が育っている。		1	2	3	4	5
18 市民が気軽にスポーツに親しむ環境が整っている。		1	2	3	4	5
19 外国の文化・歴史・言語等の学習を通じて、児童・生徒が国際社会に対する理解を深めている。		1	2	3	4	5
20 在住外国人にとって、暮らしやすい環境が整っている。		1	2	3	4	5
21 男女が性別による差別的扱いを受けることなく、個人として能力を発揮できる職場環境が形成されている。		1	2	3	4	5
22 男女平等意識の醸成により、男女それぞれの人権が尊重され、自分らしく生きることができる社会が形成されている。		1	2	3	4	5
<b>産業・雇用</b>						
23 産業間の連携により新たな産業が創出され、地域経済の活力が高まっている。		1	2	3	4	5
24 高度な技術をもった競争力のある企業の立地が進んでいる。		1	2	3	4	5
25 新事業・新分野に挑戦するなど意欲的な中小企業が増えている。		1	2	3	4	5
26 八戸産の農林水産物を活かしたブランド商品が増えている。		1	2	3	4	5

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
27 農林業の後継者の育成が行われ、担い手が充実してきている。		1	2	3	4	5
28 有機農法や減化学農薬、減化学肥料等が広まり、安心・安全な農産物が提供されている。		1	2	3	4	5
29 優良農地の保全や、園芸作物の施設整備、適切な森林整備などにより、農林業経営の生産性・効率性が高まっている。		1	2	3	4	5
30 漁業経営の改善が進むとともに、後継者となる担い手が育っている。		1	2	3	4	5
31 魚市場での衛生設備が充実し、市民に安全・安心な食材が提供されている。		1	2	3	4	5
32 人工的な岩場の造成や余分な海底土砂の除去などにより漁場の整備が図られている。		1	2	3	4	5
33 誘致企業が増え、雇用の増加が図られている。		1	2	3	4	5
34 大学や行政等との連携や支援により、新たな事業（ビジネス）や産業をおこしやすくなっている。		1	2	3	4	5
35 中心街において快適な商業空間が整備されている。		1	2	3	4	5
36 流通業務の共同化や効率化が図られ、地域の生産・消費を支えている。		1	2	3	4	5
37 八戸港の知名度の向上により、八戸港の利用が活発化し、物流における拠点性が高まっている。		1	2	3	4	5
38 八戸港の岸壁や防波堤などの港湾施設が充実し、海外との経済交流が活発になっている。		1	2	3	4	5
39 PR活動の展開により、八戸市の観光資源の知名度が高まり、首都圏などから八戸市を訪れる人が増えている。		1	2	3	4	5
40 市民のボランティアによる観光ガイド活動が盛んになっている。		1	2	3	4	5
41 新たな観光資源の発掘により、八戸ならではの観光資源が充実している。		1	2	3	4	5

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
42 新規高卒者を含む若年者の就労の場が増えている。		1	2	3	4	5
43 給与や労働時間といった勤労者の働く環境が改善してきている。		1	2	3	4	5
<b>健康・福祉・介護・子育て・社会保障</b>						
44 市民の健康づくりに対する意識が高まり、健康教室などの健康づくり活動に積極的に参加している。		1	2	3	4	5
45 生活習慣病等の予防や早期発見、早期治療の体制が充実し、健康の保持・増進が図られている。		1	2	3	4	5
46 必要なときに必要な医療を受けられている。		1	2	3	4	5
47 日頃から家庭や地域において、助け合いや支え合いによる暮らしが根付いている。		1	2	3	4	5
48 学校や地域での福祉ボランティアに参加する市民が増えている。		1	2	3	4	5
49 福祉サービスの利用に関する支援や虐待の防止など、人権の尊重や権利擁護に対する体制が充実している。		1	2	3	4	5
50 保健・医療・福祉等の連携により、地域住民一人ひとりのケースに応じたきめ細かなサービスが提供されている。		1	2	3	4	5
51 高齢者およびその家族が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができている。		1	2	3	4	5
52 高齢者が求める介護サービスが提供されるとともに、介護にあたる家族に対する支援も充実している。		1	2	3	4	5
53 高齢者自身が自らの経験と知識を活かし、積極的に社会参加している。		1	2	3	4	5
54 障害者が必要とする障害福祉サービスが適正・適切に提供されている。		1	2	3	4	5
55 障害者の就労訓練や就労の場が充実している。		1	2	3	4	5
56 障害者を受け入れる環境が整い、障害者が地域活動等へ積極的に参加している。		1	2	3	4	5

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
57 子どもを産みたい人が経済的な負担を感じることなく、安心して産み育てることができる。		1	2	3	4	5
58 子育て支援サービスが充実しているとともに、地域において子どもたちを見守り、子育てを助け合う環境が充実してきている。		1	2	3	4	5
59 労働環境の改善が進み、男女とも働きながら子育てをすることができている。		1	2	3	4	5
60 国民健康保険制度が安定的に運営され、保険加入者の健康維持・増進や医療費の適正化が図られている。		1	2	3	4	5
61 適正な保険給付により、介護保険制度が堅実に運営されている。		1	2	3	4	5
62 年金制度に対する市民の理解と認識により、高齢者などが経済的に安定した生活を送っている。		1	2	3	4	5
63 低所得者に対する適正・適切な生活支援が行われ、自立する世帯が増えてきている。		1	2	3	4	5
<b>環境・リサイクル・エネルギー</b>						
64 学校や地域における環境教育が充実し、市民の環境意識が高まっている。		1	2	3	4	5
65 豊かな自然環境が保全され、身近に自然とふれあうことができる。		1	2	3	4	5
66 大気、水質、土壌等が良好な状態に保たれている。		1	2	3	4	5
67 ごみの減量化や再使用・再生利用等により、ごみの排出量が減少している。		1	2	3	4	5
68 ごみの不法投棄の防止対策が強化されている。		1	2	3	4	5
69 環境・リサイクル関連産業が立地し、八戸市の主要な産業の一つとなっている。		1	2	3	4	5
70 省エネルギー対策に取り組む企業や市民が増えている。		1	2	3	4	5

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
71 家庭や事業所等において、太陽光発電等の新エネルギーの導入が進んでいる。		1	2	3	4	5
<b>コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通</b>						
72 家庭や地域において、みずからの地域はみずからが守るという安全・安心に関する意識が高まっている。		1	2	3	4	5
73 防犯・防災のために、地域で見守り助け合うコミュニティが形成されている。		1	2	3	4	5
74 災害の危険箇所や建築物等の防災対策が進み、災害に強いまちになっている。		1	2	3	4	5
75 防災訓練を通じて、関係機関が災害時に迅速かつ的確に対処できる体制ができている。		1	2	3	4	5
76 市民から信頼される消防・救急体制が整備されている。		1	2	3	4	5
77 道路や河川、電気、ガス、上下水道、通信などのライフラインの復旧が円滑に実施できる体制が整っている。		1	2	3	4	5
78 警察などの関係機関と地域団体との連携が強化され、「犯罪が起こりにくい」「犯罪を起こしにくい」地域になっている。		1	2	3	4	5
79 安心して歩行でき、自動車も安全で円滑に走行できる。		1	2	3	4	5
80 消費生活において市民の意識が高まり、適切な選択・判断ができている。		1	2	3	4	5
81 地域の特性※に応じた快適でうるおいのある市街地が形成されている。 ※地域の特性とは、例えば「低層の戸建住宅地である」、「住宅以外の商業などが複合する地区である」、「田園や自然に恵まれた地区である」などを指しています。		1	2	3	4	5
82 道路や下水道などの都市基盤が計画的に整備され、市民が安全で快適な生活を送ることができるまちになっている。		1	2	3	4	5
83 身近に緑にふれることができる都市環境が形成されている。		1	2	3	4	5
84 身近に親しむことができる水辺空間が形成されている。		1	2	3	4	5

設問項目	現状評価	現状評価 (1～5の一つに○)				
		十分満たされている	まあまあ満たされている	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
85 バスと鉄道の円滑な接続や、利用者のニーズに即した運行などにより、公共交通を利用しやすくなっている。		1	2	3	4	5
86 高速道路やフェリー、空港などの交通基盤が整っており、広域的な移動が便利になっている。		1	2	3	4	5

<自由記入欄>

今後の八戸市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の自由記入欄にご自由にご記入ください。

アンケートにご協力くださりまして、誠にありがとうございました。